

第二編 「国際観光」

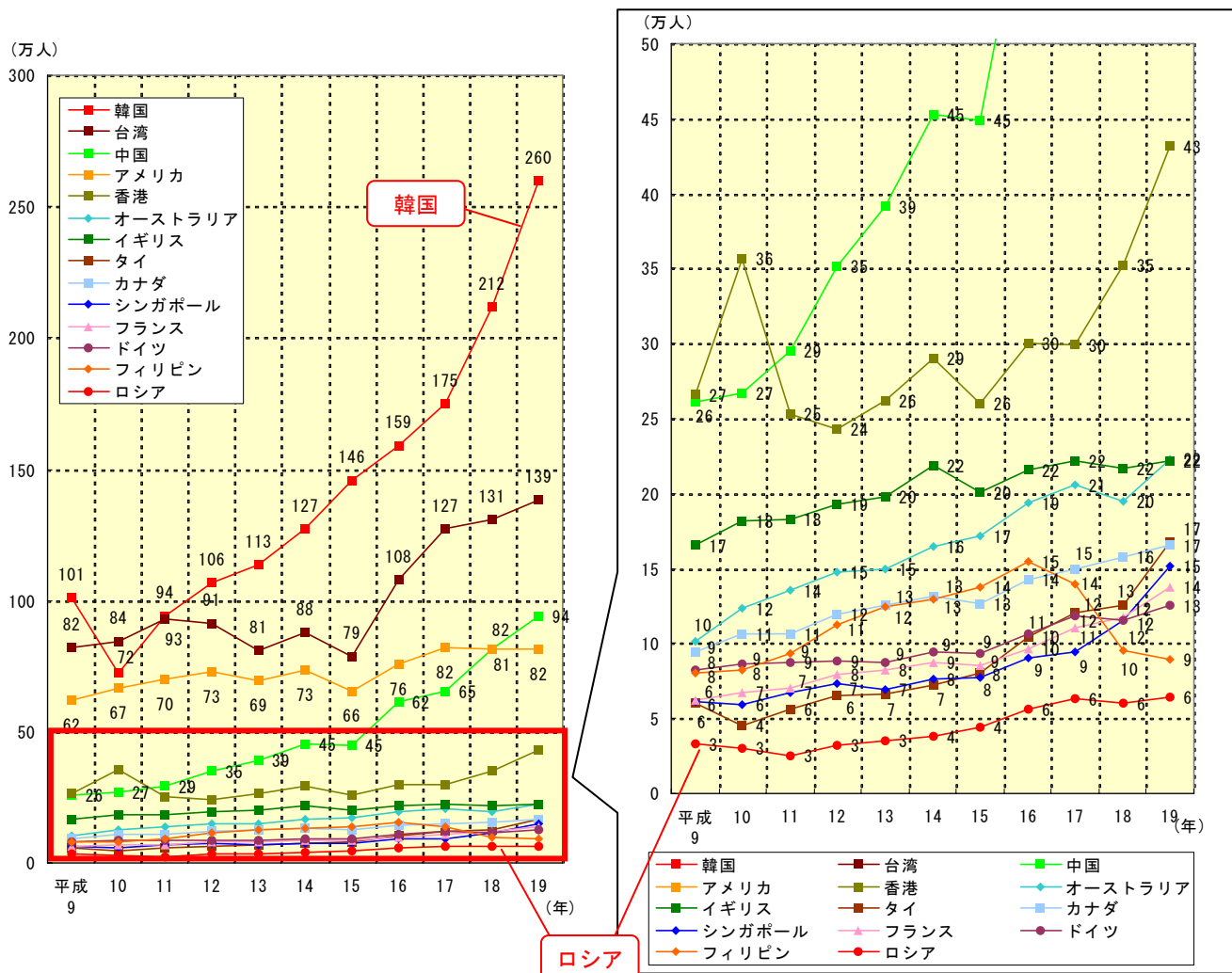
1. 北東アジアゲートウェイ推進戦略検討

1-1 北東アジアを取り巻く国際観光の現状と動向

1-1-1 訪日外国人旅行者の現状と動向

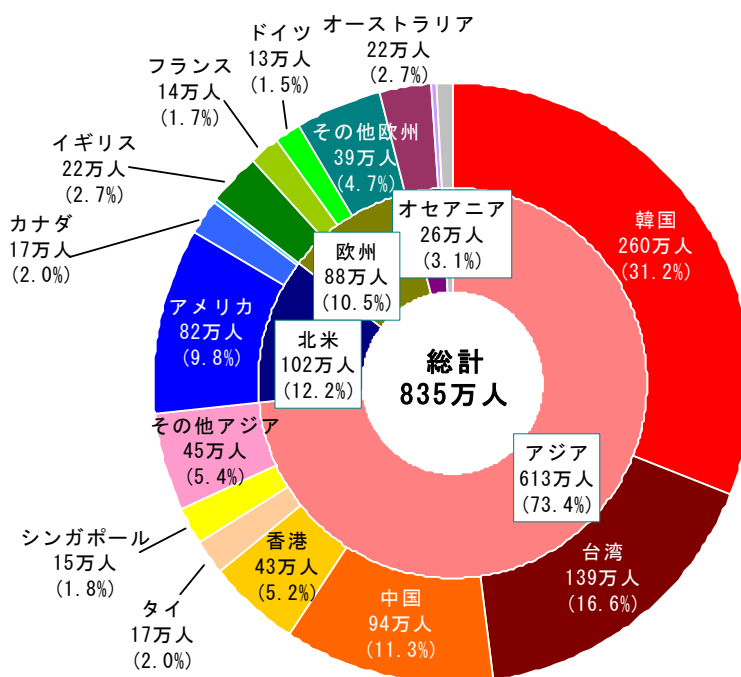
(1) 国別訪日外国人旅行者数

- ・ 訪日外国人旅行者数のおよそ7割がアジア圏となっている。
- ・ 韓国・台湾・中国・香港などのアジアからの旅行者は、経年的に増加傾向であり、とくに韓国は、平成9年から19年で2.5倍以上に伸びている。
- ・ 平成19年の韓国人旅行者は約260万人、ロシア人旅行者は約6万人である。



■ 国別訪日外国人旅行者数の推移

出典：日本政府観光局（JNTO） 訪日外客数（総数）



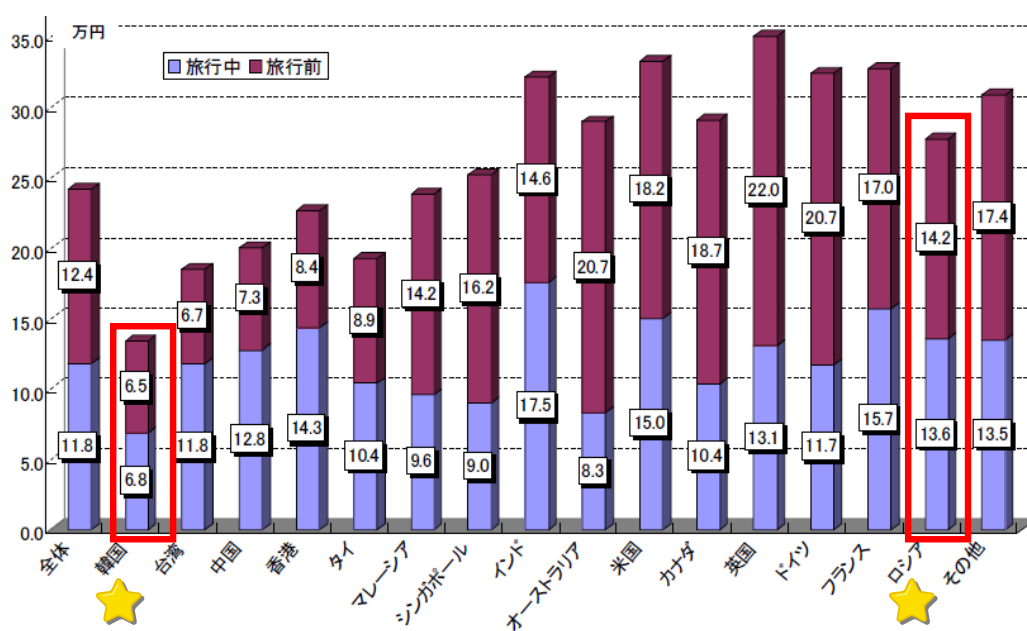
■ 2007年訪日外国人旅行者数の国別割合

出典：日本政府観光局（JNTO） 訪日外客数（総数）

(2) 訪日外国人旅行者の国別平均消費額

- ・ロシア人と韓国人に着目すると、消費額ではロシア人が高く、韓国人が低い。
- ・韓国人旅行客は2泊3日～3泊4日の短期滞在傾向、ロシア人は7泊以上の長期滞在傾向にある。
- ・ロシア人と韓国人それぞれの消費、滞在傾向に応じた施策が求められる。

※「JNTO国際観光白書2008」第4章日本と諸外国との国際観光交流の状況P409ロシアの考察、及び「JNTO 訪日外客訪問地調査2007-2008」基本クロス表：2007年度及び2008年度市場別宿泊日数による

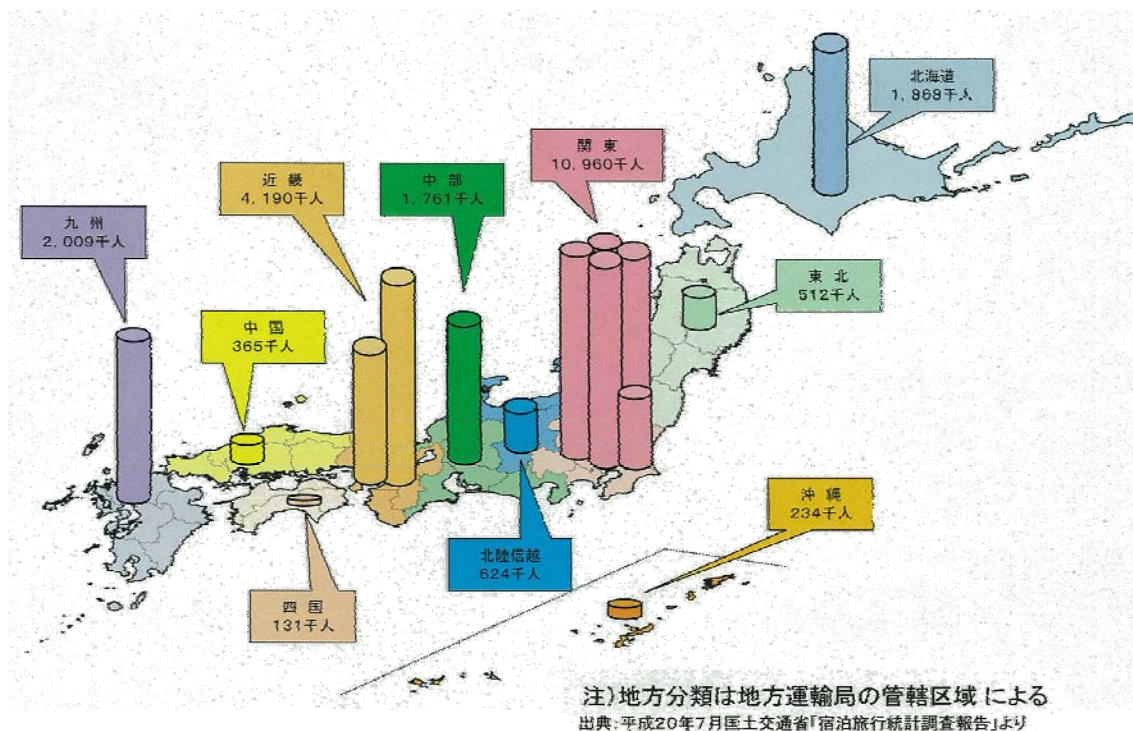


■ 訪日外国人旅行者の国別平均消費額

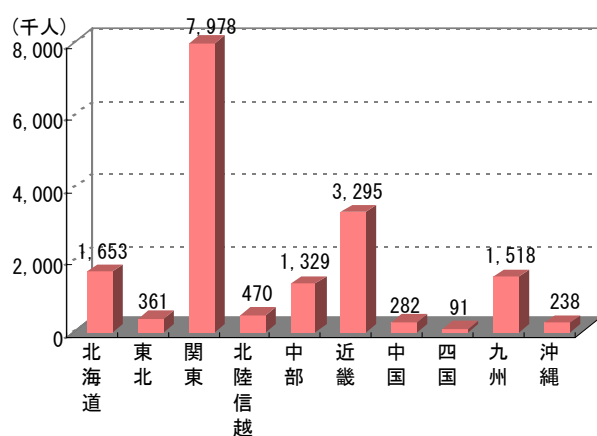
出典：日本政府観光局（JNTO） JNTO訪日外客消費動向調査速報 2008年9月29日より

(3) 地方ブロック別外国人延べ宿泊者数

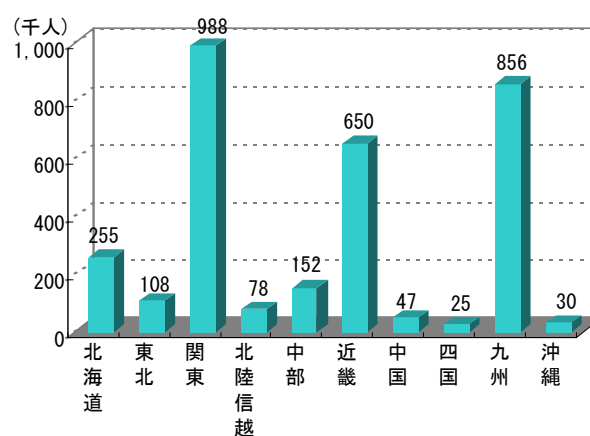
- ・中国圏は、平成 19 年の外国人宿泊者数で10ブロック中8位と非常に宿泊者数が少ない。
- ・平成 20 年 1 月～9 月においても、外国人全体・韓国人ともに、10 ブロック中8位にとどまっている。



■ 地方ブロック別外国人延べ宿泊者数（平成19年1月～12月）



■ 外国人全体の延べ宿泊者数（平成20年1月～9月）

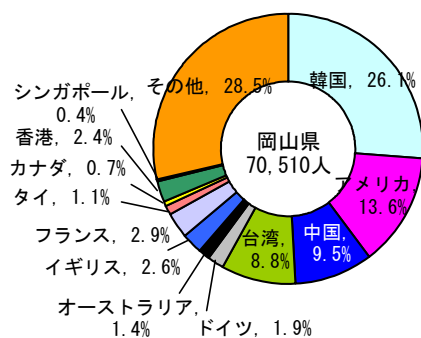
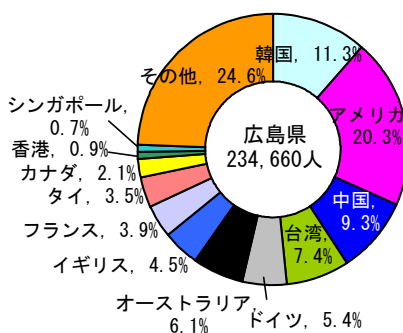
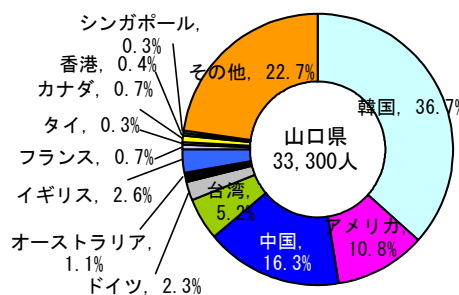
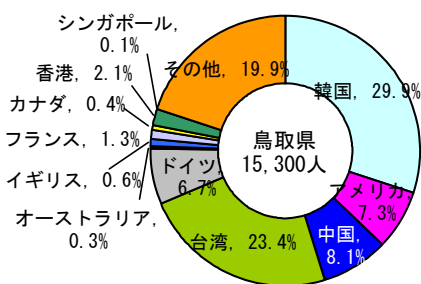
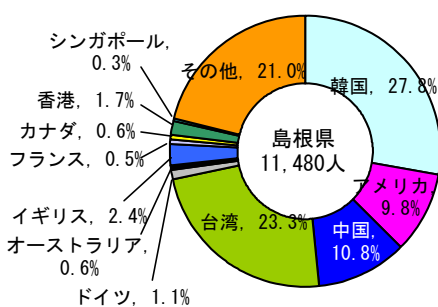
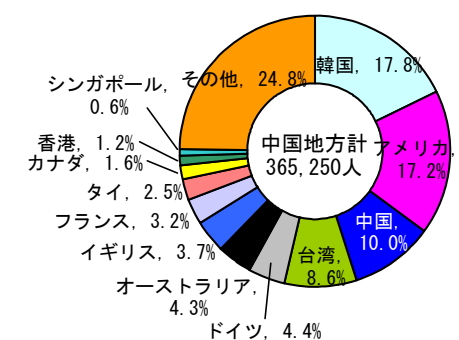
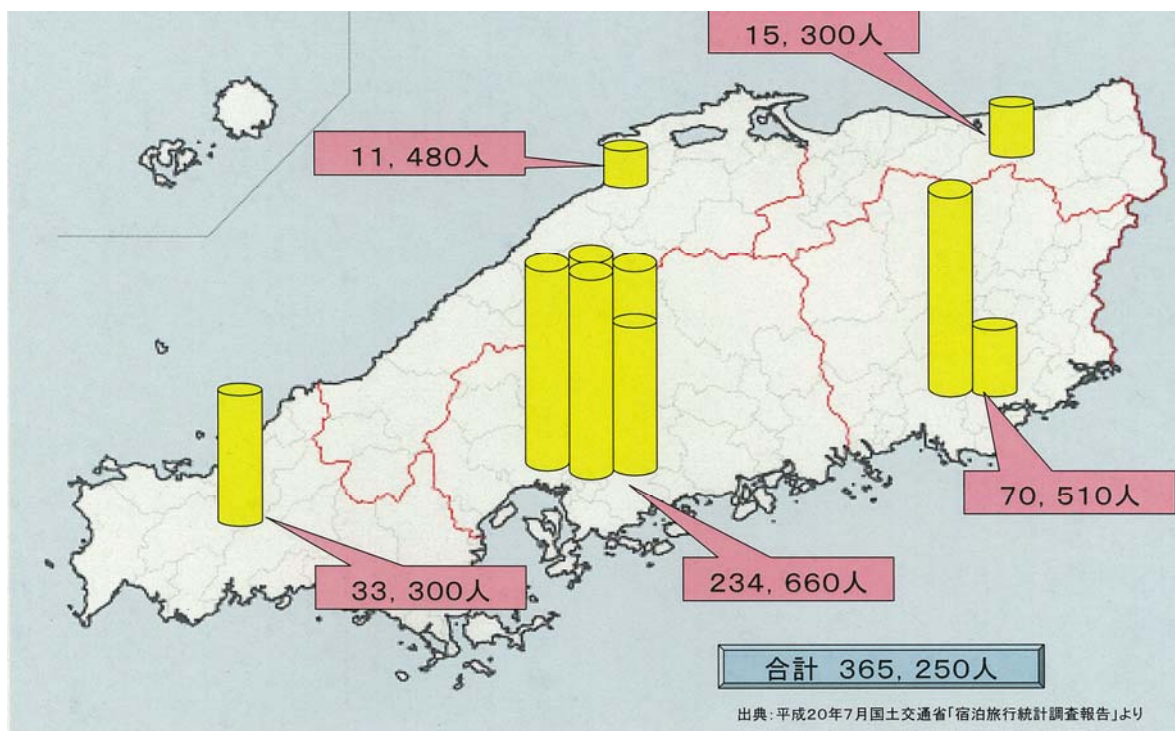


■ 韓国人延べ宿泊者数（平成20年1月～9月）

(4) 中国圏における外国人延べ宿泊者数

① 県別の平成 19 年度外国人延べ宿泊者数

- ・県別では、広島県が、中国圏全体の外国人宿泊者数の約 64%を占めている。
- ・鳥取県、島根県合わせた山陰は、中国圏全体の外国人宿泊者数の約 7%である。
- ・鳥取県、島根県では、韓国と台湾からの宿泊者数が多い。

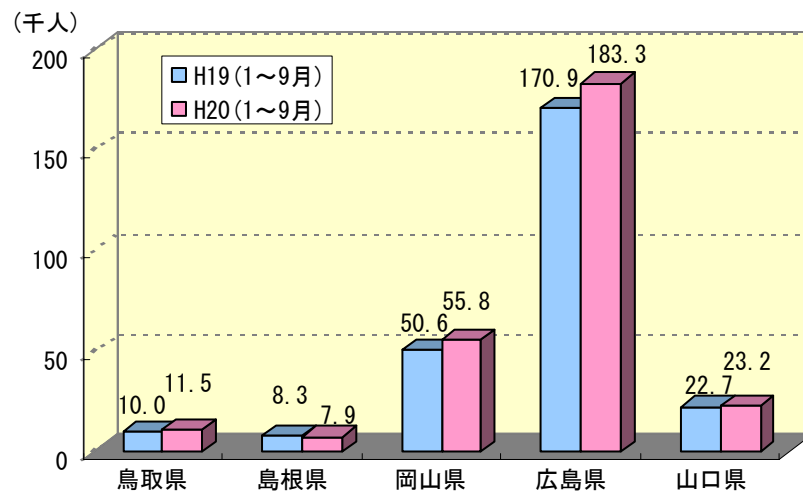


出典：平成20年7月国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」より

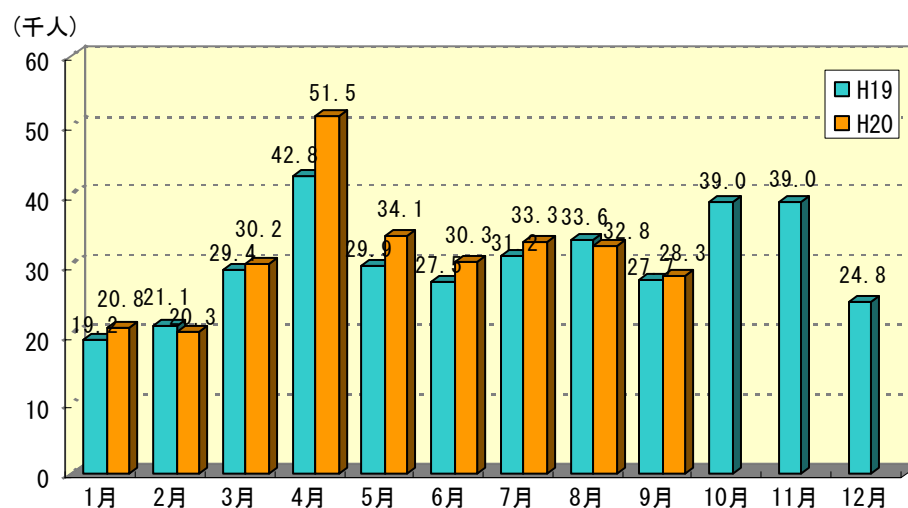
※「その他」には国籍(出身地)不詳を含む

② 平成 19 年度、20 年度の外国人宿泊者数の比較

- ・ 県別では、平成 19 年と比較して、島根県以外で外国人宿泊者が増加している。
- ・ 中国圏全体の外国人宿泊者数を月別にみると、4月が約 1.2 倍に伸びており、その他の月も、9月までは概ね平成 19 年より増加している。
- ・ 10 月以降は、世界的な景気後退の影響により、減少しているものと予想される。



■ 中国圏県別の外国人宿泊客数



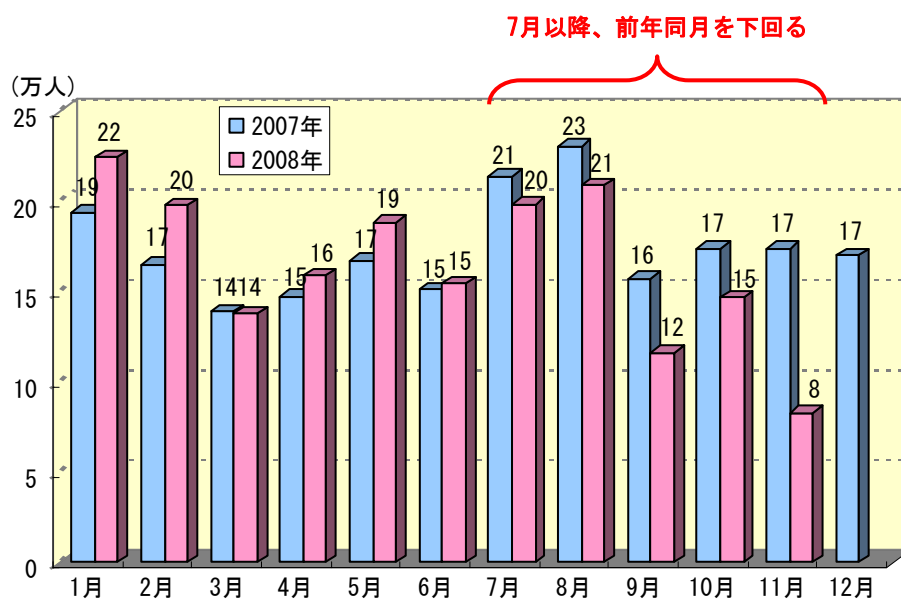
■ 中国圏全体の外国人宿泊客数推移

出典：宿泊旅行統計調査（国土交通省）
※宿泊客数は延べ人数

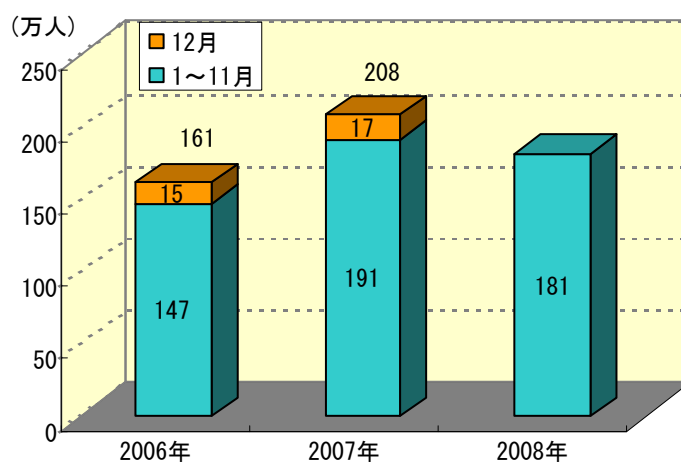
(5) 韓国人旅行者の動向

① 韓国人観光客数の推移

- ・ 2008 年の韓国人観光客数は、韓国経済の低迷や世界的な金融危機による急激なウォン安の影響で、7月以降の韓国人観光客数は前年同月と比較して大きく減少している。
- ・ 12月の観光客数も同様に減少することが想定され、2008年の韓国人総観光客数は、最終的に、前年を割り込むものと予想される。



■ 2008年(1月～11月)の訪日韓国人観光客数



■ 過去3年の訪日韓国人観光客数

出典：日本政府観光局（JNTO） 訪日外客数（観光客）

② 韓国人旅行者の訪問地の動向

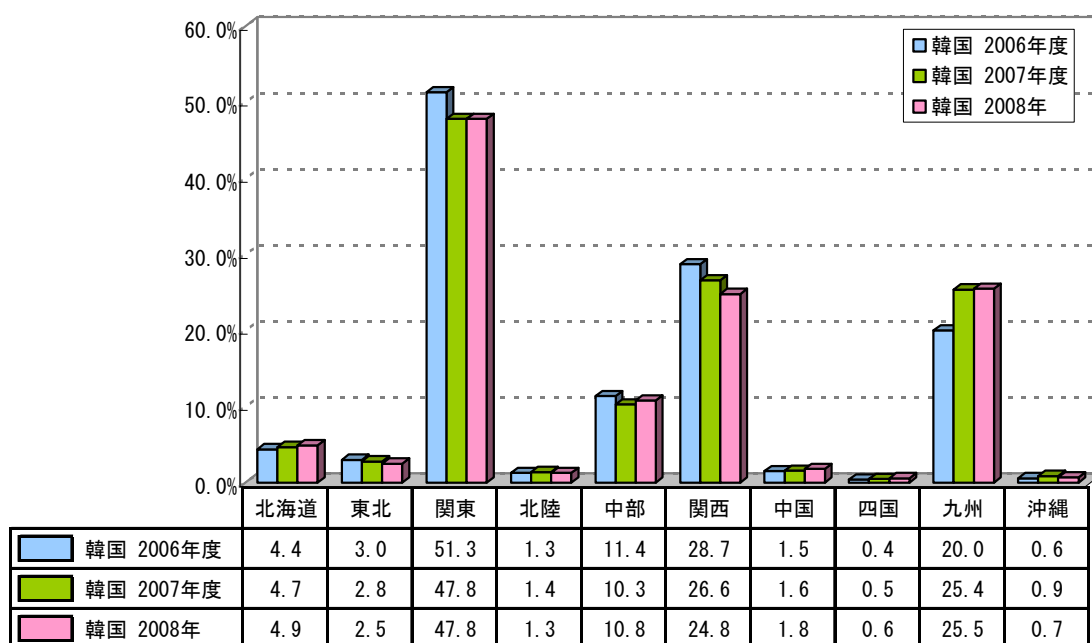
・北海道、九州が集客を伸ばす一方、中国圏は停滞している。

（原因の推定）

韓国人観光客が求めるのは、「温泉」「日本食」「ショッピング」の割合が大きい。中国圏にもそれらは存在するが、韓国人観光客の知名度や満足度が他地域より低いものと推定される。

■ 韓国人旅行者の訪日動機（観光目的）

	訪日動機	割合
1	温泉	41.1%
2	日本食	38.4%
3	ショッピング	36.8%
4	繁華街の街歩き	22.9%
5	ファッション	19.7%



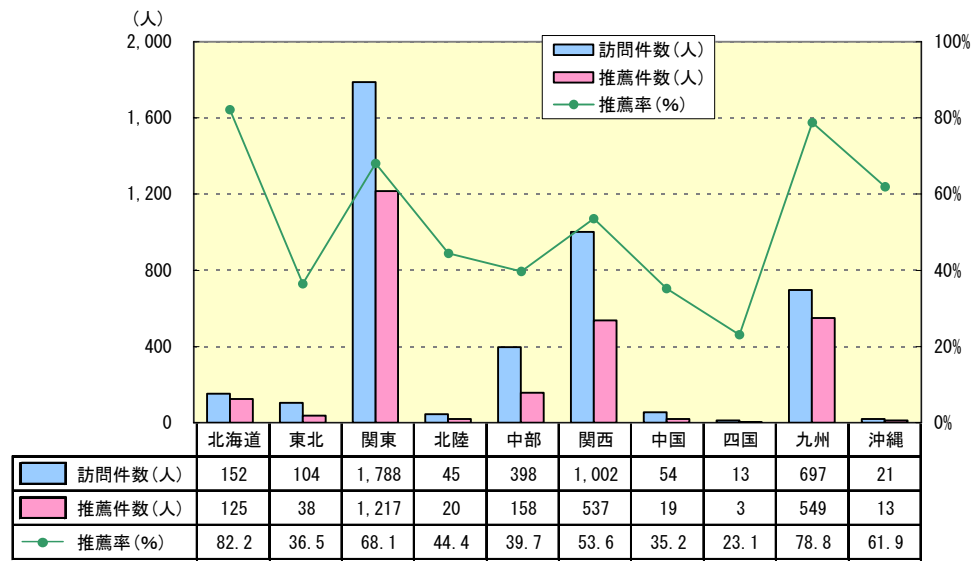
■ 地方ブロック別訪問率の推移（韓国人旅行者）

出典：日本政府観光局（JNTO） JNTO訪日外客訪問地調査速報 2009年2月25日より

<参考：過年度調査結果>

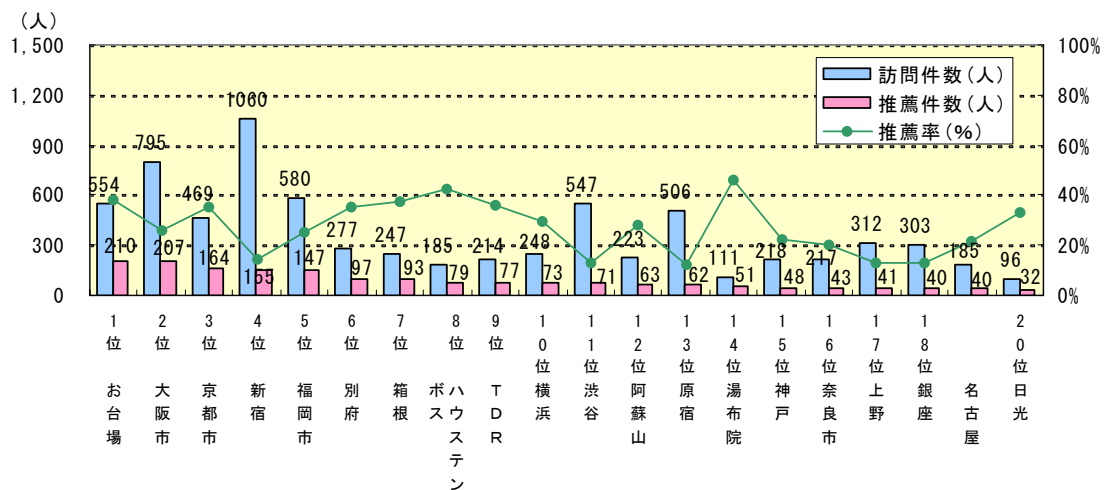
■ 韓国人観光客の再訪日の理由

	再訪日の理由	割合
1	温泉・リラックス	57.8%
2	ショッピング	23.1%
3	伝統文化・歴史的施設	21.1%
4	自然・景勝地	19.7%
5	都市の魅力・現代性	18.2%



※推薦率は、訪問件数に対する推薦件数の比率を表す。

■ 韓国人観光客の帰国後友人等へ是非勧めたい地域



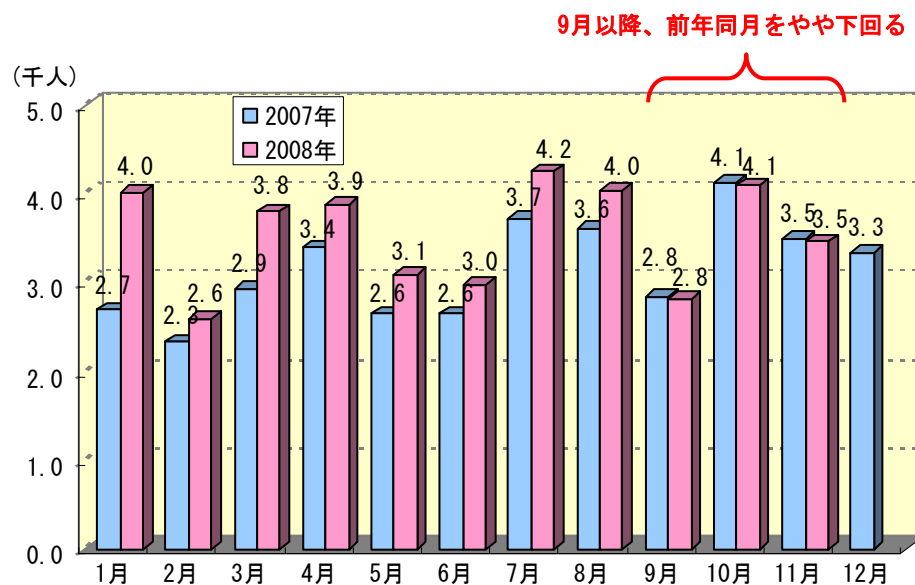
■ 韓国人観光客の帰国後友人等へ是非勧めたい都市・観光地

出典：日本政府観光局（JNTO） JNTO訪日外客実態調査2006－2007満足度調査編

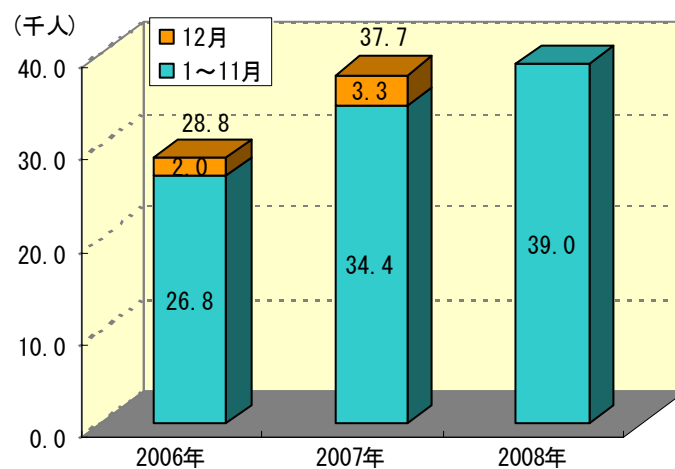
(6) ロシア人旅行者の動向

① ロシア人観光客数の推移

- ・2008年のロシア人観光客数は、1月から8月までは、前年同月比を10%以上上回る伸び率で推移している。
- ・しかし、9～11月は、世界的な景気後退の影響で、ややマイナスに転じている。
- ・12月は、世界的な金融危機の影響を受け、減少が続いていると予想される。



■ 2008年(1月～11月)の訪日ロシア人観光客数



■ 過去3年の訪日ロシア人観光客数

出典：日本政府観光局（JNTO） 訪日外客数（観光客）

1-1-2 韓国・ロシア極東の航空輸送実績

- ・日本から韓国・ロシア極東地方へは、航空路線が41路線、船舶定期航路が9路線就航している。（平成21年3月4日現在）
- ・そのうち、中国圏からは、米子・岡山・広島空港からのソウル(仁川)線及び下関港からの釜山航路のみとなっており、ロシア極東地方への路線は存在しない。
- ・中国地方の空港から仁川(ソウル)への入出国者数は、岡山空港では経年的に増加傾向だが、広島・米子空港では減少傾向にあり、特に広島空港の入国者数の減少が著しい。
- ・日本の空港からハバロフスク・ウラジオストク(ロシア)への入出国者数は、ウラジオストク便は増加傾向であるものの、新潟～ハバロフスク便は減少傾向にある。

(1) 韓国・ロシア極東地方への航空・船舶定期航路

■ 日本～韓国・ロシア極東地方の航空路線

地方	発	着	便数	片道料金 (円/人)	客席数
北海道	旭川	→ 仁川	週2便	¥115,500	143～162
	函館	→ ユジノサハリンスク	週2便	¥46,700	100
	函館	→ 仁川	週3便	¥93,000	188
	新千歳	→ ユジノサハリンスク	週1便	¥46,700	100
	新千歳	→ 仁川	日1便	¥105,000	296
	新千歳	→ 釜山	週3便	¥105,000	188
東北	青森	→ 仁川	週3便	¥93,000	149～164
	秋田	→ 仁川	週3便	¥82,600	149～164
	仙台	→ 仁川	日1便	¥93,000	177～260
	福島	→ 仁川	週3便	¥82,600	143～162
関東	成田	→ 仁川	日13便 +週5便	¥82,600	143～376
	成田	→ 済州	日1便	¥84,200	266～276
	成田	→ 釜山	日3便	¥70,700	296
	羽田	→ 金浦	日8便	¥82,600	284～384
中部・北陸	新潟	→ ハバロフスク	週2便	¥90,900	150
	新潟	→ ウラジオストク	週2便	¥85,300	140～150
	新潟	→ 仁川	日1便	¥81,300	188
	富山	→ 仁川	週3便	¥71,700	177～260
	富山	→ ウラジオストク	週2便	¥85,300	150
	小松	→ 仁川	週4便	¥67,600	188
	中部国際	→ 仁川	日6便	¥73,200	143～384
	中部国際	→ 釜山	日1便	¥60,600	149～164
	中部国際	→ 済州	週3便	¥74,400	188
近畿	関西国際	→ 仁川	日9便	¥63,800	143～384
	関西国際	→ 金浦	日3便	¥63,800	177～296
	関西国際	→ 釜山	日3便	¥50,100	143～296
	関西国際	→ 済州	週4便	¥63,500	266～276
中国	米子	→ 仁川	週3便	¥57,400	143～162
	岡山	→ 仁川	日1便	¥57,700	188
	広島	→ 仁川	日1便	¥57,400	177～260
四国	高松	→ 仁川	週3便	¥57,400	143～200
	松山	→ 仁川	週3便	¥57,400	143～200
九州	福岡	→ 仁川	日5便	¥43,200	260～301
	福岡	→ 釜山	日3便	¥29,000	143～164
	福岡	→ 済州	週3便	¥38,900	143～200
	長崎	→ 仁川	週3便	¥45,800	188
	熊本	→ 仁川	週3便	¥49,600	143～162
	大分	→ 仁川	週2便	¥50,800	188
	宮崎	→ 仁川	週3便	¥60,700	143～200
	鹿児島	→ 仁川	週3便	¥57,700	256
	那覇	→ 仁川	週5便	¥94,300	177～260

※平成21年3月4日現在

■ 日本～韓国・ロシア極東地方の船舶定期航路

地方	発	着	便数	片道料金 (最安席)	客席数
北海道	稚内港	→ コルサコフ	不定期	¥24,800	223
	小樽	→ ホルムスク	不定期	¥36,000	150
中部・北陸	伏木港	→ ウラジオストク	週1便	¥44,400	400
近畿	大阪	→ 釜山	週3便	¥16,000	681～683
中国	下関	→ 釜山	日1便	¥9,000	460～562
	博多	→ 釜山	日1便	¥9,000	522
九州	博多	→ 釜山	日3～5便	¥13,000	200
	厳原	→ 釜山	週3～4便	¥7,900	300～376
	比田勝	→ 釜山	週2～4便	¥6,900	300～376

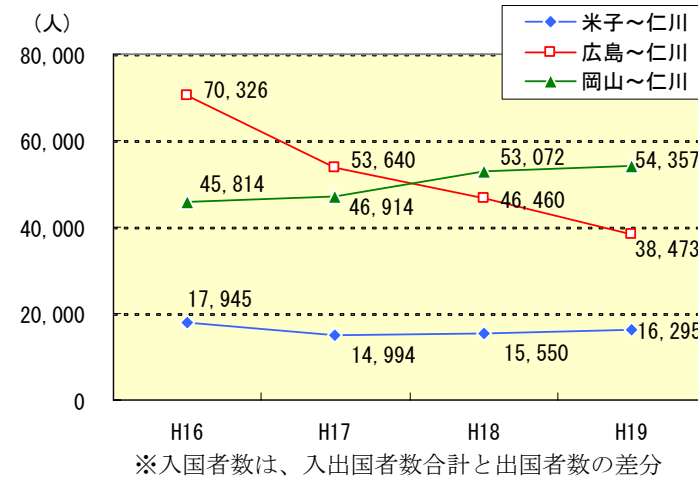
※平成21年3月4日現在



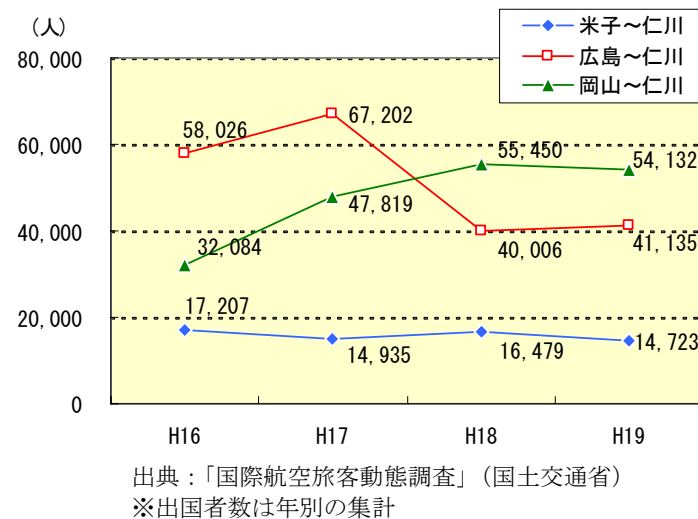
■ 日本～韓国・ロシア極東地方の航空・船舶定期航路

(2) 韓国・ロシア極東の航空路線別輸送実績

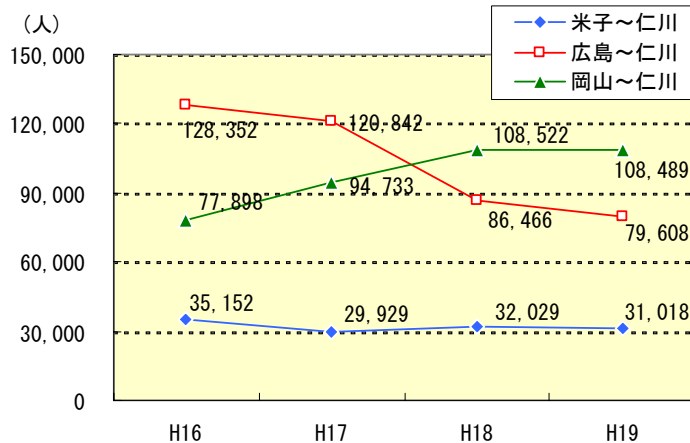
■ 米子・広島・岡山空港～仁川(ソウル)空港の輸送実績（日本への入国者数）



■ 米子・広島・岡山空港～仁川(ソウル)空港の輸送実績（日本からの出国者数）

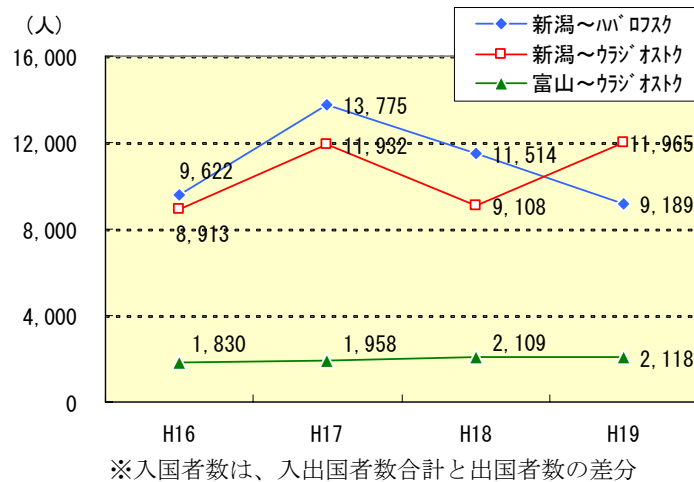


■ 米子・広島・岡山空港～仁川(ソウル)空港の輸送実績（入出国者数合計）



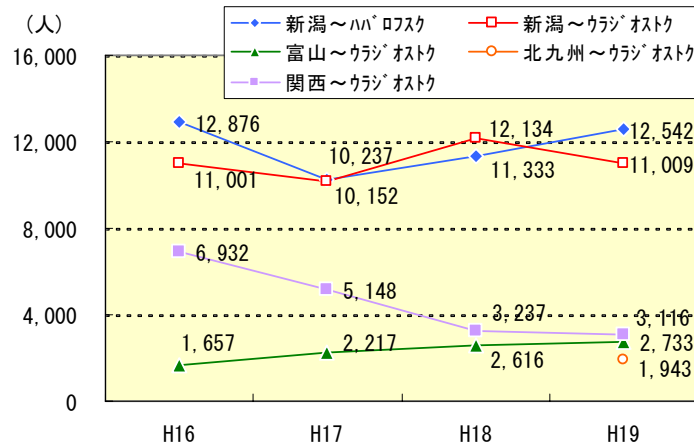
出典：「米子ーソウル便の利用状況の推移」（鳥取県ホームページ）
「広島空港利用状況」（広島県提供資料）
「岡山空港利用状況」（岡山県提供資料）

■ 新潟・富山空港～ハバ・ロフク・ウラジ・オストク(ロシア)空港の輸送実績（日本への入国者数）



■ 新潟・富山・北九州・関西空港

～ハバ・ロフク・ウラジ・オストク(ロシア)空港の輸送実績（日本からの出国者数）



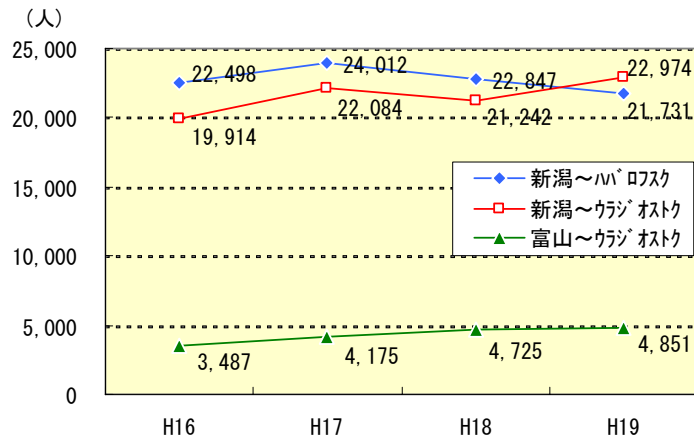
出典：国際航空旅客動態調査（国土交通省）

※出国者数は年別の集計

※北九州・関西～ウラジ・オストクは、季節運行路線(夏季)の出国者数のみデータあり

※北九州空港は、H18. 3. 16開港

■ 新潟・富山空港～ハバ・ロフク・ウラジ・オストク(ロシア)空港の輸送実績（入出国者数合計）

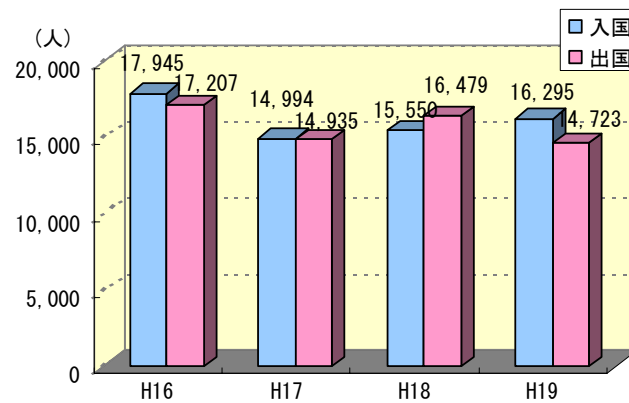


出典：「新潟空港利用状況」（新潟県ホームページ）

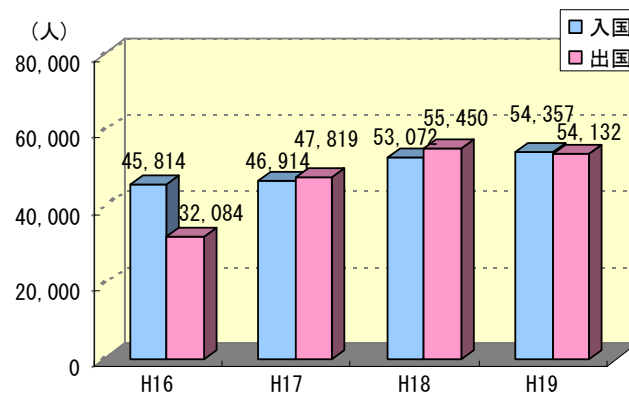
「とやま経済月報 富山空港利用人員」（富山県ホームページ）

※新潟空港は年別、富山空港は年度別の集計

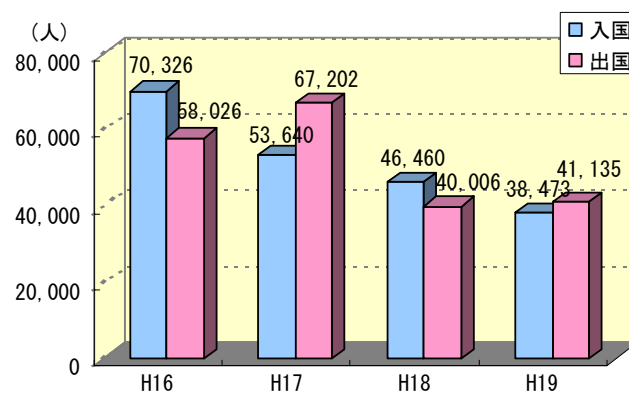
■ 米子空港～仁川(ソウル)空港の入出国者数推移



■ 岡山空港～仁川(ソウル)空港の入出国者数推移



■ 広島空港～仁川(ソウル)空港の入出国者数推移



出典：「米子～ソウル便の利用状況の推移」（鳥取県ホームページ）

「広島空港利用状況」（広島県提供資料）

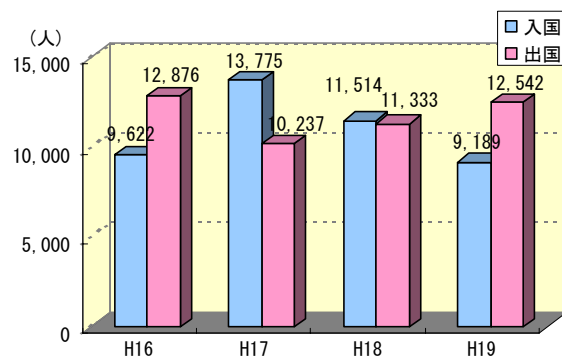
「岡山空港利用状況」（岡山県提供資料）

「国際航空旅客動態調査」（国土交通省）

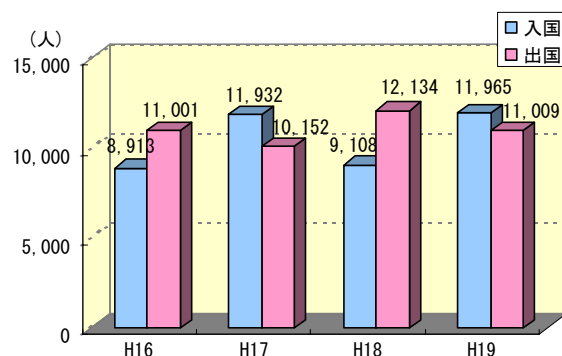
※入国者数・・・上記の各県からの提供資料及びホームページ掲載資料の入出国者数合計から出国者数を引いた値

出国者数・・・国際航空旅客動態調査（国土交通省）

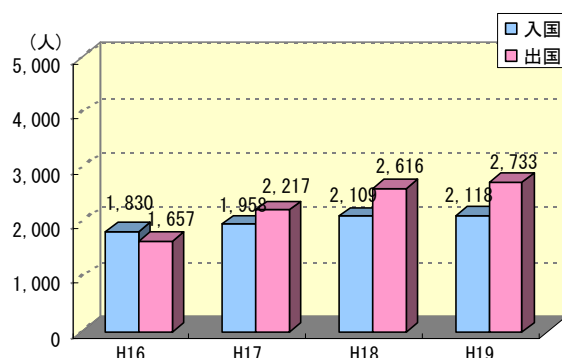
■ 新潟空港～ハバロフスク(ロシア)空港の入出国者数推移



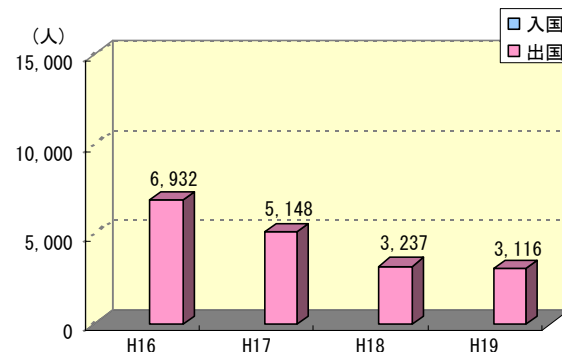
■ 新潟空港～ウラジオストク(ロシア)空港の入出国者数推移



■ 富山空港～ウラジオストク(ロシア)空港の入出国者数推移



■ 関西空港～ウラジオストク(ロシア)空港の入出国者数推移



出典：「新潟空港利用状況」(新潟県ホームページ)

「とやま経済月報 富山空港利用人員」(富山県ホームページ)

「国際航空旅客動態調査」(国土交通省)

※入国者数…上記のホームページ掲載資料の入出国者数合計から出国者数を引いた値

出国者数…国際航空旅客動態調査(国土交通省)

※関西～ウラジオストクは、季節運行路線(夏季)の出国者数のみデータあり

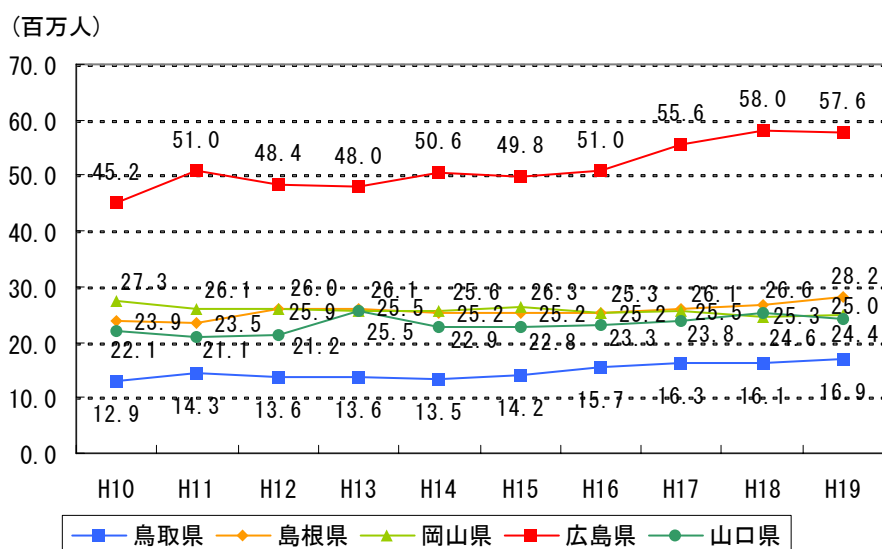
※北九州～ウラジオストクは、H19の季節運行路線(夏季)の出国者数のみデータあり(H18. 3. 16開港)

1-1-3 中国圏における観光をとりまく状況

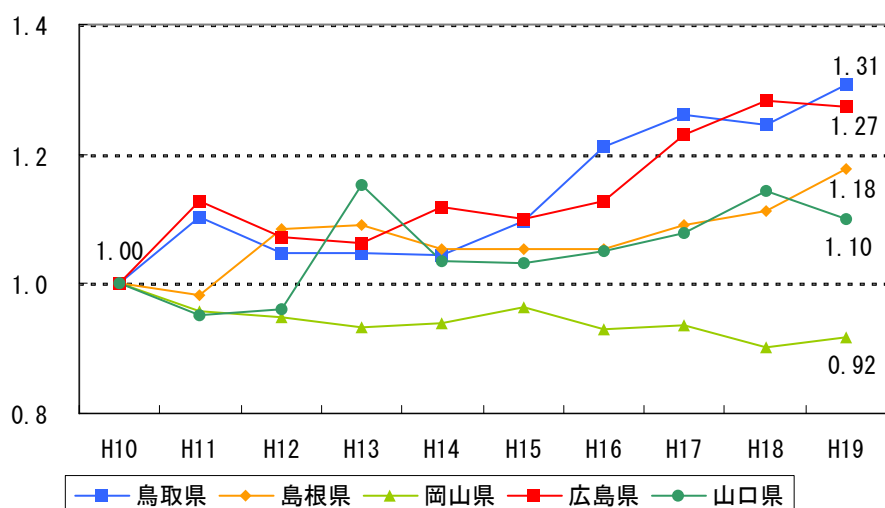
(1) 中国圏における観光客の推移

① 観光客数の推移

- ・平成10年から19年にかけて、島根県・広島県は約1.3倍に伸びているものの、岡山県は平成10年の約90%となっており、減少傾向にある。
- ・中国圏全体では、経年的に増加傾向にある。
- ・平成19年の観光客数は、平成18年と比較すると、鳥取県・島根県・岡山県で増加しており、特に島根県は約160万人の増加と、中国圏で最も大きく伸びている。



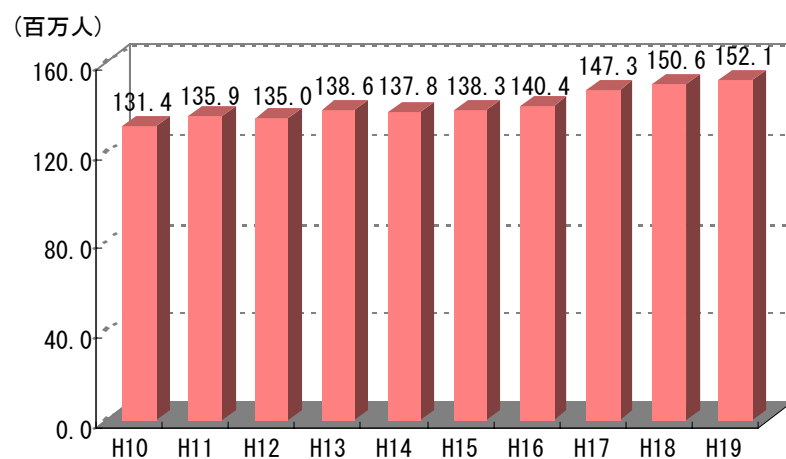
■ 中国圏の県別観光客数の推移



※伸び率は、H10に対する各年の割合を表す。

■ 中国圏の県別観光客数の推移（伸び率）

出典：平成19年観光客入込動態調査結果（鳥取県）
 平成19年観光動態調査結果（島根県）
 平成19年観光客動態調査結果（岡山県）
 平成19年観光客数の動向（広島県）
 平成19年観光客動態調査結果（山口県）
 ※観光客数は延べ人数を使用



■ 中国圏全体の観光客数推移

出典：平成19年観光客入込動態調査結果（鳥取県）
 平成19年観光動態調査結果（島根県）
 平成19年観光客動態調査結果（岡山県）
 平成19年観光客数の動向（広島県）
 平成19年観光客動態調査結果（山口県）
 ※観光客数は延べ人数を使用

(2) 島根県における外国人観光客の動向

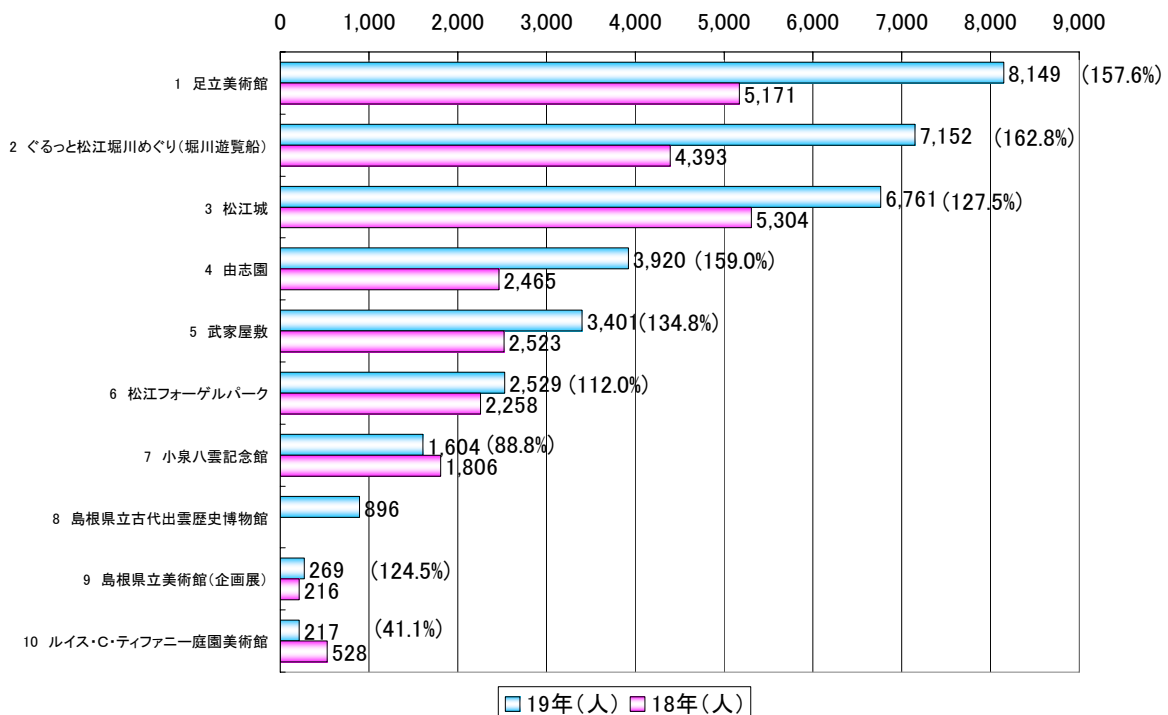
中国圏内の各県の観光動態統計データにおいて、平成 18 年より外国人観光客数を調査・公表している島根県の松江・出雲地区観光施設の実績は以下のとおりである。

※「松江・出雲国際観光テーマ地区推進協議会」では、松江・出雲地区の主要有料観光施設の協力を得て、2005 年 1 1 月から外国人割引を実施しており、この制度実施に伴い国籍別の外国人利用者数を把握することが可能となり、2006 年 1 月より集計を始めている。

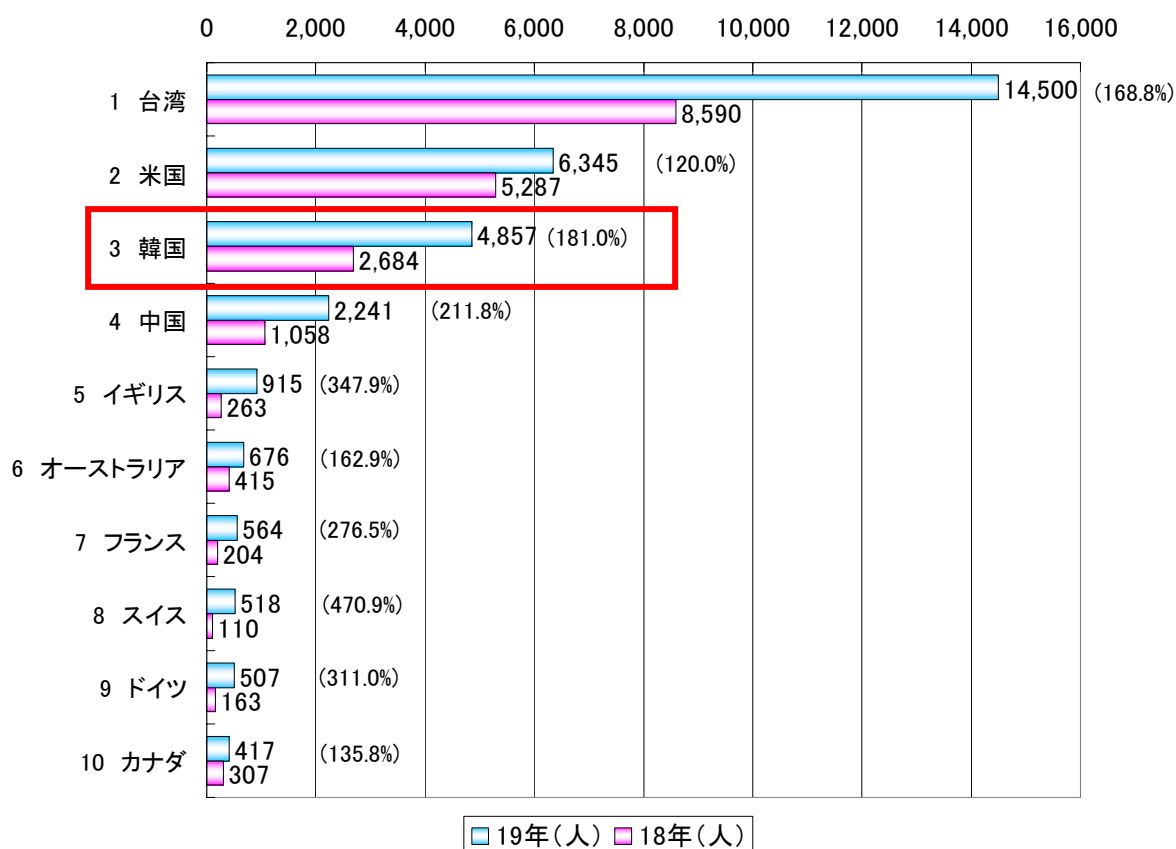
① 松江・出雲地区観光施設の外国人観光客数の推移

- ・地区全体の総数では、平成 18 年 24,664 人から 19 年 34,898 人と約 40%、1 万人以上の増加である。
- ・足立美術館が 5 割以上伸ばし、8,149 人でトップである。
- ・台湾人観光客が 7 割近くの増加で、14,500 人で最多である。

松江・出雲地区観光施設の施設別外国人利用者数 平成 19 年（2007 年 1～12 月）実績



松江・出雲地区観光施設の国別外国人利用者数 平成 19 年（2007 年 1～12 月）実績



韓国人観光客が大幅に増加したのは、山陰両県が協力して、米子―ソウル便の利用誘致を積極的に展開し、米子空港利用の温泉ツアー商品コースの一部に足立美術館や松江城、堀川遊覧船が組み入れられたことによる。

1【足立美術館】

順位	国・地域名	人数	前年実績	対前年比
1	台湾	4,251	2,653	160.2%
2	米国	1,881	951	197.8%
3	韓国	898	541	166.0%
4	中国	159	173	91.9%
5	イギリス	150	97	154.6%

国籍不明	0	0	—
(総利用者数)	8,149		

2【堀川遊覧船】

順位	国・地域名	人数	前年実績	対前年比
1	台湾	4,109	1,807	227.4%
2	韓国	911	469	194.2%
3	中国	725	186	389.8%
4	米国	603	434	138.9%
5	イギリス	88	33	266.7%

国籍不明	19	1,212	1.6%
(総利用者数)	7,152		

3【松江城】

順位	国・地域名	人数	前年実績	対前年比
1	米国	2,026	1,520	133.3%
2	韓国	1,479	814	181.7%
3	中国	497	339	146.6%
4	台湾	480	278	172.7%
5	イギリス	306	56	546.4%

国籍不明	7	894	0.8%
(総利用者数)	6,761		

(3) 中国圏における観光資源と観光地別観光客数

- ・島根県東部及び鳥取県西部には、温泉や歴史・文化施設など観光施設が多く存在しており、境港を起点に外国人観光客に対しても多様な観光資源の提供が可能である。
- ・中国圏の他県においても、様々な観光施設が存在しており、それらをネットワークすることで、外国人観光客に対しても多様な周遊観光の提供が可能である。

■ 鳥取県の観光地別観光客数（平成19年）

（単位：千人）

県	広域エリア	観光地	H19 観光 客数	観光地分類			
				スポーツ・ レジャー	都市・ まちなみ	歴史・ 文化	自然・ 温泉
鳥取県	鳥取砂丘・いなば温泉郷 周辺	鳥取砂丘	2,139	○			○
		鳥取砂丘こどもの国		○			
		わらべ館				○	
		とっとり出会いの森		○			○
		白兔海岸		○			
		鳥取港海鮮市場からいち			○		
		マリンピア賀露			○		
		道の駅神話の里白うさぎ			○		
		摩尼寺				○	
		鳥取城跡				○	
		仁風閣				○	
		宇部神社				○	
		因幡万葉歴史館				○	
	境港周辺	水木しげる記念館	1,662			○	
		水木しげるロード			○		
		夢みなと公園		○	○		
	とっとり梨の花温泉郷周 辺	はわい温泉	1,525				○
		三朝温泉					○
		打吹公園					○
		倉吉白壁土蔵群・赤瓦			○		
		中国庭園燕趙園				○	
		倭文神社				○	
		三徳山三佛寺・投入堂				○	
	米子・皆生温泉周辺	皆生温泉	1,308				○
		弓ヶ浜		○			○
		米子水鳥公園					○
	大山周辺	とっとり花回廊	1,133				○
		大山		○			○
		大山ペンション村					○
		榎水高原スキー場		○			
		妻木晩田遺跡				○	
		伯耆古代の丘公園		○		○	
		大山寺				○	
		大神山神社				○	
		植田正治写真美術館				○	
	東伯耆周辺	コナン通り	676		○		
		青山剛昌ふるさと館				○	
		大山滝					○
		船上山					○
	浦富海岸・岩井温泉周辺	日韓友好交流公園	237			○	
		浦富海岸		○			○
	八頭	三滝溪	210	○			○
		さじアストロパーク				○	
		道の駅清流茶屋かわはら			○		
		わかさ氷ノ山スキー場		○			
		智頭宿			○	○	
		河原城				○	
	奥日野周辺	根雨宿	164		○	○	
		花見山スキー場		○			

出典：平成19年観光客入込動態調査結果（鳥取県）

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

※鳥取県の観光客数は実人数（複数観光地を訪問した場合をまとめて1人とカウント）としている

【観光地分類の内容】

○スポーツ・レジャー：海水浴場、スキー場、スポーツ施設、ゴルフ場、大規模公園、釣り、登山、体験観光、動物園、水族館、遊園地及びこれに類する施設等

○都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設（道の駅等）及びこれに類する施設等

○歴史・文化：神社、仏閣、美術館、博物館、科学館、歴史的建物、史跡及びこれに類する施設等

○自然・温泉：自然景勝地、温泉・保養所及びこれに類する施設等

※観光地分類は、文献「観光経営」（白澤恵一著、高文堂出版社）の観光形態分類を参考とした

■ 島根県の観光地別観光客数（平成19年）

（単位：千人）

県	観光地	H19 観光 客数	観光地分類			
			スポーツ・ レジャー	都市・ まちなみ	歴史・ 文化	自然・ 温泉
島根県	出雲大社	2,279			○	
	日御碕	1,304				○
	島根ワイナリー	1,071		○		
	太鼓谷稲成神社	805			○	
	石見海浜公園	750	○			
	石見銀山	714			○	○
	玉造温泉	667				○
	一畑薬師	664			○	
	道の駅キララ多伎	601		○		
	三瓶山	590	○			○
	足立美術館	467			○	
	古代出雲歴史博物館	390			○	
	道の駅湯の川	374		○		
	カラコロ工房	365	○			
	道の駅シルクウェイにちはら	338		○		
	島根県芸術文化センター グラントワ	329			○	
	美保関	326	○		○	○
	清水寺	321			○	
	熊野大社	283			○	
	湯元榎縫割烹温泉ゆらり	283				○
	松江城山公園	276				○
	八重垣神社	254			○	
	松江城	245			○	
	由志園	237				○
	島根県立美術館	230			○	
	玉造温泉ゆ〜ゆ	223				○
	松江しんじ湖温泉	219				○
	ゆうあい熊野館	216				○
	鹿島多久の湯	212				○
	出雲いりすの丘	212	○			○
	松江・堀川地ビール館	203		○		
	万葉公園	199	○		○	○
	多伎いちじく温泉	198				○
	松江イングリッシュガーデン	192				○
	ふるさと森林公園	185	○			
	しまねお魚センター	180		○		
	松江フォーゲルパーク	178	○			○
	鷺の湯温泉	171				○
	きんたの里	160				○
	ゴビウス	156	○			
	夢ランドしらさぎ	152				○
	キララビーチ	145	○			
	出雲科学館	145			○	
	道の駅おろちループ	144		○		
	玉峰山荘	144				○
	きまち湯治村大森の湯	141				○
	立久患峡	133				○
	島根県物産観光館	133		○		
	むいかいち温泉ゆ・ら・ら	132				○
	美都温泉	131				○
	小泉八雲記念館	130			○	
	香木の森公園	128	○			○
	おろち湯ったり館	125				○
	石見畳ヶ浦	117				○
	道の駅酒蔵奥出雲交流館	115		○		
	マリンタラソ出雲	113	○			
	武家屋敷	112			○	
	斐伊川堤防	110				○
	瑞穂ハイランド	103	○			
	大田海岸	102	○			
	有福温泉	101				○
	出雲文化伝承館	101			○	
	鬼の舌震	101				○

出典：平成19年観光動態調査結果（島根県）

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

※観光客数は延べ人数としている

【観光地分類の内容】

○スポーツ・レジャー：海水浴場、スキー場、スポーツ施設、ゴルフ場、大規模公園、釣り、登山、体験観光、動物園、水族館、遊園地及びこれに類する施設等

○都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設（道の駅等）及びこれに類する施設等

○歴史・文化：神社、仏閣、美術館、博物館、科学館、歴史的建物、史跡及びこれに類する施設等

○自然・温泉：自然景勝地、温泉・保養所及びこれに類する施設等

※観光地分類は、文献「観光経営」（白澤恵一著、高文堂出版社）の観光形態分類を参考とした

■ 岡山県の観光地別観光客数（平成19年）

（単位：千人）

県	観光地	H19 観光 客数	観光地分類			
			スポーツ・ レジャー	都市・ まちなみ	歴史・ 文化	自然・ 温泉
岡山県	倉敷美観地区	3,206		○	○	
	蒜山高原	2,287	○			○
	玉野・渋川	2,253	○			
	鷺羽山	1,828				○
	吉備津・最上稲荷	1,760			○	
	湯郷温泉	893				○
	後樂園	782			○	○
	湯原温泉	657				○
	鶴山公園	569				○
	備中松山城	563			○	
	備中国分寺	521			○	
	黒井山	424	○			
	王子が岳	419				○
	大原美術館	379			○	
	日生・日生諸島	348	○			○
	宝福寺	306			○	
	ノースヴィレッジ	306	○			
	おもちゃ王国	285	○			
	由加山	278			○	
	湯郷鷺温泉館	259				○
	牛窓	244			○	○
	ドイツの森クローネンベルク	212	○			
	吹屋ふるさと村	200	○	○		
	奥津温泉	199				○
	田中苑	197				○
	道の駅あわくらんど	188		○		
	恩原高原	183	○			
	岡山城	179			○	
	まきばの館	176	○			○
	神庭の滝	170				○
	特別史跡旧閑谷学校	152			○	
	笠岡・笠岡諸島	151			○	○
	津山城跡	149			○	
	R S Kバラ園	148				○
	醍醐桜	146				○
	岡山国際サーキット	144	○			
	県立美術館	128			○	
	朝霧温泉ゆ・ら・ら	126				○
	岡山市デジタルミュージアム	122			○	
	倉敷市立美術館	117			○	
	池田動物園	116	○			
	吉備高原都市	114	○			
	うかん常山公園	111				○
	新見千屋温泉いぶきの里	109				○
	渋川マリン水族館	104	○			
	オリエント美術館	103			○	
	愛の村パーク	100	○			○

出典：平成19年観光客動態調査結果（岡山県）

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

※観光客数は延べ人数としている

【観光地分類の内容】

○スポーツ・レジャー：海水浴場、スキー場、スポーツ施設、ゴルフ場、大規模公園、釣り、登山、体験観光、動物園、水族館、遊園地及びこれに類する施設等

○都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設(道の駅等)及びこれに類する施設等

○歴史・文化：神社、仏閣、美術館、博物館、科学館、歴史的建物、史跡及びこれに類する施設等

○自然・温泉：自然景勝地、温泉・保養所及びこれに類する施設等

※観光地分類は、文献「観光経営」（白澤恵一著、高文堂出版社）の観光形態分類を参考とした

■ 広島県の観光地別観光客数（平成19年）

（単位：千人）

県	観光地	H19 観光 客数	観光地分類			
			スポーツ・ レジャー	都市・ まちなみ	歴史・ 文化	自然・ 温泉
広島県	宮島	3,087			○	○
	厳島神社	1,727			○	
	鞆の浦	1,712		○	○	
	平和記念公園(平和記念資料館)	1,320			○	
	呉市歴史海事科学館大和ミュージアム	1,099			○	
	甲山いきいき村	530	○	○		
	安佐動物公園	529	○			
	みろくの里	511	○			
	国営備北丘陵公園	505	○			○
	三次ワイナリー	472		○		
	どんぐり村	446		○		
	こども文化科学館	405			○	
	土師ダム	372	○			○
	せら夢公園	367	○	○		
	首無地蔵	330			○	
	温井ダム	292	○			
	宮島水族館	272	○			
	千光寺山ロープウェイ	267				○
	県立美術館	254			○	
	福山市立動物園	253	○			
	交通科学館	238			○	
	君田温泉森の泉	221				○
	道後山	197	○			○
	ふくやま美術館	194			○	
	もみのき森林公園	189	○			
	広島市植物公園	188	○			○
	千畳閣	174			○	
	尾道ふれあいの里	171				○
	縮景園	170				○
	広島市森林公園	167	○			○
	グリーンピアせとうち	160	○			
	広島城	156			○	
	大久野島	142	○		○	○
	比婆山	136	○			○
	神楽門前湯治村	135				○
	ひろしま美術館	134			○	
	奥田元宋・小由女美術館	128			○	
	湯つ蔵さんわ	124				○
	三段峡	121				○
	大佐・掛頭山	116	○			○
	平山郁夫美術館	111			○	
	深入山	111	○			○
	矢野温泉	102				○
	花みどり公園	102	○			○

出典：平成19年観光客数の動向（広島県）

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

※観光客数は延べ人数としている

【観光地分類の内容】

○スポーツ・レジャー：海水浴場、スキー場、スポーツ施設、ゴルフ場、大規模公園、釣り、登山、体験観光、動物園、水族館、遊園地及びこれに類する施設等

○都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設(道の駅等)及びこれに類する施設等

○歴史・文化：神社、仏閣、美術館、博物館、科学館、歴史的建物、史跡及びこれに類する施設等

○自然・温泉：自然景勝地、温泉・保養所及びこれに類する施設等

※観光地分類は、文献「観光経営」（白澤恵一著、高文堂出版社）の観光形態分類を参考とした

■ 山口県の観光地別観光客数（平成19年）

（単位：千人）

県	観光地	H19 観光 客数	観光地分類			
			スポーツ・ レジャー	都市・ まちなみ	歴史・ 文化	自然・ 温泉
山口県	道の駅萩しーまーと	1,501		○		
	秋芳洞・秋吉台	915				○
	湯田温泉	802				○
	道の駅きららあじす	785		○		
	錦帯橋	746			○	○
	道の駅仁保の郷	654		○		
	道の駅蛸街道西ノ市	642		○		
	市立しものせき水族館海響館	631	○			
	湯本温泉	625				○
	松陰神社	591			○	
	防府天満宮	550			○	
	香山公園・洞春寺	500			○	○
	長門峡	388				○
	笠戸島	372	○			○
	きららスポーツ交流公園	360	○			
	青海島	313	○			○
	川棚温泉	304				○
	ローブウェイ(岩国)	304				○
	しおかぜの里角島	299		○		
	周南市徳山動物園	293	○			
	シロヘビ観覧所	280	○		○	
	冠山総合公園	280				○
	山口情報芸術センター	273			○	
	道の駅阿武町	256	○	○		○
	角島灯台公園	252				○
	道の駅きくがわ	245		○		
	道の駅サザンセットとうわ	230		○		
	俵山温泉	224				○
	虹ヶ浜海岸	223	○			
	秋吉台サファリランド	209	○			
	笠山椿群生林	206				○
	火の山	201	○			○
	ときわ公園	189	○			
	亀山公園・山口サビエル記念聖堂	178			○	○
	蜂ヶ峯総合公園	169	○			
	大島観光センター	169		○		
	道の駅ゆとりパークたまがわ	166		○		
	県政資料館・県立美術館・県立山口博物館等	159			○	
	潮風公園みなとオアシスゆう	158	○			
	三丘温泉	157				○
	一の俣温泉	156				○
	西ノ市温泉	154				○
	柳井ウェルネスパーク	149	○			
	永源山公園	147	○			○
	菊川温泉	146				○
	やまぐちフラワーランド	140	○			○
	湯野温泉	139				○
	室積公園	134				○
	岩国城	126			○	
	宇部72カントリークラブ	126	○			
	道の駅ピュアラインにしき	125		○		
	金子みすゞ記念館	120			○	
	海峡ゆめタワー	119				○
	竜崎温泉	115				○
	於福温泉・道の駅おふく	115		○		○
	常永寺雪舟庭	110			○	○
	菊ヶ浜海水浴場	110	○			
	農産加工販売所つつじ	109		○		
	道の駅あさひ	105		○		
	旧久保田家住宅	104		○	○	
	グリーンスティナがうら	101	○			
	白壁の町並み	100		○		

出典：平成19年観光客動態調査結果（山口県）

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

※観光客数は延べ人数としている

【観光地分類の内容】

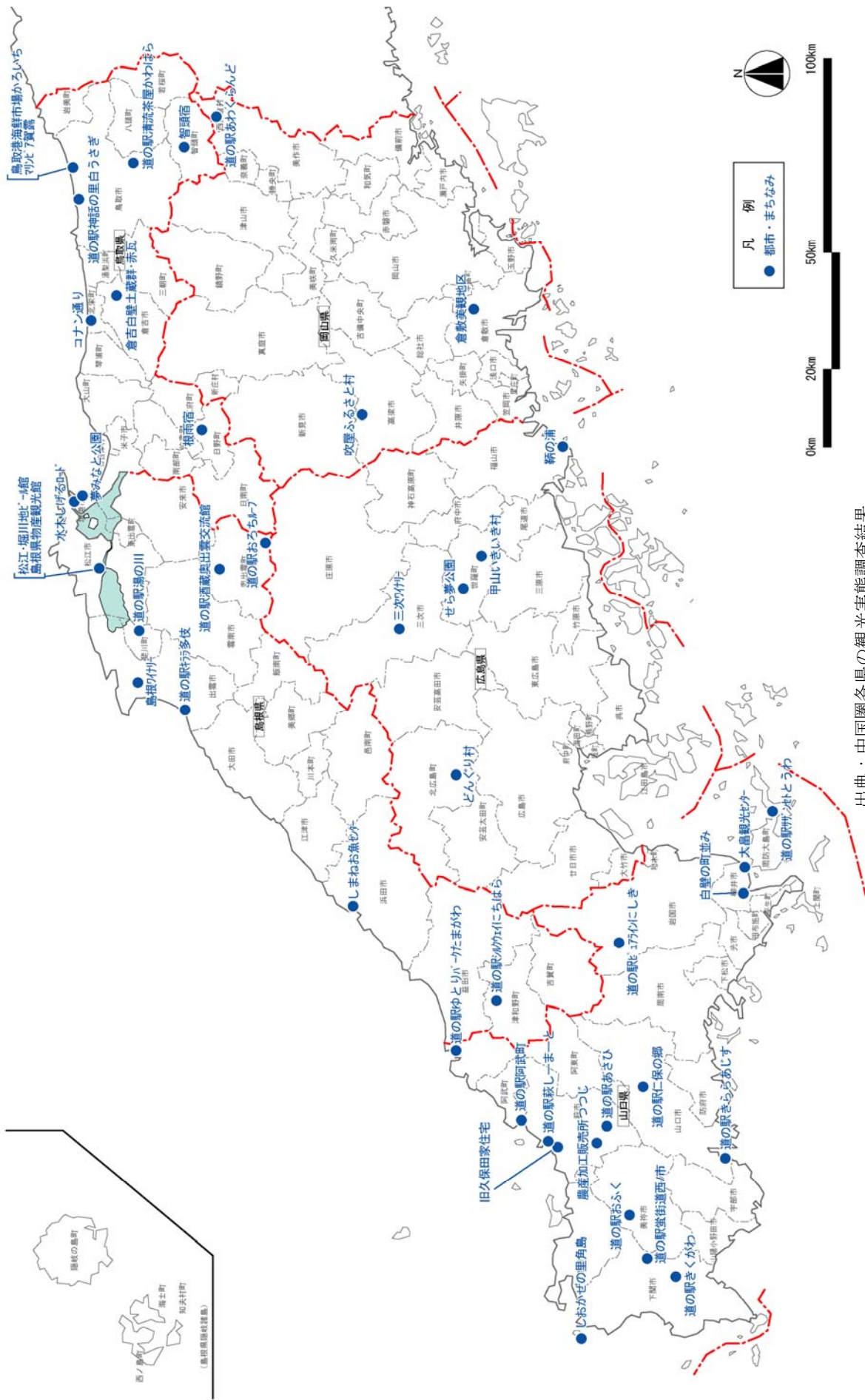
○スポーツ・レジャー：海水浴場、スキー場、スポーツ施設、ゴルフ場、大規模公園、釣り、登山、体験観光、動物園、水族館、遊園地及びこれに類する施設等

○都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設(道の駅等)及びこれに類する施設等

○歴史・文化：神社、仏閣、美術館、博物館、科学館、歴史的建物、史跡及びこれに類する施設等

○自然・温泉：自然景勝地、温泉・保養所及びこれに類する施設等

※観光地分類は、文献「観光経営」（白澤恵一著、高文堂出版社）の観光形態分類を参考とした



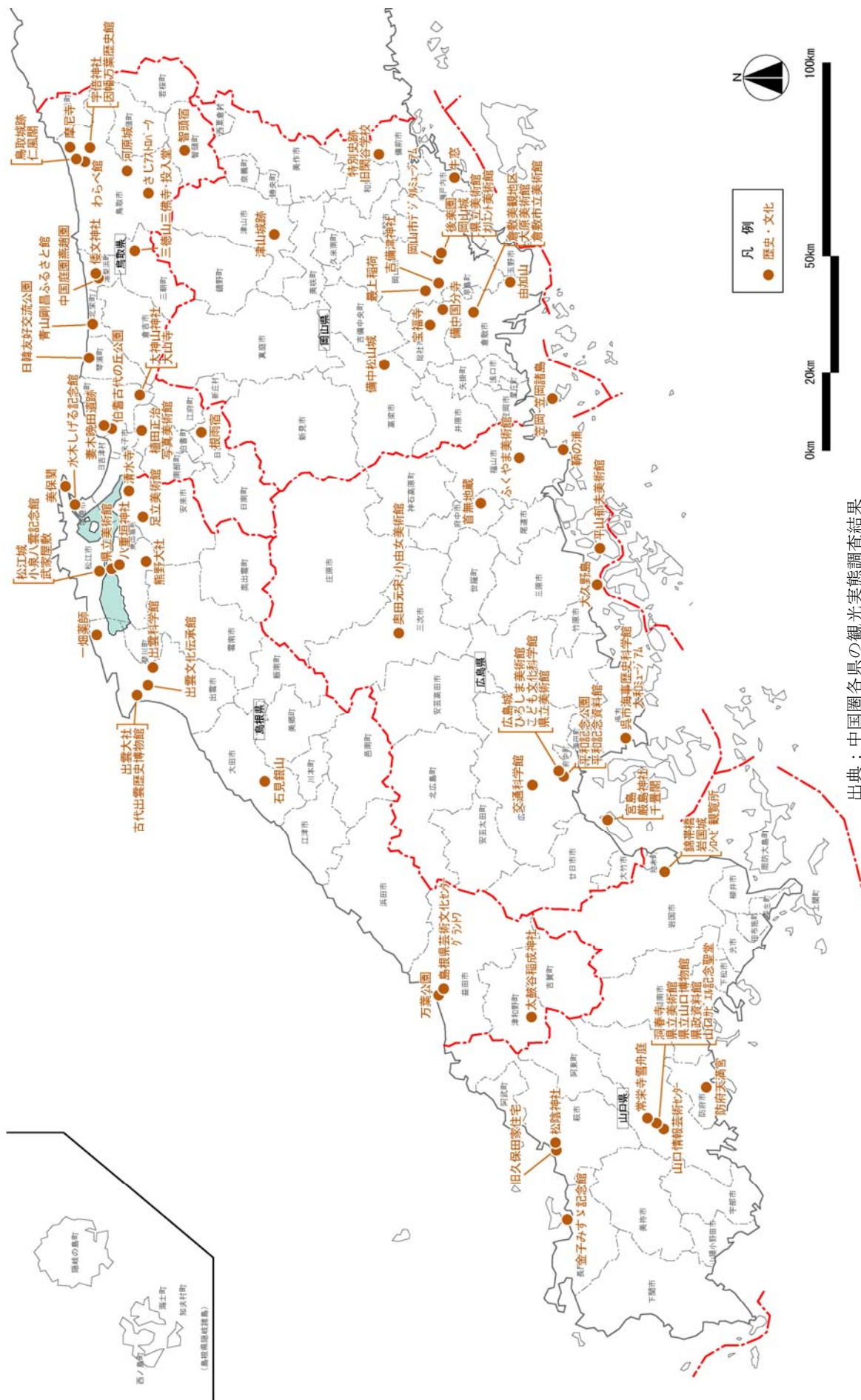
出典：中国圏各県の観光実態調査結果

※観光地は、観光客数が10万人以上の施設等を抽出

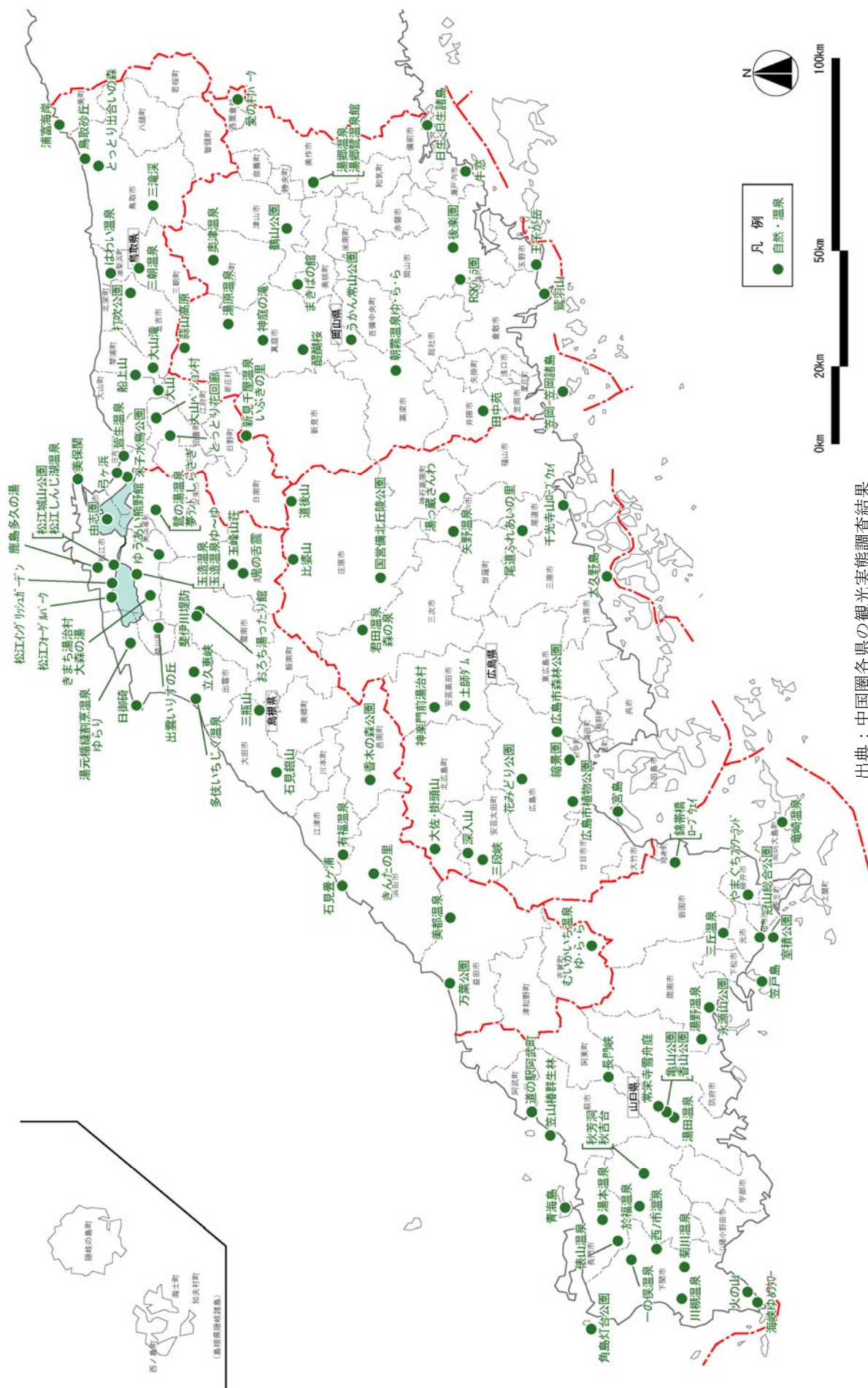
※都市・まちなみ：都市観光地、美観地区、ショッピング施設(道の駅等)及びこれに類する施設等

※該当する観光地を図示

■ 中国圏の観光施設 (都市・まちなみ)



■ 中国圏の観光施設（歴史・文化）



■ 中国圏の観光施設（自然・温泉）

(4) 公共交通機関の状況

・中国圏域内では、高速バスが16路線運行されている。

■ 中国圏域内の高速バス運行状況

発			着		便数 (往復)	片道 料金	所要 時間
都市	バス停		都市	バス停			
鳥取市	鳥取駅前	⇔	広島市	広島バスセンター	日5便	¥4,400	4:40
米子市	米子駅前	⇔	広島市	広島バスセンター	日5便	¥3,800	3:30
鳥取市	鳥取駅前	⇔	岡山市	天満屋バスセンター	日3便	¥3,000	2:57
出雲市	出雲市駅	⇔	岡山市	天満屋バスセンター	日7便	¥3,900	3:50
松江市	松江しんじ湖温泉	⇔	広島市	広島バスセンター	日14便	¥4,000	3:23
出雲市	出雲市駅	⇔	広島市	広島新幹線口	日8便	¥4,000	3:20
岡山市	天満屋バスセンター	⇔	広島市	広島バスセンター	日12便	¥2,800	2:30
岡山市	天満屋バスセンター	⇔	倉吉市	日ノ丸自動車倉吉営業所	日1便	¥3,000	2:40
津山市	津山バスセンター	⇔	広島市	広島バスセンター	日1便	¥3,900	3:10
福山市	福山平成大学	⇔	松江市	松江しんじ湖温泉	日1便	¥3,600	4:25
広島市	広島駅新幹線口	⇔	浜田市	浜田駅～有福温泉 浜田駅～周布	日16便 日1便	¥3,200 ¥3,050	2:33 3:14
広島市	広島駅新幹線口	⇔	益田市	益田駅前	日8便	¥3,600	2:43
広島市	広島駅新幹線口	⇔	大田市	大田市駅	日2便	¥3,300	2:49
広島市	広島バスセンター	⇔	萩市	徳山・防府・山口・萩	日28便	¥3,700	3:55
広島市	広島バスセンター	⇔	田布施町	田布施	日8便	¥1,400	1:29
広島市	広島バスセンター	⇔	周防大島町	岩国～周防久賀	日13便	¥1,500	2:05

※平成21年3月4日現在

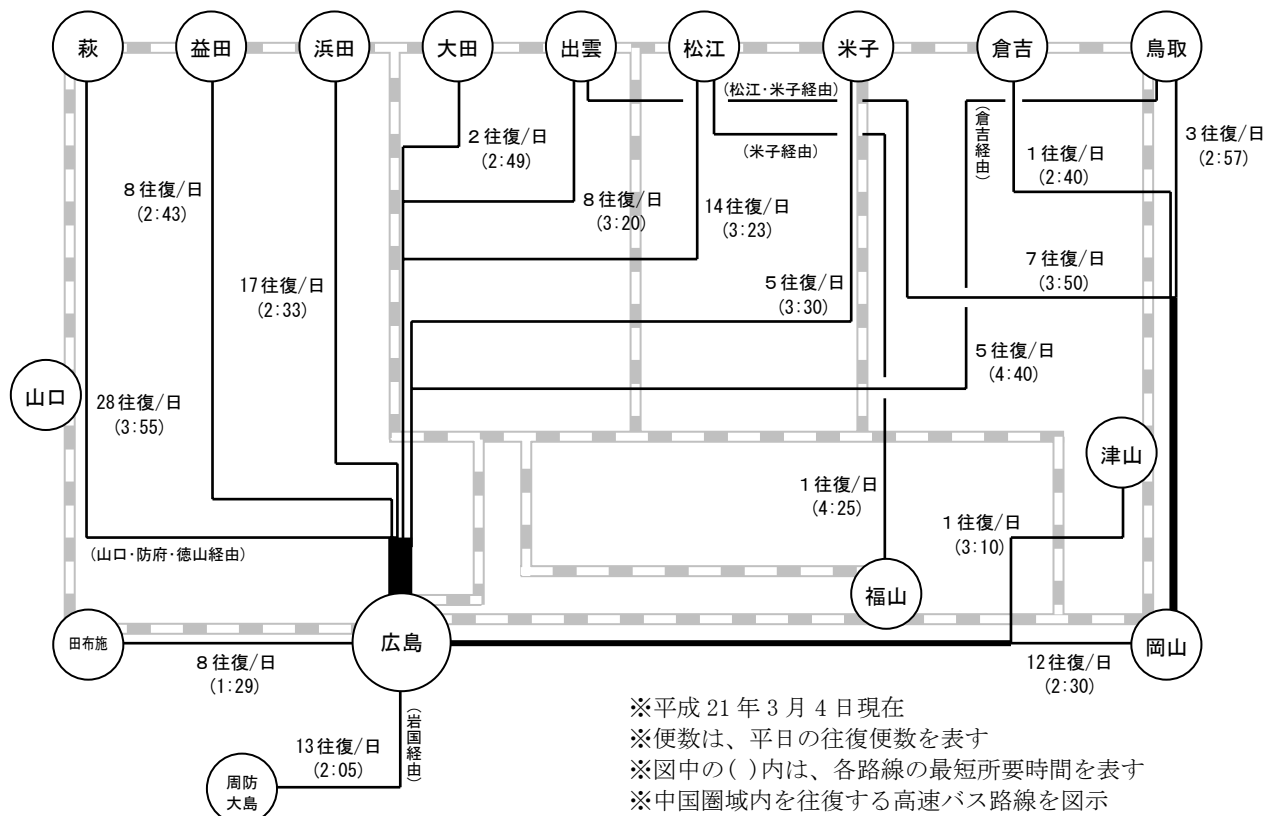
※中国圏域内を往復する高速バス路線を抽出（同一県内を往復する路線を除く）

※同一都市間で複数の経路が存在する路線については、路線を集約した

※同一路線で複数の発着点が存在する路線については、最端の都市間で路線を集約した

※便数は、平日の往復便数を表す

※所要時間は、片道の最短所要時間を表す



※平成21年3月4日現在

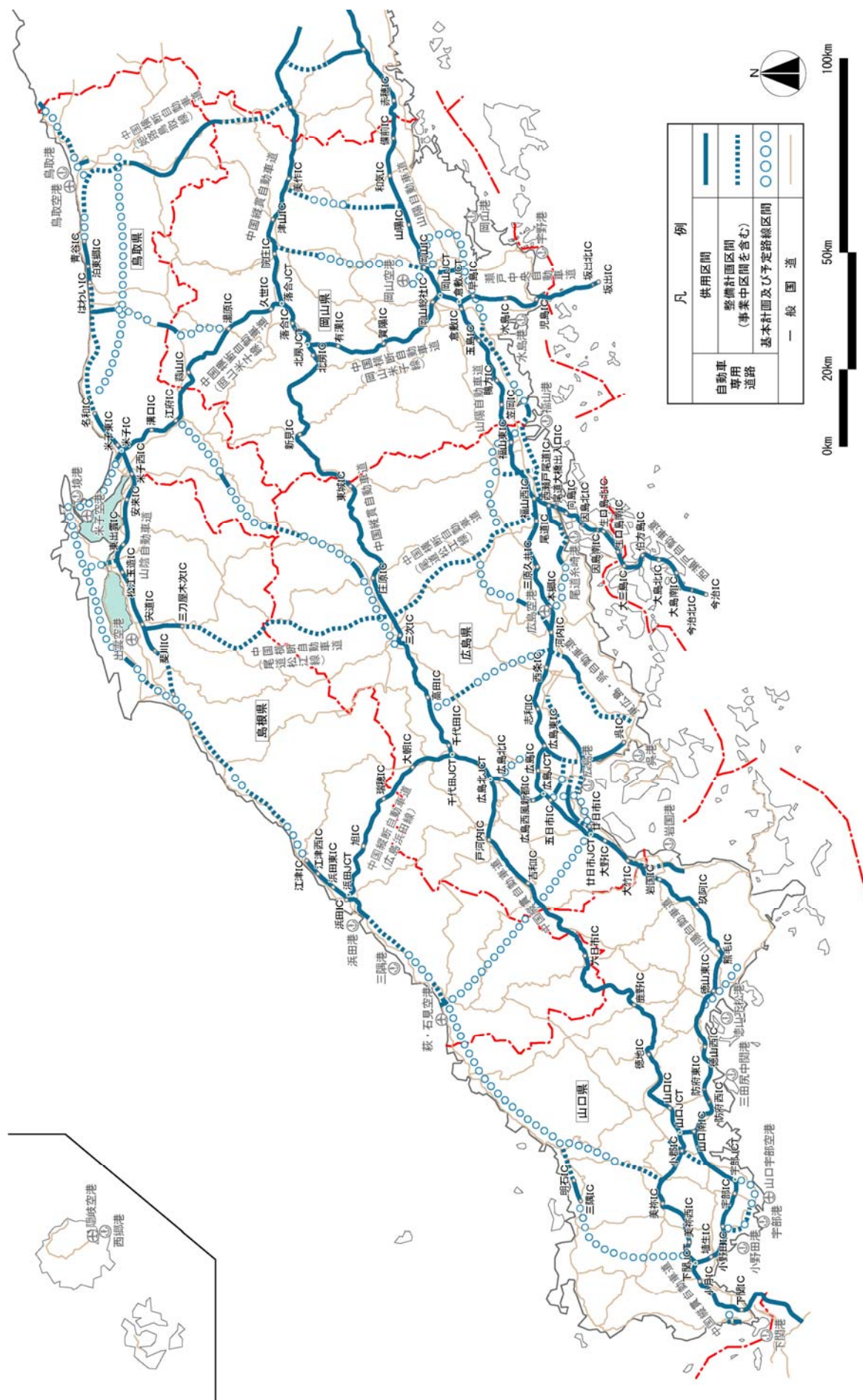
※便数は、平日の往復便数を表す

※図中の()内は、各路線の最短所要時間を表す

※中国圏域内を往復する高速バス路線を図示

(同一県内を往復する路線を除く)

■ 中国圏域内の高速バス路線

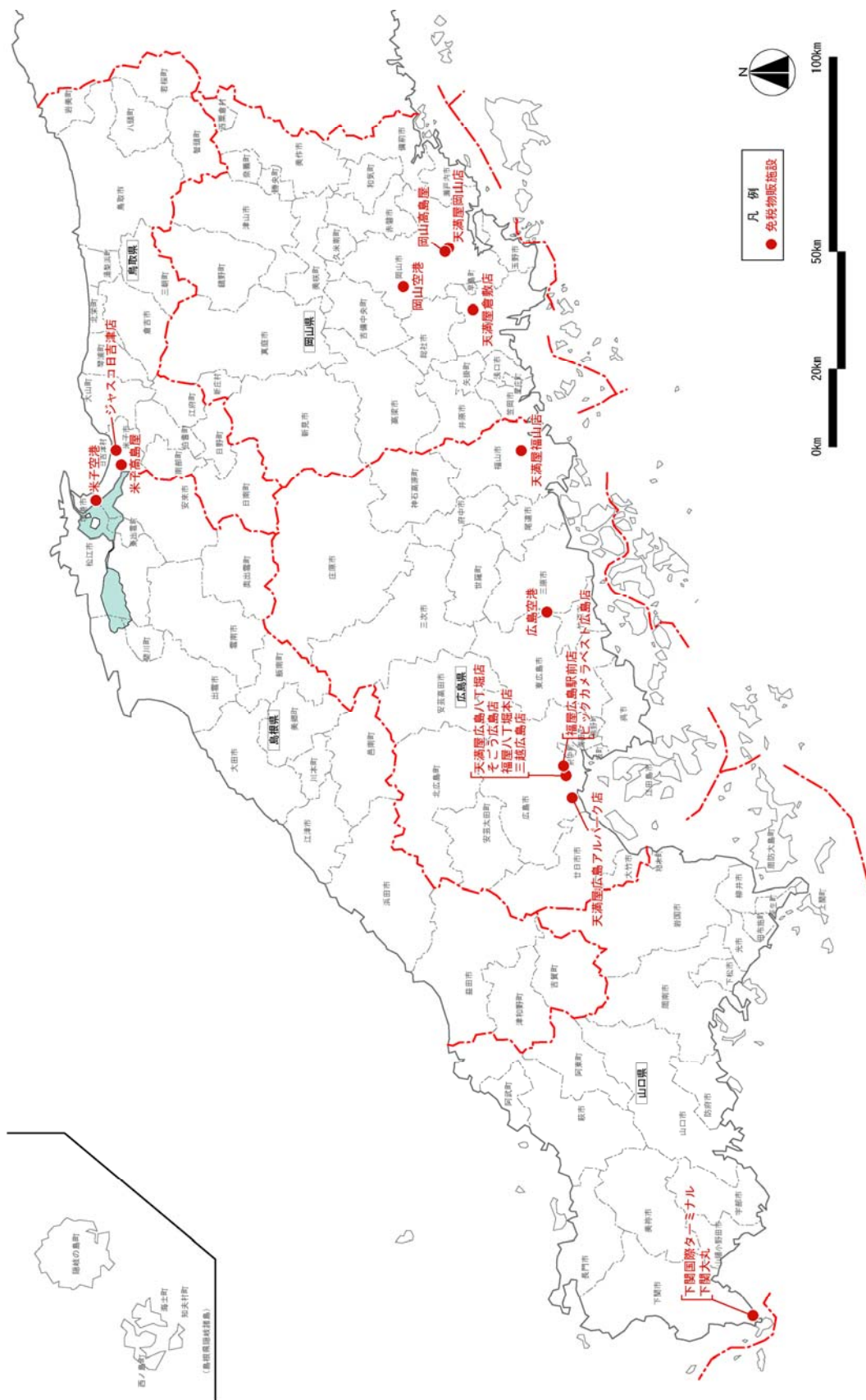


※自動車専用道路は、高規格幹線道路及び地域高規格道路を表す。

※路線は、「高規格幹線道路網図（中国地方整備局：H20.3.31現在）」及び「中国地方整備局管内地域高規格道路指定路線図（中国地方整備局：H20.4.1現在）」を基に、平成21年3月末時点の供用区間等を図示。

(5) 免税物販施設の状況

- ・ 外国人観光客のショッピングへの対応として、中国圏内の主な免税物販施設は、山陽側の広島市、岡山市、下関市に集中しているものの、山陰側にも米子市に3箇所ある。



中国圏の主な免税物販施設

※免税物販施設は、日本百貨店協会加盟百貨店及び
主要商業施設への電話調査による

1-1-4 教育旅行の状況

(1) 訪日教育旅行の動向

国土交通省では、2010 年までに訪日外国人旅行者 1000 万人達成を目標とするビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、若年層の交流を積極的に推進することとしており、特にその中心として修学旅行など訪日教育旅行の促進を図っていくこととしている。

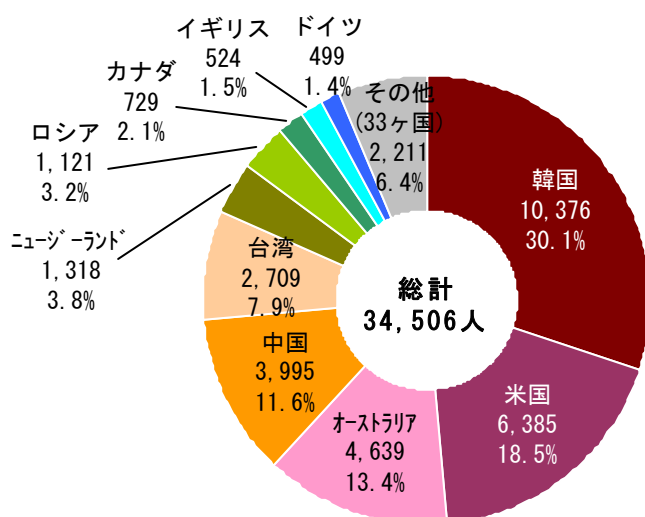
このため、平成 17 年 7 月から関係省庁・関係団体による「訪日教育旅行促進のための検討会」を開催し、その報告書（「訪日教育旅行の促進のための検討会報告書」平成 17 年 9 月国土交通省総合政策局国際観光推進課）をとりまとめている。

以下に、その報告書から訪日教育旅行の動向を示す。

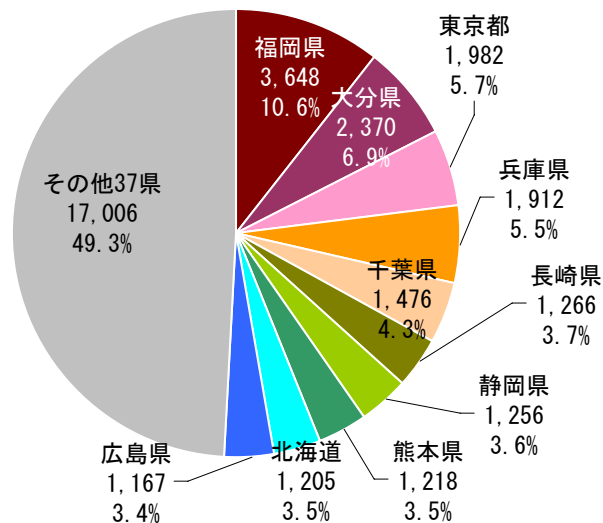
① 訪日教育旅行の受入れ実績

訪日教育旅行の受入れを行った学校に対する調査として、文部科学省が平成16 年度に全国の教育委員会等を通じて行った調査結果は以下のとおりである。

- ・ 訪日教育旅行の年間人数は約 3.5 万人である（平成 16 年度）
- ・ 相手国・地域別では、近隣のアジアが中心で、韓国が第 1 位である。
- ・ 韓国・米国・オーストラリア・中国・台湾が上位 5 位を占める。
- ・ 都道府県別では、福岡県・大分県など九州地方が上位を占めている。
- ・ 九州においては、地理的な近接性を活かし、韓国などアジアからの受入れに積極的なことが伺われる。
- ・ 中国圏では、広島県が 1,167 人と、受入れ実績の上位から 10 番目の位置にある。



■ 訪日教育旅行相手国別受入実績（平成16年度）



■ 訪日教育旅行都道府県別受入れ実績 (平成16年度)

出典：訪日教育旅行の促進のための検討会報告書（平成17年9月）

訪日教育旅行相手国別受入れ実績 (平成16年度)

		小学校		中学校		高等学校		計	
		学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数
1	韓国	48	1,049	80	3,850	110	5,477	238	10,376
2	米国	81	1,383	203	2,062	211	2,940	495	6,385
3	オーストラリア	63	703	145	1,734	152	2,202	360	4,639
4	中国	39	918	52	1,213	76	1,864	167	3,995
5	台湾	4	62	5	123	46	2,524	55	2,709
6	ニュージーランド	14	232	26	403	44	683	84	1,318
7	ロシア	9	288	20	576	9	257	38	1,121
8	カナダ	8	70	16	215	22	444	46	729
9	イギリス	4	51	13	169	23	304	40	524
10	ドイツ	0	0	17	125	24	374	41	499
その他(33ヶ国)		51	766	44	537	89	908	184	2,211
計		321	5,522	621	11,007	806	17,977	1,748	34,506

(注) 教育委員会等を通じて、学校において海外からの教育旅行の受入れ実績を調査したもの。

出典：文部科学省資料

訪日教育旅行都道府県別受入れ実績（平成16年度）

		小学校		中学校		高等学校		計	
		学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数	学校数	受入れ者数
1	福岡県	21	302	46	1,646	33	1,700	100	3,648
2	大分県	1	47	15	553	18	1,770	34	2,370
3	東京都	3	102	26	495	67	1,385	96	1,982
4	兵庫県	28	414	47	658	60	840	135	1,912
5	千葉県	28	203	41	631	29	642	98	1,476
6	長崎県	4	96	7	359	24	811	35	1,266
7	静岡県	14	195	26	348	40	713	80	1,256
8	熊本県	6	53	15	541	16	624	37	1,218
9	北海道	11	162	13	146	34	897	58	1,205
10	広島県	20	354	16	219	39	594	75	1,167
その他 37 県		185	3,594	369	5,411	446	8,001	1,000	17,006
計		321	5,522	621	11,007	806	17,977	1,748	34,506

（注）教育委員会等を通じて、学校において海外からの教育旅行の受入実績を調査したもの。

出典：文部科学省資料

平成16 年度に訪日教育旅行を受入れた学校は、小学校・中学校・高等学校の延べ1,748 校に上り、これらの学校では、43 カ国から計34,506 人を受入れている。これを同時期の海外への修学旅行と比較してみると、1,440 校が実施し、計177,931 人が渡航していることから、海外修学旅行と訪日教育旅行の実績には約5 倍もの大幅な格差があることになる。

また、一校当たりの平均参加者数を見ると、訪日教育旅行については20 名程度となり、100 名を超える海外修学旅行とは大きく形態が異なっていることが伺われる。

小学校・中学校・高等学校のいずれについても受入れが行われているが、受入れた実績の大半（82%）が中学校及び高等学校である。また、1,748 校のうち年度内に複数件受入れたケースを除いた実数は1,517 校となるが、受入れが特定の学校に集中しているとの指摘もある。

訪日教育旅行受入れ実績（平成16年度）

	訪日教育旅行		(参考) 海外修学旅行	
	受入れを行った学校数	受入れ人数	海外修学旅行を行った学校数	旅行人数
小学校	321 (307)	5,522	5 (5)	124
中学校	621 (586)	11,007	195 (182)	14,642
高等学校	806 (624)	17,977	1,240 (873)	163,165
計	1,748 (1,517)	34,506	1,440 (1,060)	177,931

（注）教育委員会等を通じて、学校において海外からの教育旅行の受入れ実績を調査したもの。
学校数の（ ）内は一校で複数回実施した重複を除いた実数

出典：文部科学省資料

なお、中学校・高等学校での受入れは約3万人弱であり、中学生・高校生に相当する世代の訪日旅行者全体（平成16年の推計値約23万人）の少なくとも10%程度が、学校受入れの対象となっているものと推定される。

訪日教育旅行の受入れ実績のなかった学校では、「申入れがなかった」ことをその理由とするものが80%以上（中学校・高等学校約17,000校中、約14,000校）を占めており（文部科学省資料）、多くの学校にとって訪日教育旅行の受入れはまだ身近なものとはなっていないことが伺える。

その他の理由としては、訪日教育旅行の申入れは直前が多く、カリキュラムや既定の学校行事等で学校交流を実施するための調整が困難であること、希望する日程が合わないことなどが挙げられる。また、受入れに当たっての言葉の問題などに不安があること等が学校への受入れを阻害する要因となっていると考えられる。

② 韓国の訪日教育旅行に関するニーズ

韓国の訪日教育旅行は1991（平成3）年に開始されている。海外教育旅行の訪問先では日本が65%でトップとなっており、次いで41%の中国となっている。

訪日教育旅行の主催はボーイスカウト等の青少年団体が34%と最も多く、次いで学校自体が26%となっている。青少年団体主催の場合は複数の学校に声をかける等の募集型となり、学校主催の場合は、学校行事の一環としての学年単位での参加となる。学校においては学校長の裁量により決定されることが多い。

規模は、30から80名程度の団体が多いが、200名規模の団体も増えてきている。

実施時期は、50%以上の学校が7、8月の夏休み期間である。国内の訪問地は、福岡が38%でトップ、次いで大阪、京都、奈良、熊本と、九州・関西の都市が上位を占める。

訪問目的としては体験型（伝統工芸製作、スポーツ、自然等）が63%と最も多く、次いで姉妹校訪問31%、学生交流3%、語学研修3%となっている。

旅行日数は4泊5日または5泊6日が多い。

旅行費用は一人当たり576,000ウォン（約58,000円）程度である。

以上の訪日教育旅行の現状と特徴を踏まえて、報告書では、5つの課題、5つの方向性と具体的方策を提言しており、特に学校交流とホームステイの重要性がうたわれている。

当面の具体的方策について以下の提言がなされている（次ページ概要参照）。

当面の具体的方策（提言）

- 1 訪日教育旅行促進のための協議会（全国レベル及び地域レベル）の設立
- 2 地方公共団体における部門間連携の強化
- 3 ホームステイ・ホームビジット対応のための関係者の連携強化
- 4 学校に対する情報提供の充実のための訪日教育旅行受入マニュアルの作成
- 5 海外に対する適切なアピールのための訪日教育旅行ガイドブックの作成

「訪日教育旅行の促進のための検討会報告書」のポイント

～未来を担う若者たちの交流拡大を目指して～

訪日教育旅行促進の 4つの意義

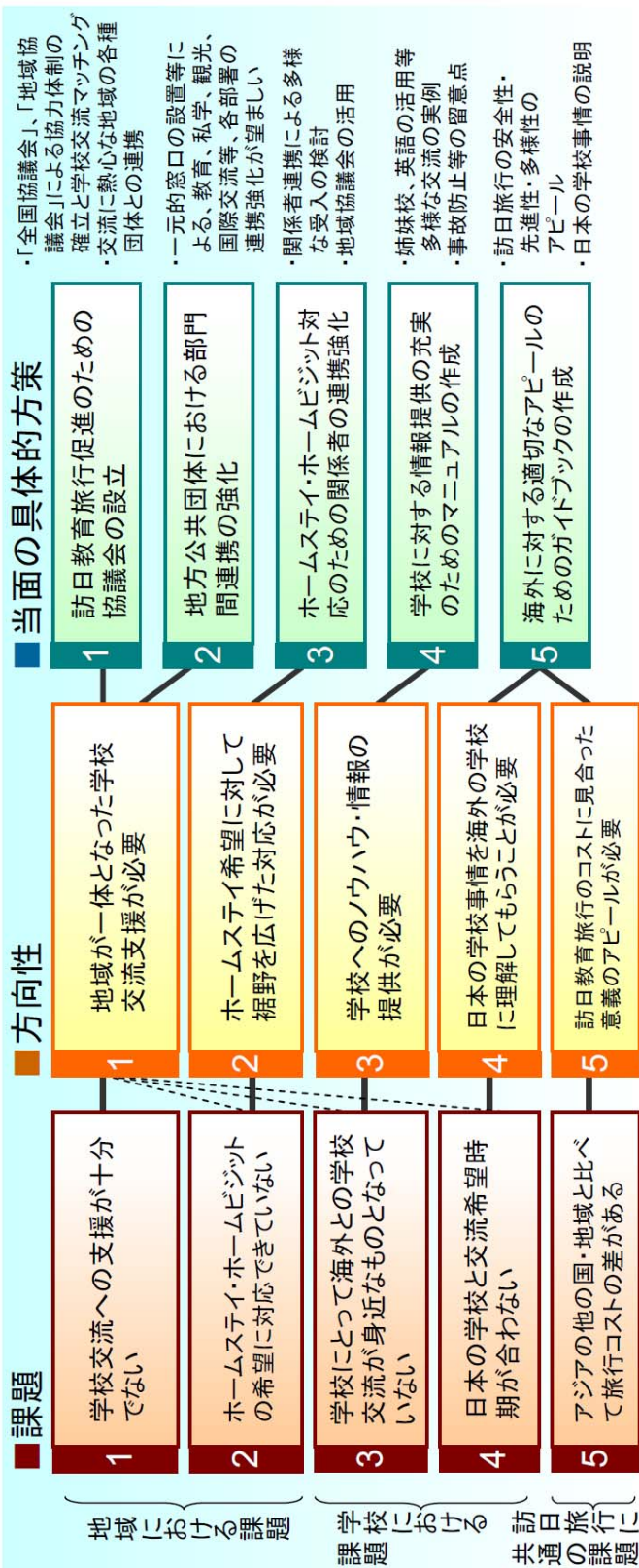
- 若年層の交流拡大による国際相互理解の増進（「パブリック・ディプロマシー」の一助）
- 訪日外国人旅行者の増加（訪日リピーターの育成）
- 国際理解教育の推進（バランスのとれた実践的な国際理解教育）
- 国際交流を通じた地域振興（地域における国際交流の多様化・活性化）

訪日教育旅行の現状

- 訪日実績： 年間34,500名（平成16年度）
（日本の海外教育旅行参加者数の約5分の1）
- 国・地域： 韓国・米国・オーストラリア・中国・台湾が上位5位
- 学校受入： 全国の中学・高校17,000校のうち年間1,200校が受入れ
14,000校は「申入れがなかった」ため受け入れず（平成16年度）

訪日教育旅行の特徴

- 規模： 1団体平均約20名（日本の海外教育旅行団体の約5分の1）
- 形態： 希望者参加型が中心で、必ずしも学校行事とはされていない
- 目的： 学校交流やホームステイなど、日本での交流を重視
- 時期： 夏休み・冬休みの実施希望が多い
- 決定： 実施決定時期が直前であることが多い



「訪日教育旅行の促進のための検討会報告書」平成17年9月

国土交通省総合政策局国際観光推進課

(2) 山陰での訪日教育旅行の具体例

中国圏内では、各県とも韓国、台湾を中心に教育旅行受入れを多数実施してきている。ビジット・ジャパン・キャンペーンを活用して韓国、台湾の教育旅行関係者の視察ツアーを受入れ、その高評価を得て、教育旅行の受入れ実現に繋げている例もある。

ここでは、その訪日教育旅行受入れの実施例を取り上げ、その特徴と課題を検証する。

平成20年の10月に実施された鳥取県での韓国の高校の教育旅行は以下のような概要と行程で行われている。

- ・193人が2班に分かれて視察 10/7～10/10 3泊4日
- ・ホームステイを1泊広島で実施
- ・多様な体験学習を体験

韓国S高校の行程表

A組 78名(生徒74名) 米子イン→広島アウト				B組 115名(生徒108名) 広島イン→米子アウト		
月 日	時間	日 程	宿泊地	時間	日 程	宿泊地
10月7日 (火)	12:30 ～14:00 15:20～ 16:20～ 17:30～	仁川空港→米子空港 ■水木しげるロード ■とっとり花回廊 米子市内自由行動	伯耆町 大山ロイヤル ホテル	9:40 ～11:10 14:00～ 16:00～	仁川空港→広島空港 □巖島神社 □広島平和公園 ・原爆ドーム	広島市 ホーム ステイ
10月8日 (水)	9:00～ 11:00 ～13:00 16:00～ 16:30～ 17:00～	■大山まきば みる くの里(乳搾り体験) ■米子北高校との交 流 □岡山城 □後楽園 □岡山駅周辺自由行 動	岡山市 岡山オ ークラ ホテル	09:00～ 14:20～ 16:00～ 16:30～ 17:00～	□松濤園 □倉敷美観地区 □岡山城 □後楽園 □岡山駅周辺自由行 動	岡山市 岡山オ ークラ ホテル
10月9日 (木)	8:30～ 13:30～	□倉敷美観地区 □松濤園 □巖島神社	広島市 ホーム ステイ	11:00～ 13:40～ 16:40～	■燕趙園 ■青山剛昌ふるさと 館及び風力発電所 ■日韓友好交流公園	伯耆町 大山ロ イヤル ホテル
10月10日 (金)	8:00～ 12:10 ～13:45	□広島平和公園 ・原爆ドーム 広島空港→仁川空港		9:00～ 10:30～ 15:00 ～16:40	■ジャスコ ■水木しげるロード 米子空港→仁川空港	

一般に教育旅行の企画から実現の流れは、学校がそれぞれに独自に予定を立て、旅行会社から企画見積りを取り、入札によって旅行会社を選定し（韓国では、学校が国のサイトにアップし、それに業者がアクセスし、入札する）、その旅行会社と学校間で詳細な事業内容を調整し、その結果に沿った旅行会社の運営によって行われている。

この仕組みは韓国も日本も同じで、この教育旅行でもそのような流れで、韓国の旅行会社によって企画・実施されている。

この旅行会社がどのようにして日本でこの教育旅行を実施したかについては、韓国海外現地調査(平成 20 年 12 月 14 日～18 日)において直接担当者にヒアリングし、また、当該旅行を協力支援した鳥取県文化観光局観光政策課や広島県商工労働部観光課からのヒアリングでも確認している。そのヒアリング結果から得られる教育旅行の特性・課題は以下のとおりであり、これら特性・課題は、この教育旅行だけに限らず他の教育旅行全般に共通するものであると考えられる。

韓国 S 高校訪日教育旅行の特徴・課題

- ・韓国旅行会社が企画・運営。日本の旅行会社とのジョイントはなし。日本語が話せる日本に精通した担当者が直接日本の訪問地予定地を踏査し、宿泊施設、観光施設と価格・内容を交渉し、行程を調整、確定。
- ・韓国には修学旅行を扱う専門業者がいる。価格競争もあり、利益幅は小さく、大手旅行会社の多くは参入してこない。日本の旅行会社と組むのはコスト高になるため単独で旅行事業を取り扱っている。
- ・200 人規模になると、飛行機の席の確保などの制約があり、2 班に分かれての行程になる。
- ・日本の魅力は、安全・安心である。学校側はやり易い。また、飛行機で 2 時間という利便性も日本が教育旅行先に選ばれる理由でもある。
- ・生徒には日本に対する憧れもあり、日本のアニメ、アイドル、歌、ゲーム、ファッション等の最先端のものや街の華やかさにも興味がある。
- ・体験学習に力を入れている。自然、歴史、文化、環境、産業といったテーマを持った教育旅行を重視している。中国圏には、広島の世界文化遺産（宮島、原爆ドーム）や、岡山の岡山城、後楽園、鳥取の大山の自然体験、乳絞り体験など、多様な歴史文化、自然体験学習等が可能な観光資源が多数あるので教育旅行に活かせる。今後、中国圏におけるテーマ性を持った多様な体験学習メニューを充実していくことが必要である。
- ・お金をかけずに楽しめる体験学習、子供たちを飽きさせない宿泊施設のもてなしなども重要。（夕飯後の時間の空いた自由時間に餅つき大会をして、楽しませてくれたちょっとした工夫、もてなしが好評である）
- ・体験学習施設等の情報収集では、県の観光担当課の情報提供協力なども助かっている。公的な機関の協力が欠かせない。旅行会社が独自の情報網の中で観光立ち寄り先を企画していることを考えると、体験学習施設はじめ観光施設情報の協力支援が重要である。
- ・教育旅行では、学校間交流の要望が多い。受入れでも、また逆に海外へ出る場合でも要望が多い。教育の一環としての理由から要望が多いが、学校間交流実績がない学校の場合、相手校を探すのに大変苦労している。県が間に立ち紹介しているケースも多い。学

校、教育委員会等の協力体制を構築することが課題である。

- ・生徒の中には、テーマパークよりもホームステイに魅力を感じて応募する子もいる。日本人との交流を子供が高く評価している。
- ・ホームステイを通じて日本人との交流を深め、好印象、高評価に繋がっている面があり、将来の両国の国際交流に良い結果をもたらす効果がある。将来の両国の友好を担う若い人材育成にも寄与する。
- ・ホームステイは、広島県の民間団体のヒッポファミリークラブの協力で実現できた。
- ・1ヶ月もない短期間の中で100人規模のホームステイを実現できるのは、中国圏では広島のこの組織しかいない。会員数は約400人である。
- ・広島県のヒッポファミリークラブへのヒアリングでは、公的な補助もなく会員独自の資金(寄付等)で運営されており、会員相互の情報ネットワークが確立しているとのこと。誰が受入れ可能かなど、情報共有と情報伝達がしっかりしており、短期間の中で、大量の受入れ処理をすることが可能とのことである。
- ・広島では、他に広島ホームステイ協会で20名程度の受入れもあった
- ・鳥取市、米子・松江のヒッポファミリークラブはそれぞれ10数人規模でまだ小さいとのこと。広島県以外の各県では20～30人規模の組織にするのも大変なことである。多くは国際交流協会などの外郭団体に依存している状況にある。
- ・広島県では、ホームステイ体制は、ヒッポファミリークラブとの協力関係が構築されて機能しているが、他県では不十分で、ホームステイの教育旅行に対応できていない。各県とも教育委員会も観光担当課もホームステイ組織化・支援まで取り組みができておらず、今後の課題である。

以上のヒアリング結果から得られる課題の要点を整理すると以下のとおりである。

教育旅行受入れに向け検討すべき課題の要点

- ①中国圏の自然、歴史、文化、環境、産業といったテーマを持った多様な体験学習施設をネットワーク化することによって、教育旅行の魅力増進に繋がる。体験学習そのものの工夫次第で魅力を打ち出すことができ、九州などの他圏域に負けない教育旅行先にすることが可能である（現在は、中国圏は九州などに比べ、国内の修学旅行先でも素通りされているが、地域資源の魅力の活かし方を工夫する必要がある）。
- ②体験学習施設、宿泊施設などの観光情報が、各県共通に旅行事業者はじめ一般に入手できる情報ネットワーク、データ管理として一元化されていないため、その強化が課題である。
- ③観光事業者への相談、情報提供等や学校間交流の構築に向け、県等の自治体の協力体制が課題である。
- ④ホームステイができることも、教育旅行の大きな選択肢の理由となることから、ホームステイ体制の構築が課題である。

なお、以下に、前述の韓国S高校の教育旅行を企画運営した旅行会社の担当者が、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業において、韓国訪日教育旅行について講演したときの資料を参考に示す。

この中で、ヒアリング結果にもあるような韓国における訪日教育旅行市場の現状と動向の紹介とともに、最近のトレンドや日本側の受入れに関して、単なる観光としての教育旅行ではなく、ホームステイを通じた滞在や体験学習を中心とした教育旅行を新しい商品として開発していることと、そのような教育旅行商品を山陰・山陽をつなぐ中国圏だけでなく、富山から信州・長野・名古屋に至る中部圏や、近畿圏などでも多様な体験学習旅行を商品開発しており、中国圏として他圏域に負けない体験学習の魅力向上・アピールが重要になってくることに留意する必要がある。

また、日韓の学校間どうしのスムーズな学校交流が実現できるよう、教育関係機関の協力・連携の必要性和ホームステイ組織の充実の必要性を強調しており、そのことにも留意する必要があると考える。

<韓国における教育旅行について>

VJC 韓国・訪日教育旅行促進事業 講演会資料 2008.8.26

韓国における海外教育旅行・修学旅行について

(株)世界ツアー

趙成永(チョ・ソンヨン)

1. 海外教育旅行市場動向.

1) 教育政策の変化

- 教育監直接選挙制:規制から自律と競争へ
- ソウル市教育庁による学校自律化2段階推進計画:

市教育庁関係者は、修学旅行に関する指針の廃止に関してこう語る。

「今までは修学旅行プログラムの運営と教育内容、契約方法などが教育庁による指針で定められていたが、これからは各学校が自律に規定を定めることができる。教育庁は修学旅行を国内と国外で分けて行くことに反対する立場だが、学校が自主的に方針を決めると、強制に規制しないことである。」

2) 旅行先の多様化

日本、中国が中心だった教育旅行デスティネーションが、アメリカのノービザ入国と教育庁の規制緩和により、アメリカやヨーロッパに多変化する可能性が高い。(特別目的高校および一部の地域・階層)

3) 修学旅行の両極化

4) 経済的な要因:不景気、為替高、原油高による影響

2. 訪日教育旅行市場動向

危機

- 1) 政治的な状況悪化:一部の地域において、教育庁の通達による日本との交流自製の動き(交流・修学旅行の減少)
- 2) 風船効果により、中国と韓国内修学旅行の一時的な増加が予想される。
- 3) 旅行先の多様化による「脱日本」の傾向が現れる。

機会

- 1) 現実的な代案の不在論:距離、安全、教育的な側面を考慮すると日本が代案
- 2) 学校自律権の拡大:海外修学旅行市場の拡大
- 3) 低下航空社(LCC)の日本路線就航および船舶の増加

3. 電子入札・公開入札など入札の種類・方法

1) 業者選定の方法

- 修学旅行活性化委員会と学校運営委員会の審議(諮問)を通し、学校長が業者選定の条件を明示して入札公告をする(随意契約の場合も同様な手続き)。この際、契約方法を事前に決定する。
- 業者提案書(価格、プログラム、宿泊、コース、交通便)を評価して対象者を絞り、現場への下見を実施し評価の結果(客観的な評価、主観的な評価、価格上の評価)をまとめて業者を選定する。

2) 契約方法

- 経費が 2,000 万ウォン以下の場合:一人の手書き見積りで随意契約
- 経費が 2,000 万ウォン超過~5,000 万ウォン以下の場合:二人以上の手書き見積り、あるいは G2B を通じる見積りで随意契約を実施
- 経費総額が 5,000 万ウォン超過の場合:競争入札契約(交渉による契約)を行う。

4. 効果的な学校関係者の招請事業

1) 招請対象の選定

- 公立と私立の相違
- 地域環境
- リーダーシップ
- その他:校長の定年時期など

2) 地域特性および環境を考慮した戦略的な方法: ファムトリップを進める際、地域状況に合わせた団体長を招待する。

- 価格基準: 販売価格が高価な地域は外国語高校・科学高など特殊目的高校を対象にする。

- 航空機種基準: 小型航空機が就航する地域は、大規模の修学旅行団体よりスカウト連盟・青少年団体の団体長、あるいは 80 人前後の比較的に人数が少なくて主に海外文化探訪を行う小・中学校の校長を招請したほうが効果的である。

- 参考: 海外文化探訪と修学旅行の相違

6. 最近のルート(自分で取り組んだコース紹介)

- 1) 広島—岡山—鳥取
- 2) アルペンルート—長野—名古屋
- 3) 大阪—京都—滋賀—名古屋
- 4) 東京中心コース

7. 日本側の受け入れ

- 1) 学校交流: ソウル地域の教育庁の指導要綱に交流を必須事項として勧誘。学校交流の際、交流プログラムの多様化および内実化
- 2) ホームステイ組織の活性化: 例) 新潟
- 3) 出国の際、修学旅行専用の審査ブースの運用

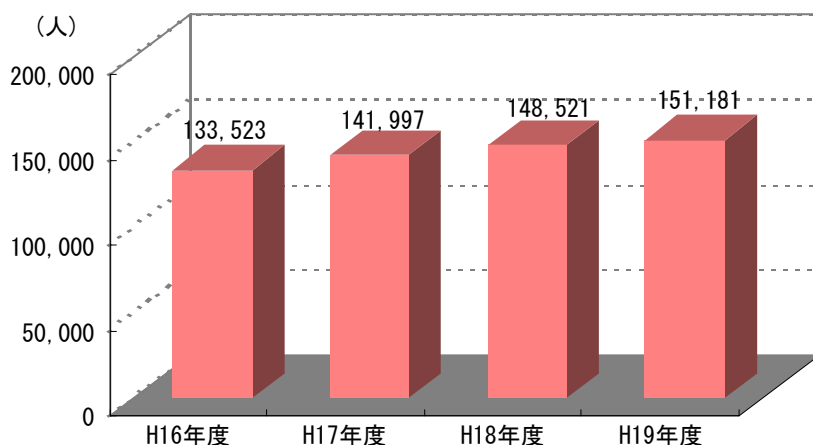
8. まとめ

(3) 日本の高等学校の海外修学旅行の動向

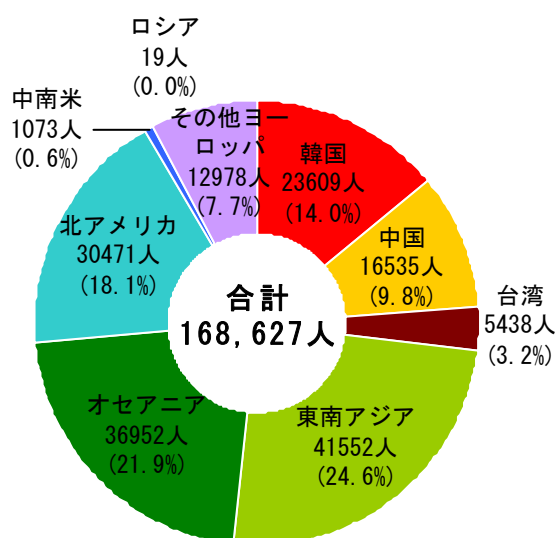
財団法人全国修学旅行研究協会が毎年度、各都道府県及び政令都市を対象に調査実施している「全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修（修学旅行外）実施状況調査報告書」の平成19年度報告書より全国の高等学校の海外修学旅行の状況をみると、以下のとおりである。

なお、19年度の全国の高等学校は、公立3,976校、私立1,322校、合計5,313校、生徒数は約340万7千人である。

- ・全国で936校（公立463校・私立473校）が実施し、151,181人（公立69,329人・私立81,852人）の生徒が参加。公立高校では11.6%、私立高校では35.8%の実施率であった。旅行件数は1,156件（公立488件・私立668件）ある。
- ・また、海外への修学旅行参加生徒数は、経年的に増加傾向にある。
- ・訪問国別に見ると、国別ではオーストラリアが最も多く19.1%、次いで韓国が14.0%、中国が9.8%となっており、東南アジアも含めたアジア圏が半数以上を占めている。
- ・公立高等学校の実施率では、鳥取県が50.0%と第1位で最も高い。

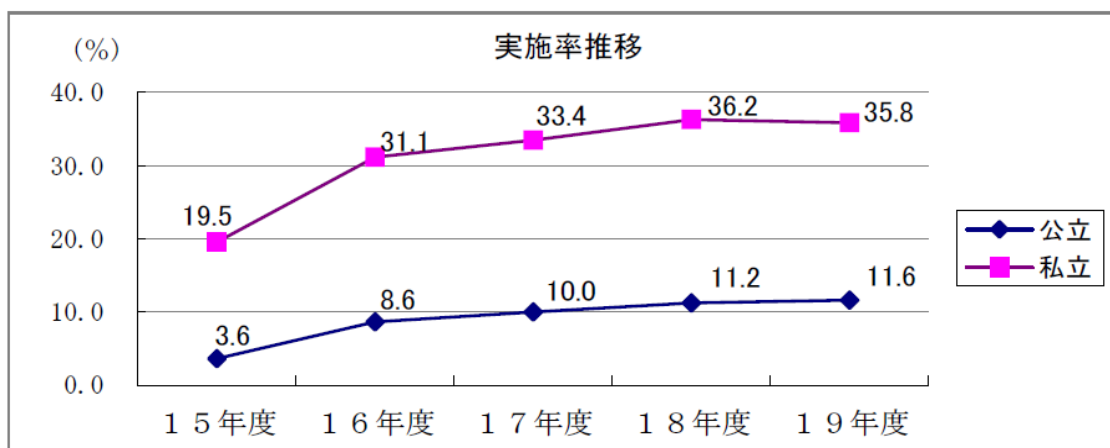


■ 高等学校海外修学旅行参加生徒数の推移

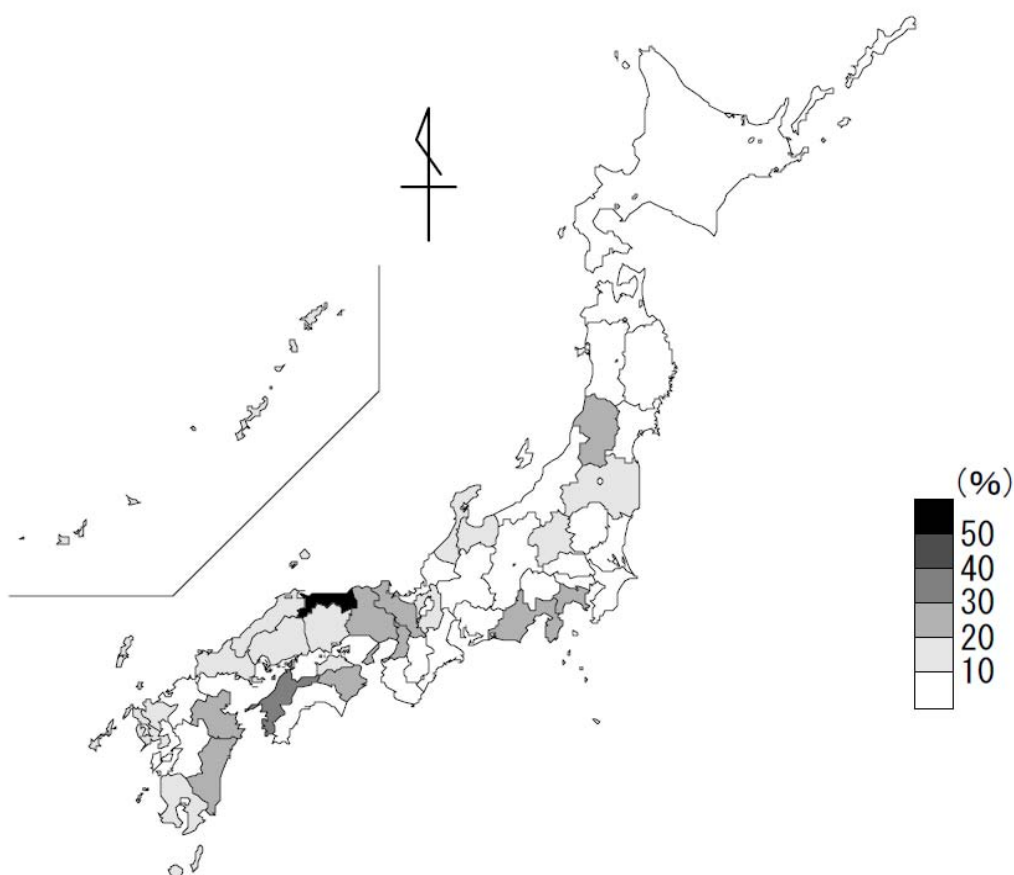


■ 訪問国別高等学校海外修学旅行実施状況（平成19年度）

出典：全国公私立高等学校海外修学旅行・海外研修実施状況調査報告
（財）全国修学旅行研究協会）



19年度 公立高校実施率



公立高等学校の状況

- ・ 463校が実施し69,329人が参加した。旅行実施件数は488件であった。
- 〈実施件数上位県〉 兵庫県(48件)、神奈川県(39件)、大阪府(39件)、静岡県(29件)
 　　　　　　　　　　 愛媛県(25件)、京都府(18件)、広島県(18件)、岡山県(12件)
- ・ 全国の実施率は11.6%で、全国平均を上回る県は20府県あり西日本・九州地方が高い。
- 〈実施率上位県〉 鳥取県(50.0%)、愛媛県(34.4%)、兵庫県(28.0%)、徳島県(25.0%)
 　　　　　　　　　　 静岡県(23.8%)、京都府(23.4%)、神奈川県(23.2%)、大阪府(20.5%)

1-1-5 学校海外研修旅行アンケート調査の分析・整理

(1) 学校海外研修旅行調査結果の概要

鳥取県、島根県の学校では、高等学校を中心に毎年、海外研修旅行が活発に行われ、特に韓国への海外研修旅行も多い。そのため、境港～東海（韓国）～ウラジオストク国際フェリーの本年前半(予定)の就航にあたり、500 人規模の旅客収容定員の本フェリーを利用した韓国への高校の研修旅行（修学旅行等の団体旅行）も今後予想されることから、その可能性を探ることを目的として、県教育委員会を通じて高等学校を対象にアンケート調査を実施した。

本フェリー利用の可能性の高い地域ということで、島根県、鳥取県、及び米子自動車道利用を想定した中国自動車道以北の岡山県北部の市町村の高等学校を調査対象とした。

【高校調査概要】

岡山県（一部）、島根県、鳥取県の全県立高校を対象に、調査票の郵送配布・回収（一部FAXによる送付）により実施した。

	岡山県	島根県	鳥取県	合計
回答 高校	○新見高等学校 ○勝山高等学校 ○蒜山高等学校 ○津山工業高等学校 ○津山商業高等学校 ○岡山操山高等学校 以上 6 校	○安来高等学校 ○情報科学高等学校 ○大東高等学校 ○江津高等学校 ○大社高等学校佐田分校 ○松江東高等学校 ○隠岐高等学校 ○益田高等学校 ○横田高等学校 ○浜田高等学校今市分校 ○大田高等学校 ○飯南高等学校 ○出雲工業高等学校 ○出雲商業高等学校 ○松江北高等学校 ○隠岐島前高等学校 ○隠岐水産高等学校 ○平田高等学校 ○松江農林高等学校 ○浜田商業高等学校 ○島根中央高等学校 ○浜田水産高等学校 ○出雲高等学校 以上23校	○倉吉総合産業高等学校 ○鳥取工業高等学校 ○鳥取中央育英高等学校 ○米子高等学校 ○米子西高等学校 ○倉吉農業高等学校 ○鳥取西高等学校 ○智頭農林高等学校 ○日野高等学校 ○岩美高等学校 ○鳥取湖陵高等学校 ○米子南高等学校 ○八頭高等学校 ○米子工業高等学校 ○境高等学校 ○境港総合技術高等学校 ○米子白鳳高等学校 ○青谷高等学校 ○米子東高等学校 ○倉吉東高等学校 ○倉吉西高等学校 以上21校	50校
対象 高校数 及び 回答率	12校 (50.0%)	38校 (60.5%)	24校 (87.5%)	74校 (67.6%)

【高校調査結果の概要】

○山陰地方からの韓国教育旅行（有効回答 50）

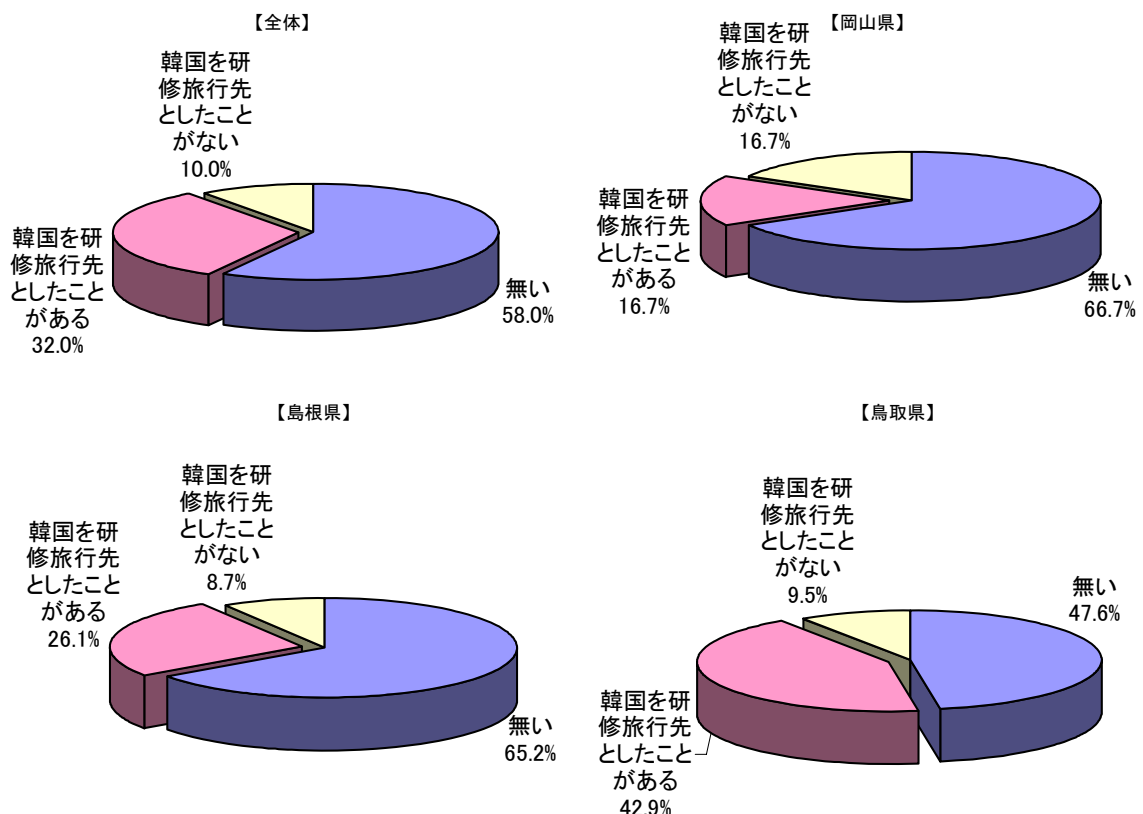
山陰地方から韓国への教育旅行の実施率は高いが、フェリー航路の利用、また韓国側から求められている学校間交流の受入れには、それぞれ課題があることが明らかになった。

- ・海外教育旅行は過去5年間で6割以上の高校が実施している
- ・3割強の高校は韓国への教育旅行の実績がある
- ・今後3年間で2割の高校が韓国への教育旅行を予定している
- ・韓国との学校間交流の受入れには、それに要する業務負担等を理由に消極的な意見が多い
- ・韓国でのホームステイの実績はわずかであり、浸透していない
- ・教育旅行目的でのフェリー航路利用については、時間的な不便さ、船酔いなどの理由から消極的である

問1：貴校において、過去5年間で、海外研修旅行を行ったことはありますか。また、有る場合には、韓国を研修旅行先とした経験があるかお答えください。

海外研修旅行を行ったことがあるとの回答は全体で42.0%であり、海外研修旅行を行ったことがあるうち韓国を研修旅行先とした経験は76.2%（全体の32.0%）であることから、海外研修旅行先として韓国は、最も可能性の高い国であると考えられる。

県別で見ると、特に鳥取県での実施割合が高く、海外研修旅行を行ったことのある学校のほとんどが韓国を研修旅行先としていることがわかる。



問2：問1において、韓国を研修旅行先としたことがある学校のみ、研修時期等、実施内容について下記の表（研修旅行日程、訪問主要都市名、学年等、参加生徒数、相手交流校、交通機関、ホームステイの有無）でお答えください。

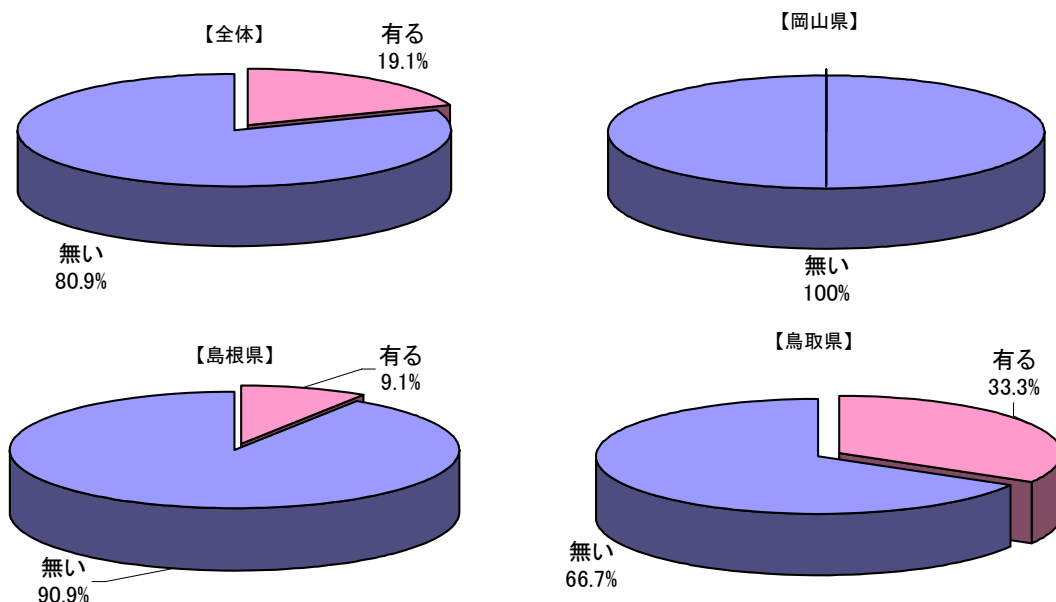
- ほとんどの学校で複数回実施している。
- 研修旅行日程については、学校によって決まっているようであるが、秋（9月、10月）がやや多い。
- ほとんどの学校で3泊4日の旅程となっている。
- 訪問先としては、ソウルが最も多く、その他、釜山、慶州なども多くなっている。
- 韓国での交流校がある高校は半数以上となっているが、年度によっては交流校がないこともある。
- 交通機関としては米子空港から飛行機利用が最も多くなっているが、岡山空港からの飛行機利用も多く、また、水産高校では船（練習船）との回答もある。
- ホームステイについては、ほとんど実施されていない（2校のみ）。

問3：今後3年間に於いて、韓国を海外研修旅行先とする計画はありますか。

全体で、有るとの回答は約2割であり、全て過去5年間に於いて韓国に海外研修旅行として訪れたことがあるリポート校であった。

県別では、岡山県は全く予定が無く、鳥取県で有るとの回答が33.3%となっている。

また、予定交通機関としては、米子空港、広島空港、岡山空港と様々であり、また、鳥取県の1校においては、境港から釜山との回答もあった。



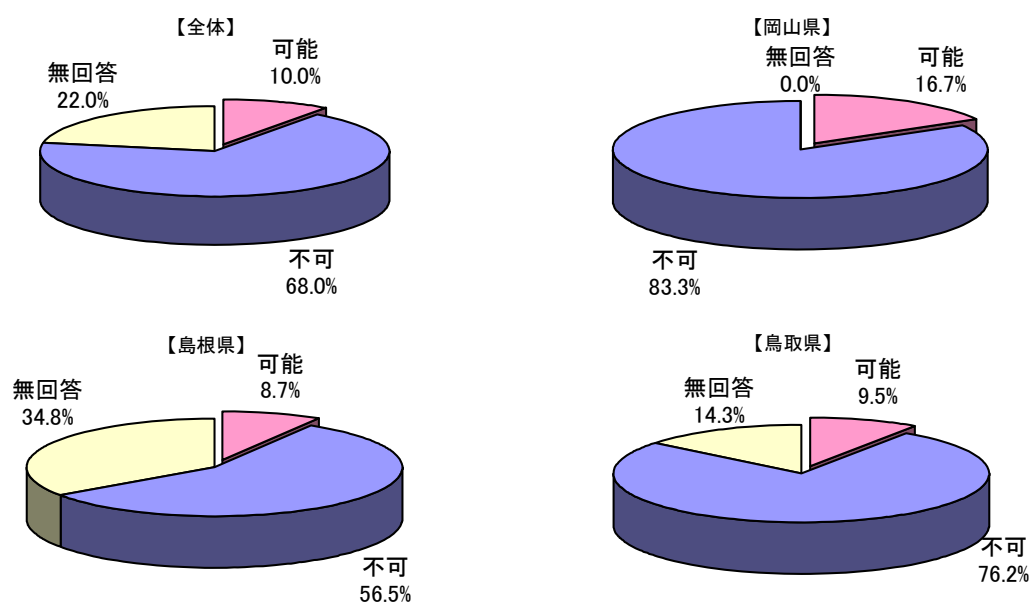
問4：韓国側の学校から学校間交流の要請があった場合、受入れは可能ですか。

全体で可能との回答は1割であったが、具体案が無いので回答できず無回答も多くなっている。

県別では岡山県の割合がやや高くなっており、島根県で低くなっている。

不可の理由は、「すでに交流校（韓国又はその他）がある」が最も多く、その他「学校行事の調整が困難」「言葉や文化の理解が乏しい」「現時点では、受入れ態勢が整っていない」との回答が多く見られた。

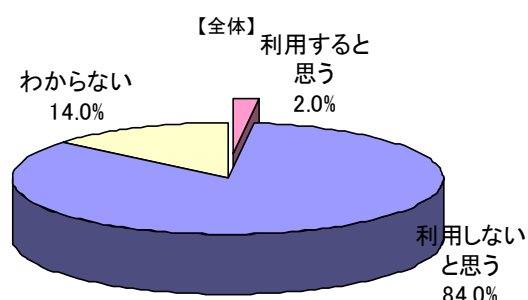
また、受入れを可能とする条件については、「学校全体での合意が必要」との回答が多く、また「予算の確保」「受入れ態勢の準備ができれば」との回答が見られた。



問5：本年4月、韓国（東海）と境港を結ぶ国際フェリーが就航の予定となっています（別紙参照）が、今後、韓国への海外研修旅行に利用すると思いますか。また、その理由をお答えください。

全体で、利用すると思うと回答したのは、岡山県の1校のみであり、8割以上が利用しないと思うとの回答であった。

具体の理由としては、「海外研修旅行を予定していない」が最も多く、また、「時間的制約があるため」も多くなっており、そのほか「韓国内での移動が困難」との回答もあった。



【理由一覧】

岡山県
・海外修学旅行を予定しないため。
・海外修学旅行は予算的に厳しい。
・ものづくりにおける共通項がある(問4とも関係あり)
・金銭的に安価である。
・船酔いする生徒がいるかも知れませんが、代金を考えると安いと思います。
・現在行っている海外研修をさらに充実させる方向で取組をすべきだと考える。
・時間的ロスがあるため。
島根県
現在のところ、海外研修旅行の計画がない為。
検討段階にない。
不明
実施する場合は、飛行機を利用するため。
修学旅行の予定なし。
現時点では、海外研修自体が企画の対象外である。
海外研修旅行は考えていない。
わかりません。
時間の有効利用のため。
時間がかかるので。
実施することはないと思うが、体の負担を考えたら、飛行機を利用すると思う。
鳥取県
・本校では海外研修旅行を実施していないこと。
・本校生徒の家庭状況から金銭的負担が多いこと。
・境港までの交通の便
・船酔いの心配
・最近の経済事情で国内近場の研修旅行に変更した。
・海外研修旅行は、保護者の経済的負担が大きい。
・海外研修旅行の計画がない。
・海外研修旅行を行う場合、ソウルやプサンを訪問する可能性が高いが、船より飛行機の利便性が高い。(船では時間がかかりすぎる。)
・現在、2年次の研修旅行先は台湾。
・定期交流の相手校は韓国江原道の春川高校であり、変更することはない。
・アジアナ航空の就航協力を行っている。県の補助もあり、それがないと研修旅行の維持が難しい。日程的に考えても、交通機関は迅速さを求める。
週末に帰宅できる日程、3泊4日の日程に合致できないため。
海外研修旅行は考えていない。
未定
本校の海洋練習船「若鳥丸」を活用するため。
・時間的制約があること。
・「東海」の持つ歴史的、今日的意義を研究していない。(が、費用的には魅力がある。)
未定。飛行機を利用した場合の日程や金額との比較による。
夜行便ということで、生徒の健康面や安全面の確保に不安があるから。
自主研修地ソウル、交流地プサンである。特に韓国国内での移動が不便である。
現在、シンガポールを研修先として取り組んでいるから。

北東アジアゲートウェイ構想の推進に係るアンケート調査

ご協力のお願い

国土交通省中国地方整備局 企画部 中国圏広域地方計画推進室
港湾空港部 港湾計画課

拝啓、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

国土交通省中国地方整備局では、境港～東海（韓国）～ウラジオストク国際フェリーの本年前半(予定)の就航にあたり、本フェリーを利用した韓国への高校の研修旅行（修学旅行等）の可能性を探ることを目的として、県教育委員会を通じて高等学校を対象に本調査を実施させていただくことになりました。

アンケート内容につきましては統計的に処理し、本調査以外に利用することはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬具

- このアンケート調査の主旨、内容につきまして、ご不明な点、ご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

＜アンケートの主旨に関するお問い合わせ先＞

〒730-8530 広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

国土交通省中国地方整備局企画部 中国圏広域地方計画推進室 土井

Tel.082-511-6137 Fax.082-511-6359

＜アンケートの内容に関するお問い合わせ先＞

北東アジアゲートウェイ構想の推進に係るアンケート事務局

〒730-0051 広島市中区大手町 2 丁目 1 番 1 号 広島商中日生ビル

パシフィックコンサルタンツ株式会社 中国支社 安永

Tel.082-504-1036 Fax.082-504-1041

学校名をご記入ください

学校名	記入者(役職)氏名	()
	連絡先(電話)	()

問 1：貴校において、過去 5 年間で、海外研修旅行を行ったことはありますか。また、有る場合には、韓国を研修旅行先とした経験があるかお答えください。

1 ☐ 無い

2 ☐ 有る

⇒韓国を研修旅行先としたことが ア ある（⇒問 2 へお進みください。）

イ ない（⇒問 3 へお進みください。）

問 2：問 1 において、韓国を研修旅行先としたことがある学校のみ、研修時期等、実施内容について下記の表でお答えください。また、韓国を研修旅行先として複数回実施している場合には、全ての回についてお答えください。

研修旅行 日程	平成	年	平成	年	平成	年	平成	年	平成	年	
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	
	泊	日	泊	日	泊	日	泊	日	泊	日	
訪問主要 都市名											
学年等											
参加 生徒数											
相手交流校											
交通機関 (空港・港)	往										
	帰										
ホームステイ実施 有(泊数)・無											

問 3：今後 3 年間に於いて、韓国を海外研修旅行先とする計画はありますか。

1	☐ 無い
2	☐ 有る（具体的内容について下記に従ってお聞かせください。） ○研修旅行日程（ ） ○訪問予定都市（ ） ○対象学年及び参加予定生徒数（ ） ○交流予定校（ ） ○交流予定校との姉妹縁組の有無 ☐ 有り・ ☐ 無し ○交通機関（空港・港（往： ⇒ ）（帰： ⇒ ） ） ○ホームステイ実施の有無（ ）

問 4：韓国側の学校から学校間交流の要請があった場合、受入れは可能ですか。

1	☐ 可能（理由 ）
2	☐ 不可（理由 ） 受入れを可能とする条件

問 4：本年 4 月、韓国（東海）と境港を結ぶ国際フェリーが就航の予定となっています（別紙参照）が、今後、韓国への海外研修旅行に利用すると思いますか。また、その理由をお答えください。

1	利用すると思う	2	利用しないと思う
その理由 			

ご協力ありがとうございました。

1-1-6 各県の教育旅行、国際交流の取り組み状況

(1) 各県関係者へのヒアリング結果概要

<鳥取県>

【ヒアリング先：鳥取県文化観光局観光政策課、交流推進課】

■ 教育旅行について

- 平成 20 年 1 月に大田(テジョン)の小中高校生の混合で、3 泊 4 日にて、米子イン米子アウトで来た。
- 平成 20 年 10 月には、祥明(サンミョン)高校生約 200 人が、2 班に分かれ、米子イン広島アウトと広島イン米子アウトで来た。
- 広島のホームステイ宿泊は、民間の「HIP」(ヒッポファミリークラブ)という組織があり、その協力により 100 人受入れが可能となり実現できた。
- 鳥取でのホームステイ宿泊は、30 人程度可能。日韓親善協会が運営。
- 韓国では、「韓国青少年連盟」が扱う。その下に「未来ジャパン」という企業が訪日観光を取り扱う。ソウルに事務所があるが、日本には事務所がない。日本向け観光の卸しで、企画して連盟に販売している。旅行会社には販売していない。
- 台湾からも同じように、訪日教育旅行を実施したいとの動きがある。

■ 国際交流について

- 国際交流活動での新しいトピックスとして、平成 20 年度は、韓国男子プロゴルフを誘致し、米子で開催した。
- 江原道とは、2007 年 11 月 30 日に交流を再開した。
- 国際交流は、各学校で自治体国際交流協会等の財団を通じて行われている。
- ロシアとの交流は、経済交流が拡大してきているが、官－官の交流が多い。民－民の交流はまだ不足。

■ 観光プロモーションについて

- 1 月は鳥取県が、6 月は岡山・広島・鳥取・島根の 4 県が、韓国に対して観光商品のホームショッピングをインターネット受付で行っている。週 1 回ケーブルテレビの専用チャンネルを使い、1 時間枠で放送している。
- 2008 年 1 月に、江陵道の平昌ピョンチャンでの雪像フェスティバルに、鳥取から出展した。

■ その他

- 県の助成要件は、10 名以上、米子ソウル便片道以上利用、県内 1 泊以上宿泊である。
- 観光案内表示は、県内の各観光地域ともハングル語の表示があり、充実している。
- 米子商工会議所では、「もてなし講座」を開催している。

<島根県>

【ヒアリング先：島根県商工労働部観光振興課、環境生活部文化国際課】

■ 教育旅行について

- ホームステイについては、要望はあるが、島根県としては対応していない。200名規模になると実質的に無理である。受入れ先に了解を取り付ける手間が大変である。
- ロシアでは、修学旅行の習慣はないが、植物園や山登りなどの遠足はある。ビザの関係で手続きなどに時間を要し、海外への移動は少ない。

■ 国際交流について

- ロシア沿海地方と島根県は、10年ほど前から友好交流を行っている。
- 日露戦争の際に、江津市の和気地区で地元住民がロシアのイリテシユ号を救助したことがあり、それを契機にウラジオストクと交流が始まった。現在、ホームステイの行来が10～20人規模で2～3往復続いている。また、文化的交流として、ロシアに関心を持っている人が10～20人のグループをつくって、2年おきに定期的に訪問している。7月2日のウラジオストクの創立記念日の前後に文化祭り（民謡や伝統的な民芸品などの紹介）があり、島根県は日本の中で中心となって参加している。子供の絵の交換なども行っているが、島根県では子供の直接的な訪問交流はない（富山や新潟ではあるかもしれない）。しかし、一昨年、子供が現地で石見神楽を紹介したことがある。
- 10月に浜田港へ帆船が入港した際には、大学生120名が来て、島根の大学生と交流を図った（日本センターが仲介）。浜田の県立大学は、北東アジアの研究に力を入れているほか、イルクーツクからの留学を受入れている。今後は沿海地方の大学と交流を深めていく予定である。
- 島根県は韓国の慶尚北道と友好提携を結んでおり（島根初の友好提携）、来年20周年を迎える。しかし、「竹島の日」の制定の問題があり、現在、韓国側からは提携破棄、島根県としては継続ということで話をしている状況である。但し、民間交流は継続的に行われている。

■ 観光プロモーションについて

- ウラジオストクに島根県からセールスには行っていない。

■ アウトバウンドについて

- 日本の高校生が韓国に修学旅行に行く時は、アジアナ航空の機材をチャーターしている。（人数に応じて1機～2機）

■ その他

- 韓国人は、実は旅館としてはあまり受入れたがらない。客単価が低く、言葉が分からない上、2名1室にこだわる傾向にあり、昔ながらの団体旅行向けの3～4名部屋しかないホテル・旅館では、実質的な稼働率が下がるなどの理由がある。ホテルにインターネットがないことにクレームがでるケースもある。
- 石見銀山は、平成19年7月に世界遺産登録されて以降、日本人がたくさん訪れており、外国人観光客を受入れる余裕がない状況にある。観光資源としては説明しないと分かりにくいのに、外国人向けパンフレットやガイドがそろっていない。

<岡山県>

【ヒアリング先：岡山県産業労働部観光物産課】

■ 教育旅行について

○韓国教育旅行(祥明高校：ソウル市の私学)が平成 20 年 10 月に実施されており、参加人数は 200 人であった。3 泊 4 日の行程で広島イン～米子アウトが 120 人、米子イン～広島アウトが 80 人で構成され、広島・岡山・鳥取の観光と広島でのホームステイを体験している。2 日目に 2 組とも岡山県に移動し岡山城、倉敷美観地区を観光し、岡山オークラホテルに宿泊している。

■ 国際交流について

○岡山県及び県内市町村の中で韓国との友好(姉妹)提携の状況は次の 3 都市である。

岡山市…富川市(京畿道)

玉野市…統榮市(旧忠武市)(慶尚南道)

瀬戸内市…密陽市(慶尚南道)

○岡山県及び県内市町村の中では中国との友好(姉妹)提携が多く以下の状況にある。

岡山県…江西省

岡山市…洛陽市(河南省)

倉敷市…鎮江市(江蘇省)

玉野市…九江市(江西省)

新見市…信陽市瀬河区(河南省)

真庭市…瑞金市(江西省)

浅口市…高安市(江西省)

吉備中央町…淮安市楚州区(江蘇省)

○ロシアとの友好(姉妹)提携はなく、東欧のブルガリアのプロブディフ市と岡山市の友好(姉妹)提携がある。

○岡山県においては、外国人観光客誘致事業を観光物産課交流推進班が中心となって取り組んでいるが、韓国の旅行者宿泊者数が最も多く、平成 16 年度に 5,082 人/年だった宿泊者数が平成 19 年度には 16,916 人/年と 3 倍強の伸びを示している。また、平成 19 年度で構成比は欧米が 34%でトップ、次いで韓国が 28%、台湾が 12%、中国が 7%となっている。

○平成 19 年度に実施した外国人観光客誘致に関する取り組みは次に示すものであった。

1. 国際観光展への出展

中国(上海)、韓国(釜山)、台湾(高雄)

2. 現地旅行会社等の招聘

【対象】旅行会社、航空会社、新聞記者、テレビ局、雑誌記者等

- 【国別】中国 2 回、韓国 4 回、台湾 4 回、フランス 1 回、イギリス 1 回
3. 現地旅行会社等への PR
- 【内容】旅行会社訪問、観光プレゼンテーション、旅行商品発表会等
- 【国別】中国 3 回、韓国 1 回、台湾 5 回、香港 1 回
4. 中国地方国際観光ビジネスフォーラムへの参加
- 【内容】中国、韓国、台湾の旅行会社、マスコミを対象に中国地方の観光地視察、観光関係者との商談会、観光展示を実施(10 月)
5. プログラムチャーターを利用した観光客誘致
- 【実績】香港 15 便(7~9 月、12 月)、台湾 19 便(4 月、10~11 月、3 月)

■ 観光プロモーションについて

○現地プロモーション(観光展)

- ・島根県、鳥取県、広島県と連携し、韓国交際観光展(KOTFA2008)をソウル市にて実施。
- ・島根県、鳥取県、広島県と連携し、「広島・岡山・山陰」観光展をソウル市にて実施。

○現地プロモーション(商談会)

- ・島根県、鳥取県、広島県、JNTO と連携し、韓国アウトバウンド商談会をソウル市にて実施。
- ・島根県、鳥取県、広島県、山口県、愛媛県と連携し、中国地方国際ビジネスフォーラムをソウル市にて実施。

○マスコミ取材

- ・鳥取県、島根県、広島県と連携し、広島・岡山・山陰のテレビショッピング取材を実施。

○旅行エージェント等視察ツアー

- ・島根県、鳥取県、広島県と連携し、インバウンド商品化事業を実施。

○広告宣伝

- ・島根県、鳥取県、広島県と連携し、テレビショッピングを実施。
- ・島根県、鳥取県、広島県と連携し、新聞広告を掲載。

■ アウトバウンドについて

- 岡山県内の高校の海外への教育旅行は、平成 19 年度で岡山操山高校が岡山空港からの航空機で韓国へ、興陽高校が岡山空港から台湾へ実施している。多い年は 5~8 校程度あり、教育旅行先は上海、北京、ソウル、台湾、グアム等である。

■ その他

○農産物の売り込み

- ・平成 18 年からの岡山県の取り組みで、タイ、バンコク、シンガポール、香港で限定的なアンテナショップを実施している。白桃、ピオーネ、マスカットの空輸を行った。

<広島県>

【ヒアリング先：広島県商工労働部観光課】

■ 教育旅行について

○韓国教育旅行(祥明高校：ソウル市の私学)が平成 20 年 10 月に実施されており、参加人数は 200 人であった。3 泊 4 日の行程で広島イン～米子アウトが 120 人、米子イン～広島アウトが 80 人で構成され、広島・岡山・鳥取の観光と広島でのホームステイを体験している。

○その他韓国の学校の訪日教育旅行受入れ実績例

- ・山口県、愛媛県と連携し、韓国青少年連盟訪問団の 812 人 11 団体を受入れた。
- ・山口県、愛媛県と連携し、韓国青少年連盟訪問団の第 2 弾受入れを数百人規模で予定している。
- ・鳥取県、岡山県と連携し、韓国ボーイスカウト団体を 80 人受入れ予定。

平成 20 年度の主な訪日教育旅行受入れ実績

国・地域	団体名	人数	視察地域
台湾	台南市光華女子高級中學	33 人	広島県、山口県、島根県、福岡県
	國立陽明高級中學	68 人	兵庫県、大阪府、岡山県、鳥取県、山口県、広島県
	國立頭城高級家事商業職業學校	35 人	広島県、岡山県、兵庫県、京都府、大阪府
	國立永靖高級工業職業學校	40 人	広島県、鳥取県、大阪府
韓国	青少年連盟	812 人	広島県、山口県、愛媛県
	祥明高校	184 人	広島県、岡山県、鳥取県

○訪日教育旅行視察の一例

- ・愛媛県と連携し、韓国青少年連盟地域連盟部長等視察で 12 人受入れた。
- ・鳥取県、岡山県と連携し、韓国赤十字団校長団視察で 19 人受入れた。
- ・山口県と連携し、韓国青少年連盟校長団(大邱広域市)視察で 34 人受入れた。
- ・大阪、鳥取県、岡山県、JNTO と連携し、訪日教育旅行意見交換会を受入れた。

平成 20 年度の主な訪日教育旅行視察受入れ実績

国・地域	団体名	人数	視察地域
韓国	青少年連盟地域連盟部長等	12 人	広島県、愛媛県
	韓国赤十字団校長団	19 人	広島県、岡山県、鳥取県
	青少年連盟校長団（大邱連盟）	34 人	広島県、山口県
中国	山東省教育旅行関係者	12 人	広島県、山口県

○県でのホームステイ対策

- ・韓国教育旅行(祥明高校)の際に、ヒップファミリークラブ他、8団体によるホームステイを実施。

■ 国際交流について

○広島市が大邱広域市と姉妹都市提携をしており、その 10 周年記念事業が進められている。

○フラワーフェスティバルの視察招聘、広島市からの職員派遣、芸術団派遣と受入れ、スポーツ交流事業、経済交流ミッション、広島の観光 PR 展等が平成 19 年度に行われた。

○朝鮮通信使 400 周年記念事業として、フラワーフェスティバルを活用して、広島県、広島市、呉市、福山市、民間団体等による朝鮮通信使 PR 事業、日韓交流セレモニーの開催、韓国旅行業者招聘事業、韓国マスコミ招聘事業、団体旅行・修学旅行の誘致等が実施された。

○広島県内における姉妹提携等の状況は、市町、学校、民間団体で盛んであり、以下の 4 市が姉妹提携している。

広島市…大邱広域市

呉市…鎮海市(慶尚南道)

福山市…浦項市(慶尚北道)

三次市…泗川市(慶尚南道)

○ロシア・プレス・トリップの受入れを、平成 20 年 8 月 12 日(火)～15 日(金)に広島城、平和記念公園、原爆ドーム、宮島で実施している。TV 局関係者 4 名、通訳 1 名の合計 5 名で、日本の夏をテーマに、ロシア富裕層への日本が誇る観光資源を紹介することを目的としている。

■ 観光プロモーションについて

○現地プロモーション(観光展)

- ・島根県、鳥取県、岡山県と連携し、韓国交際観光展(KOTFA2008)をソウル市にて実施。
- ・島根県、鳥取県、岡山県と連携し、「広島・岡山・山陰」観光展をソウル市にて実施。

○現地プロモーション(商談会)

- ・島根県、鳥取県、岡山県、JNTO と連携し、韓国アウトバウンド商談会をソウル市にて実施。
- ・島根県、鳥取県、岡山県、山口県、愛媛県と連携し、中国地方国際ビジネスフォーラムをソウル市にて実施。

○大学関係等の視察ツアー

- ・東京都と連携し、仁荷大学産学協力団視察ツアーの 7 人を受入れ。
- ・鳥取県、島根県と連携し、土地博物館大学海外調査の 40 人を受入れ。
- ・愛媛県と連携し、韓国水産会訪問団 24 人を受入れ。
- ・山口県と連携し、ハンナム大学訪問団 36 人を受入れ。
- ・山口県と連携し、テジヨン大学訪問団 36 人を受入れ。

○マスコミ取材

- ・鳥取県、島根県、岡山県と連携し、広島・岡山・山陰のテレビショッピング取材を実施。
- ・広島県単独で、旅行番組制作会社取材(「幸せな旅行」)を実施。
- ・山口県、JNTO、京都府、兵庫県、大分県と連携し、富裕層向け雑誌「Robb Report」の取材を実施。

○旅行エージェント等視察ツアー

- ・島根県、鳥取県、岡山県と連携し、インバウンド商品化事業を実施。
- ・愛媛県、兵庫県と連携し、瀬戸内クルーズインバウンドを実施。

○広告宣伝

- ・島根県、鳥取県、岡山県と連携し、テレビショッピングを実施。
- ・島根県、鳥取県、岡山県と連携し、新聞広告を掲載。

■ その他

○教育旅行に関する県の支援策

- ・学校交流時の経費支出で、山口・広島・愛媛のうち 2 県に宿泊のある修学旅行について、一人あたり 3,000 円(1 団体 30 万円上限)の補助を相手国旅行会社に対して補助。

<山口県>

【ヒアリング先：山口県地域振興部観光交流課】

■ 教育旅行について

○訪日教育旅行の受入れ実績例

- ・旅行の企画、運営は韓国側が行う。学校訪問の要望があれば、山口県が受入れ学校の選定等の調整を行う。
- ・旅行コース選定は韓国側が行う。要望・提案が山口県に対してされることはない。
- ・旅行の行程スケジュールは4泊5日(うち船中2泊)で関釜フェリー利用。
- ・一人当たりの費用は54万ウォン～57万ウォン。(H20.7 韓国青少年連盟慶尚南道支部等訪問時に聴取)
- ・山口県内の主な見学先は、下関…海響館、山口…瑠璃光寺五重塔、岩国…錦帯橋、防府…毛利博物館で、モデルコースを設定している。
- ・体験学習はないが、学校交流を行っている。交流体験プログラムは作成しており、受入れ体制は整備している。
- ・「山口県への修学旅行」パンフレットの韓国語版を用意している。
- ・山口県交流体験プログラムとして、交通アクセスを東京・大阪⇄山口・広島・下関⇄ソウル・釜山・済州・青島・大連・北京・上海で表現したものを作成している。

○県でのホームステイ対策

- ・財団法人山口県国際交流協会により可能。

■ 国際交流について

- 「世界に広がるネットワークづくり」、「地域経済の国際化の推進」、「山口らしい国際協力の推進」、「県民活動による国際化の推進」、「国際化を支える地域社会づくり」としてテーマ別に取り組まれている。韓国、中国との国際交流が主体となっている。
- 中でも、日韓海峡沿岸交流事業が大きな柱となっている。
- 山口県と慶尚南道の国際交流には歴史があり、1987年(昭和62年)に山口県と慶尚南道が姉妹提携を結び、2008年に20周年を迎えている。
- このたび、姉妹提携10周年以降の1998年(平成10年)から2007年(平成19年)までの10年間の両県における交流の歩みを「山口県と慶尚南道の交流のあゆみ」(山口県)として取りまとめられた。
- 山口県内における姉妹提携等の状況は市町、学校、民間団体で盛んであり、以下の4市が姉妹提携している。
 - 下関市…釜山広域市
 - 萩市…蔚山広域市、徳津面(全羅南道)
 - 防府市…春川市(江原道)
 - 山口市…公州市(忠清南道)
- ロシア沿海地方(ウラジオストク等)との国際交流はない。

■ 観光プロモーションについて

○東アジア観光誘致キャンペーン実行委員会事業

□山口県単独事業

- ・修学旅行誘致事業

(内容：韓国青少年連盟本部及び地域連盟(慶尚南道・釜山)訪問)

□広域連携事業

- ・第4回中国地方国際観光ビジネスフォーラム(VJC 事業)

(内容：商談会(鳥取県大山ロイヤルホテル)、観光説明会(ソウルプラザホテル))

- ・教育旅行誘致事業(VJC 事業)

(内容：視察ツアー、青少年連盟・校長 34 名)

○山口県国際観光推進協議会事業

- ・釜山国際観光展出展

○日韓海峡沿岸広域観光協議会事業

- ・山口・福岡・佐賀・長崎と釜山広域市・慶尚南道・全羅南道・済州道で構成

- ・日韓広域観光周遊型観光ルートの青少年等誘致促進事業

(内容：視察ツアー、旅行会社 9 名、観光説明会(IP ホテル福岡))

- ・日韓海峡沿岸クルーズ観光活性化事業

(内容：シンポジウム開催(10 月 22 日全羅南道))

■ アウトバウンドについて

- 山口県内の高校生の韓国への修学旅行は盛んであり、平成 10 年度 13 校 1,431 人～平成 19 年度 6 校 115 人の実績がある。

- 学校交流を組み入れた例としては 3 泊 4 日のコースがある。

博多港⇒ビートル⇒釜山港⇒釜山大学校師範大学附設高校⇒釜山⇒ソウル⇒仁川⇒ソウル⇒福岡空港

■ その他

- 観光地、宿泊地で韓国の受入れに熱心なところ

- ・長門市、下関市

- ・海峡夢タワー、海響館、秋芳洞、宇部興産など

(2) 各県の教育旅行、国際交流状況資料

<鳥取県の国際交流の状況について>

韓国江原道・ロシア沿海地方との国際交流の状況について

交流推進課

韓国江原道

【概 要】

- 平成6年に友好提携を結び、鳥取県と江原道双方の地域の活性化に繋がるよう、福祉、文化、経済、観光、教育など幅広い分野で交流を進めている。
- 平成13年には米子～ソウル定期便が就航し、鳥取県からの交通のアクセスの幅も広がり、住民レベルでの交流も盛んになっている。韓国からの旅行者も増加するなど県内観光の活性化にもつながっている。
- 竹島問題に起因して、平成17年3月から県-江原道庁間の行政交流が中断していたが、平成19年11月末に交流が再開し、平成20年4月から職員相互派遣事業も再開されている。
- 学習指導要領解説書への竹島の記述を巡る問題で、江原道教育庁から鳥取県教育委員会に交流中止を伝える書簡が届くなどしているところ。県と江原道庁間においても交流事業の延期や中止の影響が出ているが、全体としては事態の推移を見守っている状態。

【主な経緯】

●友好提携 平成6年11月

●主な交流内容

- 平成 5年 ・「農林水産業に関する覚書」締結
- 7年 ・鳥取県教育委員会と江原道教育庁が姉妹協定を締結
- 9年 ・「山陰・夢みなと博覧会」に韓国江原道館出展
- 11年 ・「'99江原道国際観光エキスポ」に鳥取県展示ブースを出展
- 13年 ・米子～ソウル便就航
 - ・鳥取県・江原道友好提携7周年記念事業
- 14年 ・韓国江原道襄陽国際空港開港記念「鳥取県・江原道友好の翼」
(チャーター便により137名が訪韓、134名が来県)
 - ・第17回国民文化祭に韓国から11団体（江原道7団体）出演
- 16年 ・鳥取県江原道交流10周年記念
- 19年 ・鳥取県と江原道の行政交流再開
- 20年 ・「大関嶺雪花祭」に鬼太郎の雪像を展示

ロシア沿海地方

【概 要】

- 平成3年に友好交流の覚書を締結して以来、農業・商工・観光等の分野における行政実務研修生の受入や県立図書館とゴーリキー図書館（ウラジオストク市）との図書の交換などの交流を始め、民族芸能団の受入など文化分野の交流が進められてきた。
- 平成15年には鳥取環境大学と極東国立総合大学との学術交流協定書が交わされるなど学術交流も始まっているところ。
- また、民間団体を中心に新体操やバドミントンなどのスポーツの分野の交流が推進されている。
- 境港～東海～ウラジオストクの航路開設を目指して、物流など経済交流についても活発化している。

【主な経緯】

●覚書交換：平成3年10月

●交流状況

- 平成 6 年 ・ 国際交流員の配置開始
- 平成 7 年 ・ 「図書館業務協力に関する協定書」を締結
（鳥取県立図書館、ゴーリキー図書館、児童図書館）
- 平成11年 ・ 第3回極東国際観光博覧会に初出展
- 平成14年 ・ 第17回国民文化祭「夢フェスタとっとり」に沿海地方から出演
- 平成15年 ・ 鳥取県友好訪問団（平井副知事等）を派遣
（日露伝統芸能の祭典（県内青少年2団体）出演、観光物産展を開催）
・ 「鳥取環境大学と極東国立総合大学との学術交流協定書」締結
- 平成16年 ・ 第1回日露青少年新体操交流会（8名）を受入
- 平成17年 ・ 鳥取県新体操交流団をウラジオストクへ派遣
・ 第17回全国生涯学習フェスティバル関連事業
（「東アジア弦楽器コンサート」等に2団体が参加）
- 平成18年 ・ ロシア沿海地方バドミントン交流団（11名）受入
・ 日露青少年新体操交流会（9名）受入
- 平成19年 ・ 鳥取県バドミントン交流団（8名）の派遣
・ 蒲原正義日本国在ウラジオストク総領事の来県
- 平成20年 ・ ロシア沿海地方経済訪問団を派遣
・ 鳥取県議会議員団（議員6名）を派遣

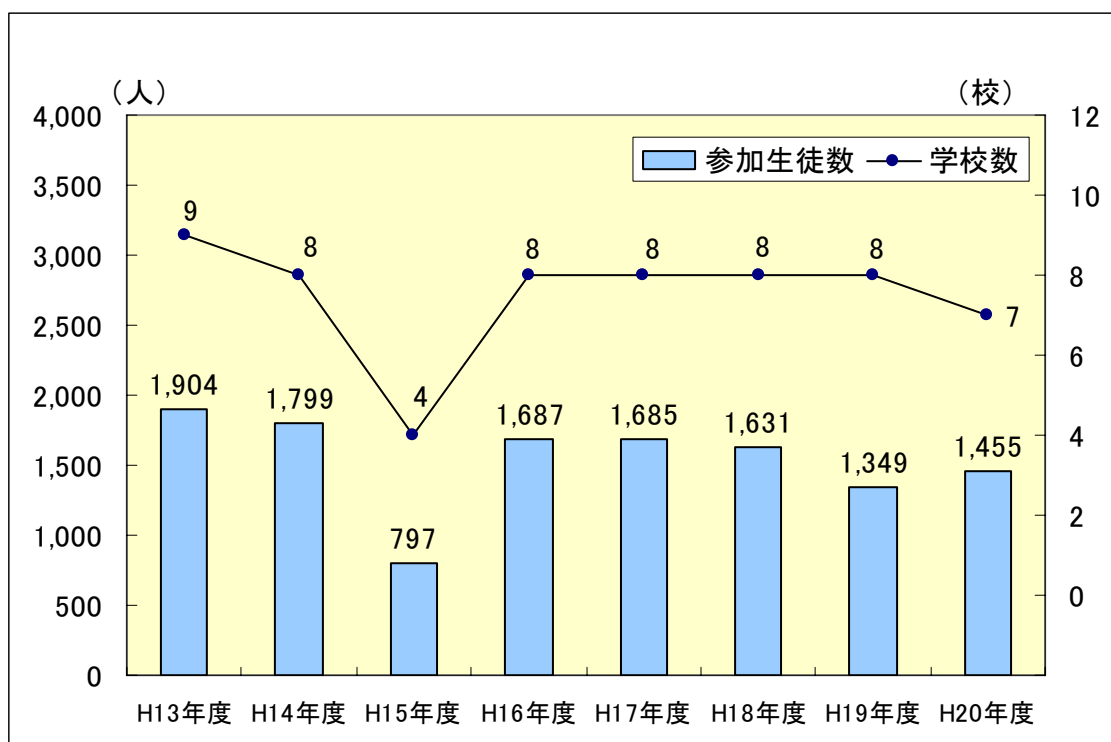
<鳥取県の平成13年度～21年度の教育旅行の状況について>

鳥取県では、高等学校の海外研修旅行が毎年度活発に行われており、旅行先では韓国が最も多く、毎年度8校前後の高校、1500から600人前後の生徒数が韓国旅行に参加している。

特に、平成3年度から実施の米子高校はじめ、長期に渡り継続して実施している高校が多い。

なお、平成15年度が減少しているのは、SARSなどによる影響で海外研修旅行を中止した学校が多かったためである。

鳥取県高等学校 世界に架けよう夢・青春事業 韓国への海外研修旅行実施状況



各年度の海外研修旅行状況は、次ページ以降のとおりである。

1-1-7 宿泊施設観光アンケート調査分析・整理

(1) 宿泊施設調査結果の概要

境港～東海（韓国）の本フェリーを利用した韓国からの旅行者が今後想定されることから、その受入れ態勢の検討に向けた基礎資料とするため、鳥取県、島根県において、団体客受入れ可能な宿泊規模を有する宿泊施設対象に、外国人旅行者（特に韓国人旅行者）の宿泊受入れについての宿泊実態と今後の動向に関してアンケート調査を実施した。

【宿泊施設調査概要】

鳥取県、島根県の100名以上の団体客の受入れが可能と想定される宿泊施設を対象に、調査票の郵送配布・回収（一部FAXによる送付）により実施した。

	鳥取県	島根県	合計
回答 宿泊施設	○国民宿舎 山紫苑 ○花屋別館 ○ホテルニューオータニ鳥取 ○かんぼの宿 皆生 ○華水亭 ○鳥取ワシントンホテルプラザ ○皆生グランドホテル天水 ○ホテルハーベストイン米子 ○宥皆生つるや ○有限会社三朝館 ○三朝温泉 後楽 ○いこい亭 菊萬 ○合同会社米子皆生温泉開発 東光園 ○国民宿舎 水明荘 ○三井別館 ○休暇村大山鏡ヶ成 ○芙蓉別館 ○鳥取シティホテル ○三朝ロイヤルホテル ○ホテルモナーク鳥取 ○三朝町営国民宿舎ブランナールみささ 以上21軒	○国民宿舎 さんべ荘 ○玉造グランドホテル長生閣 ○出雲ロイヤルホテル ○保性館 ○旅亭 山の井 ○白石家 ○玉造国際ホテル ○浜田ニューキャッスルホテル ○ホテル一畑 ○ホテル白鳥 ○松江ニューアーバンホテル ○松江東急イン ○松江玉造温泉 佳翠苑 皆美 ○その他1軒（無記名のため消印より判断） 以上14軒	35軒
対象 宿泊施設 及び回答率	36軒 (58.3%)	27軒 (51.8%)	63軒 (55.5%)

【宿泊施設調査の結果概要】

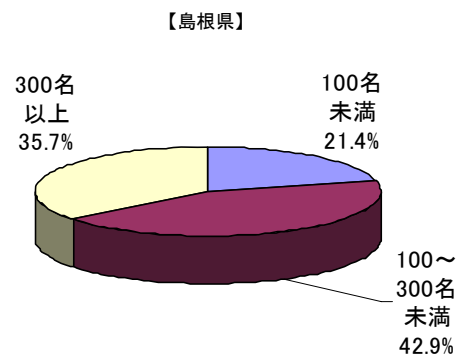
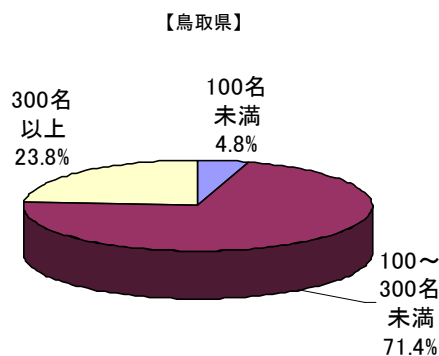
○山陰の宿泊施設（宿泊客約 100 人以上規模）（有効回答 35）

外国人宿泊客の受入れ実績及び受入れ意思は伺えるが、受入れにあたっての言語や習慣に起因する課題も明らかになった。

- ・外国人宿泊客の受入れ経験は 9 割以上がある
- ・韓国人旅行者の受入れ経験は 8 割以上があり、今後も韓国人旅行者を受入れる意思是 6 割が持っている
- ・団体客の受入れ経験は 8 割があるが、学校教育旅行の受入れ経験は約 1 割程度である
- ・外国人旅行者のためのサポート経験は 6 割がある
- ・主なサポートは、クレジットカードの利用であり、韓国語によるパンフレットもわずかに設置されている程度であり、韓国語が話せるスタッフが常駐しているのは 2 施設のみである
- ・外国人旅行者の受入れについては、6 割が課題があると回答しており、また、そのうち約 4 分の 1 が韓国人に対するものとなっている。具体的には言葉、入浴、キムチ持込などの臭いに関することが多くなっている

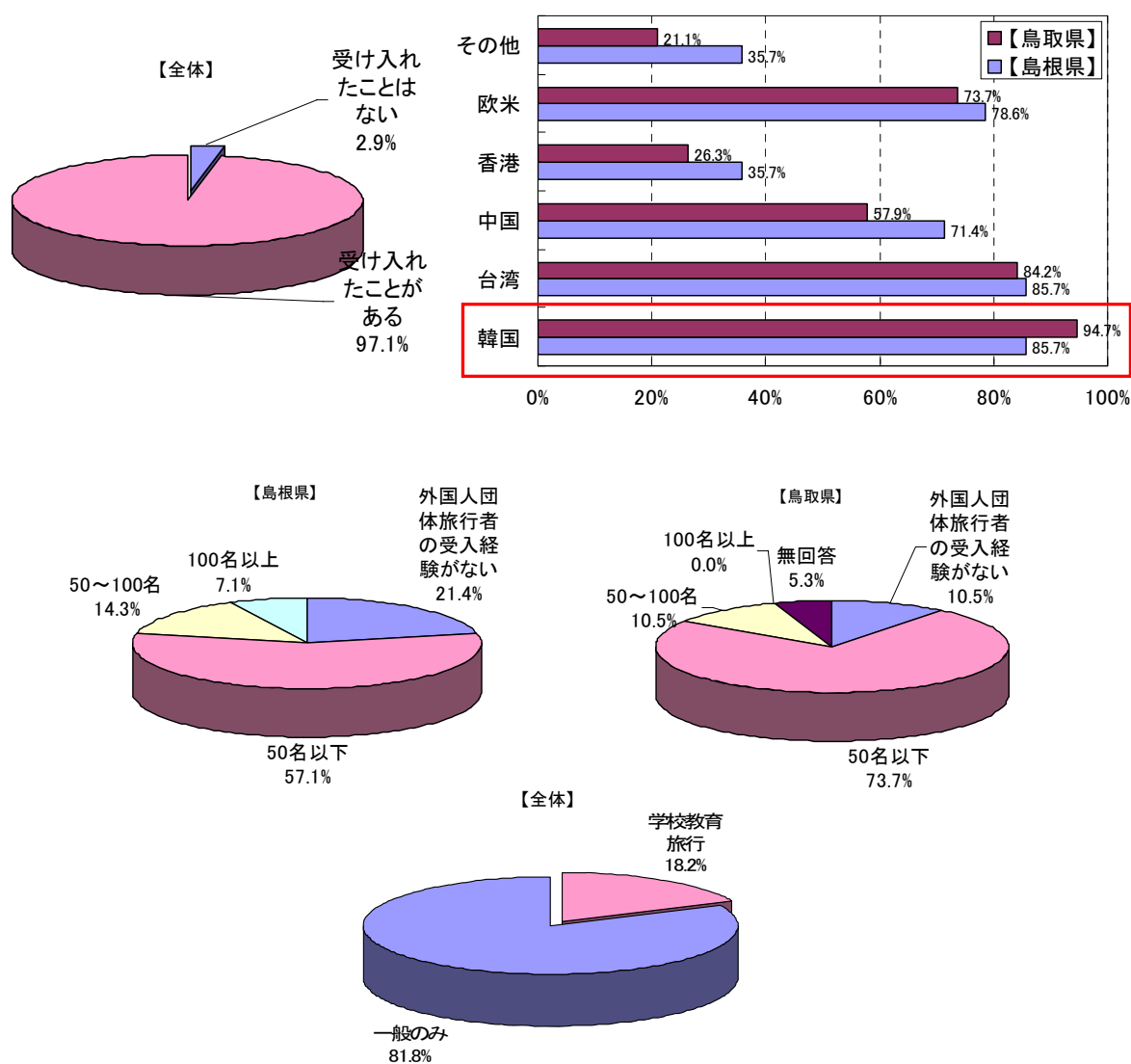
問 1：貴施設の施設規模（宿泊定員、客室数、食堂定員、団体客数等）についてお答えください。

施設の宿泊定員を県別で見ると、両県において対象宿泊施設は、100～300名未満が最も多くなっている。



問2：今までに外国人旅行者の宿泊を受入れたことはありますか。

- 鳥取県の1軒を除き、他の宿泊施設では外国人旅行者の宿泊を受入れた経験があるとのことであり、受入れ経験のある宿泊施設では、両県ともに「韓国人」の受入れ経験が最も多くなっており、次いで「台湾」「欧米」となっている。
- また、外国人団体旅行者を受入れたことがある宿泊施設は全体で8割以上となっており、両県ともに、50～100名以下の団体が最も多くなっている。
- 団体旅行者を受入れたことがある宿泊施設のうち、学校教育旅行の受入れ経験があるのは約2割であった。



問3：貴施設では、外国人旅行者の年間延べ宿泊者数はどの程度ですか。

施設によって大きく異なり、少ないところでは5名から、多いところでは6,900名というものまであるが、100～300名程度との回答の施設が多い。

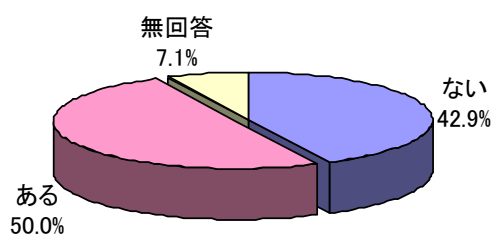
問4：貴施設における外国人旅行者のためのサポートについてお答えください。

全体では6割があると回答しており、県別では、島根県は半数にとどまるが、鳥取県では7割に近くなっている。

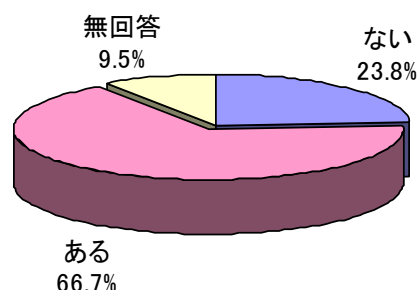
また、サポートとしては、「クレジットカードの利用」が最も多く、その他「食事面での対応」についても多くなっている。

さらに、サポートが有る場合の使用言語については、英語がほとんどであり、一部の施設において韓国語、中国語のサポートがある程度である。

【島根県】



【鳥取県】



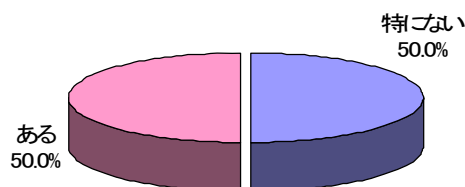
問5：貴施設では、外国人旅行者の宿泊を受け入れるうえで課題となることはありますか。

全体では半数以上が課題があるとの回答となっており、特に鳥取県でその割合が高く7割を超えている。

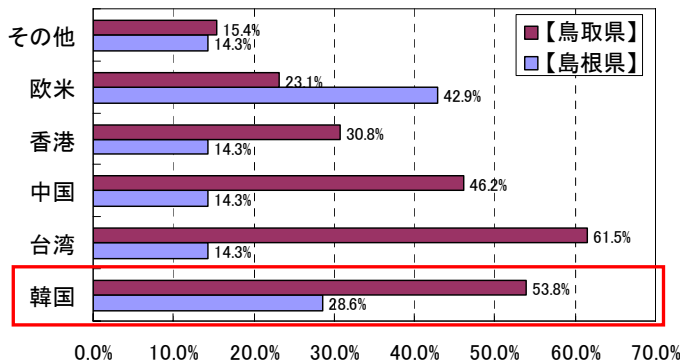
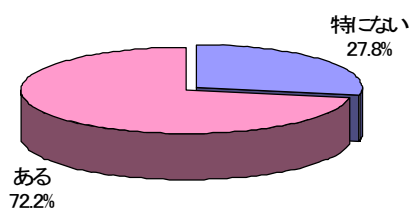
特に課題がある国籍としては、島根県では「欧米人」、鳥取県では「台湾人」が最も多くなっており、次いで両県ともに「韓国人」となっている。

「韓国人」の宿泊を受け入れるうえで課題としては、最も多いのが「言葉の問題」であり、その他「食事の違い」「各室に浴室が必要」「大浴場のマナー」「キムチのにおいが部屋に残る」などの意見が多かった。

【島根県】



【鳥取県】



【韓国人旅行者の宿泊受入れにおける課題】

島根県
言葉、入浴、就寝、設備が古い
鳥取県
言葉、入浴、就寝（ベッドルームがない）等の習慣の違い
部屋がすべて風呂付きではない事、言葉、洋室の部屋がない事
・ 温泉大浴場の利用（利用方法について、日本人のお客様からクレームがよくある。） ・ キムチの持込みで客室が売れなくなった事が何回かあった。
・ 言葉（ツアーガイドがおられれば問題ないが（団体）） ・ 食事はキムチを食べられたら、翌日の営業に大小問題アリ）
言葉
言葉
言葉

(2) 宿泊施設調査アンケート票

平成 21 年 2 月 吉日

北東アジアゲートウェイ構想の推進に係るアンケート調査

ご協力をお願い

国土交通省中国地方整備局 企画部 中国圏広域地方計画推進室
港湾空港部 港湾計画課

拝啓、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

国土交通省中国地方整備局では、境港～東海（韓国）～ウラジオストク国際フェリーの本年 4 月(予定)の就航にあたり、韓国側における観光需要を調査したところ、本フェリーを利用した韓国からの教育旅行（修学旅行等）や一般ツアー客の団体宿泊者の需要が見込まれることから、受入れ可能性を探ることを目的として、おおよそ 100 名以上宿泊受入れ可能と思われる宿泊施設を対象に、本調査を実施させていただくことになりました。

アンケート内容につきましては統計的に処理し、本調査以外に利用することはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬具

- このアンケート調査の主旨、内容につきまして、ご不明な点、ご質問等ございましたら、下記までご連絡ください。

<アンケートの主旨に関するお問い合わせ先>

〒730-8530 広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

国土交通省中国地方整備局企画部 中国圏広域地方計画推進室 土井

Tel.082-511-6137 Fax.082-511-6359

<アンケートの内容に関するお問い合わせ先>

北東アジアゲートウェイ構想の推進に係るアンケート事務局

〒730-0051 広島市中区大手町 2 丁目 1 番 1 号 広島商中日生ビル

パシフィックコンサルタンツ株式会社 中国支社 安永

Tel.082-504-1036 Fax.082-504-1041

貴宿泊施設名をご記入ください

施設名	連絡先(電話)	()
-----	---------	-----

問 1：貴施設の施設規模（宿泊定員、客室数、食堂定員等）についてお答えください。

1	宿泊定員	()	名
2	客室数	()	室
3	食堂定員	()	名 ※食堂、レストラン、大広間名等の最大収容人員
4	団体客数	()	名 ※最大何名くらいまで受入れ可能ですか

問2：今までに外国人観光客を受入れたことはありますか。（該当する□全てに^レ点を）

1 □ない → 今後、外国人観光客を受入れる意思がありますか □ない・□ある
ある場合の対象国：□韓国、□台湾、□中国、□香港、□欧米、□その他

2 □ある → 対象国：□韓国、□台湾、□中国、□香港、□欧米、□その他
□個人・団体（1回当たり受入れ人数：□50名以下、□50～100名、□100名以上）
団体の場合の種別：□学校教育旅行・□一般観光
今後も外国人観光客を受入れる意思がありますか □ない・□ある
ある場合の対象国：□韓国、□台湾、□中国、□香港、□欧米、□その他

問3：貴施設では、年間外国人宿泊客数はどの程度ですか。

外国人宿泊客数	()	人/年
---------	-----	-----

問4：貴施設における外国人旅行者のためのサポートについてお答えください。

1 □ない

2 □ある⇒具体のサポートについて該当するものをお選びください。

ア 外国語が話せるスタッフの常駐：韓国語__人 中国語__人 英語__人

イ 外国語によるホテルのパンフレットやホームページ等による案内

（実施されている場合の使用言語は_____）

ウ 外国語の観光パンフレットや雑誌などの提供

（実施されている場合の使用言語は_____）

エ 外貨両替が可能

オ 施設内での外国語案内標記

（実施されている場合の使用言語は_____）

カ 食事面での対応

（具体的に_____）

*例：宗教上の理由からの肉類対応、キムチ、食べ放題等

キ クレジットカードの利用が可能

（利用可能のカード会社名_____）

ク その他

（具体的に_____）

問5：貴施設において、外国人団体客を受入れるうえで課題となることはありますか。

1 □特にない

2 □ある（対象国：□韓国、□台湾、□中国、□香港、□欧米、□その他）

具体的に （例：言葉、食事・入浴・就寝等の習慣の違い）

[]

ご協力ありがとうございました。

(3) 宿泊施設観光アンケート結果表

整理番号	問1. 貴施設の施設規模について				問2. 今までの外国人観光客の受け入れ状況		問2-1-1. 今後、外国人観光客を受け入れる意思の有無		問2-1-2. 意思のある場合の対象国				問2-2-1. 今までの外国人観光客の受け入れありの対象国		問2-2-2. 今までの外国人観光客の受け入れありの種類(個人・団体)		問2-2-3			問2-2-3. 団体の場合の種別		問2-2-4. 今後外国人観光客を受け入れる意思の有無		問2-2-5. 今後外国人観光客を受け入れる意思がある場合の対象国					問3. 貴施設での年間外国人宿泊客数		
	宿泊定員	客室数	食堂定員	団体客数	無	有	無	有	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他	個人	団体	501001 501001 501001			学校	一般	無	有	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他		
1	58	45	120 (大広間)	25	○					○	○	○	○	○	○		1						○	○	○	○	○	○	○	30	
2	89	34	100	100	○					○	○	○	○	○						○	○		○	○	○	○	○	○	○	5	
3	95	36	65	95	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	20	
4	106	28	120	80	○					○	○	○	○	○	○	○	1													10	
5	120	99	300	80	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○							50	
6	187	38	160	220	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	350	
7	230	170	120	120	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○			○	○	○	250	
8	250	50	120	100	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	100	
9	270	181	80	120	○					○	○	○	○	○	○	○	○	1					○	○	○	○	○	○	○	1,500	
10	300	57	180	318	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	200	
11	351	73	150	150	○					○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	30	
12	360	142	200	1000	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	450	
13	520	115	230	520	○					○	○	○	○	○	○	○	1						○	○	○	○	○	○	○	100～150	
14	542	95	200	200	○					○	○	○	○	○	○	○	○	1					○	○	○	○	○	○	○	6,900	
島根県																															
14																															
121210511511118212100138107884																															

問4. 貴施設における外国人旅行者のためのサポートについて														問5. 貴施設において、外国人団体客を受入れるうえでの課題											備考
整理番号	有	スタ フ が 一 般 語 を 話 せ る	スタ フ が 中 国 語 を 話 せ る	スタ フ が 英 語 を 話 せ る	ス タ フ が 英 語 を 話 せ る	ス タ フ が 英 語 を 話 せ る	ホ テ ル 内 の 英 語 の シ グ ン 等 に よ る	外 国 語 の 提 供 の 方 法 等	外 貨 両 替 が 可 能	内 施 設 内 の 外 国 語 案 内	食 事 面 で の 対 応	利 用 し 得 る カ ー ド	そ の 他	特 に な い	あ る	韓 国	台 湾	中 国	香 港	欧 米	他	具 体 的 に			
1	○														○								週末の外貨両替所案内で きない。		
2	○															○						○	言葉		
3	○															○						○	言葉、入浴、就寝、設備 が古い。		
4	○															○							例にある全てについての 対応が課題である。	サポートが整っていない為、団体等の 受け入れについては、要検討	
5	○				2					英語のみ			VISA、 AMEX、 MASTER			○							・言語の違いからくるコミュ ニケーション不足に起因 する諸問題 ・宗教上の嗜好に関する 知識不足など		
6	○												VISA、 AMEX 可能		○								問3:過去最大時		
7	○				2			ある							○										
8	○														○								主として添乗員、通訳付 で請けている。		
9	○				2	英語	英語 フレットの	英語バン フレットの		英語	基本的に はすべて	ほぼすべ て			○										
10	○											VISA、 AMEX			○										
11	○										多少はOK	ほぼすべ て利用可				○	○				○		問3:過去最大時		
12															○										
13	○															○							宿泊料金が安い。		
14	○							英・中・韓			カニ・生魚 NG等	VISA、 JCB				○							低料金		
島根県																									
	6	7	0	0	0	6	1	3	0	2	3	7	7	7	7	2	1	1	1	1	3	1			

整理 番号	問1. 貴施設の施設規模について				問2. 今までの 外国人観光 客の受け入れ 状況	問2-1-1. 今 後、外国人観 光客を受け入 れる意思の有 無		問2-1-2. 意思のある場合 の対象国					問2-2-1. 今までの外国人 観光客の受け入れありの 場合の対象国					問2-2-2. 今 までの外国人 観光客の受け 入れありの種 類(個人・団 体)		問2-2-3			問2-2-3. 団 体の場合の 種別		問2-2-4. 今 後も外国人観 光客を受け入 れる意思の有 無		問2-2-5. 今後も外国人観 光客を受け入れる意思が ある場合の対象国					問 3 、貴施設での年間外国人宿泊客数			
	宿泊定員	客室数	食堂定員	団体客数	無	有	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他	個人	団体	5 0 ←	5 0 ← ↓	1 0 0 ←	学 校	一 般	無	有	韓国	台湾	中国	香港		欧米	他	
	15	41	43	70	30	○							○	○						○	○	1			○		○					○			10
	16	130	35	60~80	80	○																													
	17	139	132	約150	96																														
	18	140	41	60	180															○	○	1												8	
	19	144	35	144	144	○							○	○						○	○	1			○			○	○	○	○	○	○	20	
	20	145	40	食堂50 人 広間 100人	120	○							○	○						○	○	1			○			○	○	○	○	○	○	5~6	
	21	160	34	120	178	○							○	○						○								○	○	○	○	○	○	10~20	
	22	175	148	100	80	○							○	○						○	○				○			○	○	○	○	○	○	623	
	23	175	40	80	100	○							○	○						○	○							○	○	○	○	○	○	2,000	
	24	181	163	100	100	○							○	○						○	○	1					○	○	○	○	○	○	○	350	
	25	198	50	250	300	○							○	○						○	○	1					○	○	○	○	○	○	○	12	
	26	206	116	200 (大宴会場)	100	○							○	○						○	○	1					○		○	○	○	○	○	700	

鳥取県

鳥取県

問4. 貴施設における外国人旅行者のためのサポートについて														問5. 貴施設において、外国人団体客を受入れるうえでの課題							備考		
整理番号	有	ス タ タ フ が 韓 国 語 を 話 せ る	ス タ タ フ が 中 国 語 を 話 せ る	ス タ タ フ が 英 語 を 話 せ る	ス タ タ フ が 英 語、 中 国 語 を 話 せ る	英語、韓 国語	英語、韓 国語、中 国語	英語	提供 し 得 る 外 国 語 の 提 供 の 方 法 等	外 貨 面 替 が 可 能	内 施 設 内 の 外 国 語 標 記	食 事 面 で の 対 応	利用 し 得 る カ ー ド の 種 別	その他	ある	韓国	台湾	中国	香港	欧米		他	具 体 的 に
15	○															○							言葉 ・食事（キムチ持ち込み）、 香水で、翌日その部屋は 使用できません。 ・入浴マナーの悪さ。
16																							
17																							
18	○																						
19	○															○							言葉、食事、入浴、就寝 等の習慣の違い 言葉、食事
20		○														○							
21		○			2											○							言葉、入浴、就寝（ベッド ルームがない）等の習慣 の違い
22		○			1							朝食バイ キングス マイル、キ ムチOK	VISA、マ スター、 JCBなど			○							
23	○															○							・スムーズに会話ができな いため、サービス低下に つながる。
24		○			3							1		1		○							
25		○				英語、韓 国語、中 国語							DC、UC、 UFJ、 JCB、 VISA、 NICOS、マ スターカード、 アメリカン エクスプレス			○						部屋がすべて風呂付きで はない事、言葉、洋室の 部屋がない事	
26		○			2 (常駐 では ない。)							宗教上の 理由から の肉類対 応	VISA、 JCB、ダイ ナース、ア メックス、 UC、ニコ ス			○							・温泉大浴場の利用（利 用方法について、日本人 のお客様からクレームが よくある。） ・キムチの持込みで客室 が売れなくなった事が何 回あった。

鳥取県

鳥取県

	整理 番号	問1. 貴施設の施設規模について				問2. 今までの 外国人観光 客の受け入れ 状況		問2-1-1. 今 後、外国人観 光客を受け入 れる意思の有 無		問2-1-2. 意思のある場合 の対象国						問2-2-1. 今までの外国人 観光客の受け 入れありの 場合の対象国						問2-2-2. 今 までの外国人 観光客の受け 入れありの種 類(個人・団 体)		問2-2-3			問2-2-3. 団 体の場合の 種別		問2-2-4. 今 後も外国人観 光客を受け入 れる意思の有 無		問2-2-5. 今後も外国人観 光客を受け入れる意思が ある場合の対象国						問 3 貴施設での年間外国人宿泊客数
		宿泊定員	客室数	食堂定員	団体客数	無	有	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他	個人	団体	5 0 ←	5 0 - 1 0 0	学校	一般	無	有	韓国	台湾	中国	香港	欧米	他				
鳥取県	27	220	36	110 (大広間)	110	○							○	○						○	○	1			○	○	○	○	○	○	○	○	50名以下				
	28	244	136	80	80	○							○	○	○					○	○	1			○	○	○	○	○	○	○	1,800					
	29	250	70	200	250	○							○	○	○					○	○	1										200					
	30	260	51	150 (大社の間)	260	○							○	○						○	○	1		○	○	○	○	○	○	○	○	150					
	31	300	60	広間 3ヶ所	200	○							○	○						○	○	1			○							300					
	32	350	79	100	100	○								○	○					○	○	1			○							100					
	33	380	73	220 (大広間)	220	○							○	○						○	○	1			○							100					
	34	415	101	300	300	○							○	○	○	○				○	○	1			○							1,025					
	35	550	102	200	200	○							○	○	○	○				○	○	1			○							300					
			1	19										18	16	11	5	14	4	18	17	14	2	0	2	15	0	17	14	14	11	13	12	10	481		

		問4. 貴施設における外国人旅行者のためのサポートについて														問5. 貴施設において、外国人団体客を受入れるうえでの課題														備考
整理番号		有	無	スタ タ 国 語 が 話 せ る 韓 語	スタ タ 国 語 が 話 せ る 中 国 語	スタ タ 国 語 が 話 せ る 英 語	外国 語 による ホ テ ル 内 の シ ェ ン ナ ン グ 等 に よ る	外国 語 の 提 供 や 観 光 資 料 の 提 供	外 貨 両 替 が 可 能	内 施 設 内 の 外 国 語 案 内	食 事 面 で の 対 応	利用 し 得 る カ ー ド の 種 別	その他	特 に な い	あ る	韓 国	台 湾	中 国	香 港	欧 米	他	具 体 的 に								
		○		○									VISA、 JCB		○	○	○	○	○	○	○	○	○	・言葉(ツアーガイドがおられれば問題ないが(団体)) ・食事はキムチを食べられたら、翌日の営業に大 小問題アリ) ・トイレの使用 方法						
	27	○														○	○	○					・言葉 当館での受入れは、添乗員同行の団体客として受入れを行っており、今後の方向もそうあるべきと考える。							
	28	○							可能			可能				○		○					言葉							
	29		○												○								当館での受入れは、添乗員同行の団体客として受入れを行っており、今後の方向もそうあるべきと考える。							
	30		○												○															
鳥取県	31		○	○		2		現地からテレビ局等が取材に 来られる。		あり	韓国語でのトイレ表示 の程度	なるべく クエス ション に 応 じ て い る	VISAカード、JCB、 AMEX、その他		○								問3: 19年度410名、20年度300名、韓 国のお客様が少なくなった。台湾が多い。							
	32		○										可能			○	○	○	○	○	○	言葉								
	33		○			2		韓国				JCB、 VISA、 AMEX、 DC、VC			○	○	○	○	○			言葉								
	34		○			2									○															
	35		○									可能				○	○	○	○	○	○	言葉	問3: 昨年実績							
	5	14	1	0	12	3	4	1	2	5	10	5	13	7	8	6	4	3	2											

1-1-8 観光ニーズの把握

(1) ウラジオストク現地調査結果での訪日観光に関するヒアリング結果の概要

(ヒアリング対象：日本国総領事館、日本センター、商社・輸入業者 4 社、船社 1 社、大手スーパー 2 社、旅行代理店 2 社、合計 11 社)

<特性・傾向>

近年の急激な経済成長を背景として、次のような特性・傾向が伺えた。

- ◆日本～ウラジオストクの航空運賃が高いため、日本への観光客は近年減少傾向にあるものの、最も近い先進国として、また、日本の伝統文化等への関心が高いため、全体として訪日観光客が増加の傾向にある。
- ◆新潟経由で、東京あるいは大阪を拠点に各地へ観光するという特性が続いている。
- ◆訪日旅行の時期としては、子どもの休みに合わせた 3 月末、11 月 1 週目（祝日）が中心であり、また、スキーを目的とする場合は冬が中心となる（日本の夏は蒸し暑いため人気がない）。
- ◆旅行の形態については、富裕者層を中心としたファミリー旅行、年配者（年金生活者）の旅行が主流であり、1 週間から 10 日間程度の滞在で、東京ディズニーランド、USJ を訪れることが多く、近年では個人旅行も増えている。
- ◆白馬、ニセコ、苗場などのスキーや温泉を目的とした旅行も多く、また、祭りやお茶、和菓子づくり、着物など日本の伝統文化体験に関するツアーも好まれる。
- ◆花見（桜）を中心とした子どもだけのツアー「桜ツアー（20 万円超）」「教育プログラムツアー（船の利用）」もある。
- ◆ロシア人は買物好きであり、ウラジオストクでも日本の商品は質が高く安全ということで富裕層を中心に人気があるが、価格が高いため、質も悪くなく値段もリーズナブルである韓国製品の購買が中心となっている。そのため、訪日旅行では、免税によるショッピングも期待できる。
- ◆ホテルについても、グレードの高いホテルの希望が増加傾向にあり、また旅館宿泊の希望もある。
- ◆温泉やスキーなどを目的に訪問地は地方へ拡大しつつあり、島根・鳥取の地名は知っているが波及するには至っていない。

<山陰圏への要望>

- ◆日本の歴史や伝統文化に関する知識を有し、説明できる日本語のわかるロシア人ガイドが必要である。
- ◆ロシア側との共同によるビジュアル的に訴える観光 PR 戦略が必要である。

(2) 韓国（ソウル・東海市）現地調査での訪日観光に関するヒアリング結果の概要

（ヒアリング対象：JETRO、日本政府観光局、韓国観光公社、韓日産業・技術協力財団、東海市、東草市、船社 1 社、旅行代理店 2 社、合計 9 社）

【訪日教育旅行】

訪日旅行需要として、教育旅行に着目すべきと感じた。

<特性・傾向>

- ◆高校の 1、2 年生で、修学旅行は必ず行くが、特に教育旅行先としての日本の魅力は安全性と飛行機で 2 時間という利便性が挙げられ、教育旅行のポテンシャルは高い。
- ◆修学旅行は、釜山からのフェリーで北九州へ入国後、大阪へ 3 泊 4 日で訪れるのが主流となっている。
- ◆修学旅行の時期としては 5 月中旬、10 月初旬が一般的であるが、近年は時期が分散化する傾向にある。
- ◆訪日教育旅行の学生の関心事としては、日本のアニメ、アイドル、歌、ゲーム、ファッション等の最先端のものや街の華やかさである。
- ◆訪日教育旅行は増加傾向にあるが、コスト面で中国への流れもあり、価格競争が激化している。
- ◆訪日教育旅行の費用としては、関西方面で概ね 90 万ウォン程度であり、それにパスポート費用、お土産代などを含めると 10 万円を超える。
- ◆学生は、ディズニーランドや USJ 以上に日本でのホームステイを評価しており、また、学生たちにとっても日本文化を正しく理解することにつながっていると考えている。
- ◆大山での乳搾りなど、あまりお金をかけずに参加できる体験学習に人気がある。また、日本の生活や産業を学ぶ修学旅行（ジャスコなどでの買物、トヨタ産業記念館でのトヨタ方式の学習等）も手がけつつある。
- ◆九州（北九州エリア）が受入れに熱心で、受入れ態勢も整っている。

<山陰圏への要望>

- ◆産業、歴史、文化、自然といったテーマをもった多様な体験学習ができる環境を整えてほしい。
- ◆お金をかけないで、日本の文化や生活などを十分に楽しめる、工夫に富んだ体験学習（例えば乳搾りや餅つきなど）を提供できる環境を整えてほしい。
- ◆教育旅行を増やすためには、まず、学校間交流が活発になることも重要である。

【訪日教育旅行の目的地としての山陰】

- ◆賑やかさはないものの、日本人との交流の質を高めることを目的とすることが考えられ、そういう意味でも鳥取県はトップクラスの対応として期待される。
- ◆大山の自然やアニメなどの地域資源もある。
- ◆出雲大社、石見银山については、知名度は今のところ低い。
- ◆中国地方であれば、瀬戸内海を含むコース、近畿と組み合わせたコースなどが考えられ、

2007 年は朝鮮通信使 400 周年ということで、それをテーマにした修学旅行が多く実施され、また、温泉体験や鞆の浦との組合せなども考えられる。

- ◆釜山からの訪日が主流であったが、DBS クルーズを利用する場合、ターゲットはソウルからになると考えられる（釜山からは不便、江原道は学校が少ない）。

＜山陰圏への要望＞

- ◆山陰地方、境港周辺の魅力的な観光施設の整備が必要である。
- ◆日本の伝統文化を見せることの出来る行事を充実してほしい。

【東海市周辺からの訪日旅行】

教育旅行以外の訪日旅行については次のとおりであり、一定のポテンシャルを感じる事ができた。

＜特性・傾向＞

- ◆東海市周辺から釜山経由で九州旅行を年間 1 千人送り出している。
- ◆日本観光は毎年 3 月に 200 名程度をひとつのチームにした日本観光を行っており、客層はほとんど東海市の住民であり、老若男女問わず参加している。
- ◆東海市周辺からのフェリー利用の観光客集客は可能である。
- ◆船便利用客の多くは、安価な価格で訪日したい学生を中心とした旅行客が想定され、宿泊施設を選ぶにあたってはコスト(料金)を重視するだろう。
- ◆山陰は観光地として十分楽しめる観光資源（例えば松江城、武家屋敷、堀川巡り、足立美術館など）がある。

＜山陰圏への要望＞

- ◆山陰地方の観光資源の魅力演出が鍵である。
- ◆境港周辺の近くで楽しめる観光地の魅力充実が必要である。
- ◆200 人規模の団体客対応の食堂、宿泊施設など、受入れ態勢の充実が必要である。
- ◆韓国人の食習慣、嗜好に配慮した食事の充実が必要である。
- ◆船上で楽しく快適に過ごせる工夫が必要である。
- ◆入管手続きの迅速化が必要である。

1-2 北東アジア観光における当面の課題と取り組み方向性

(1) 韓国からの観光受入れの課題

①訪日教育旅行客誘致拡大へ向けた対応

<可能性（ポテンシャル）>

東海港～境港の新国際フェリーの航路特性（運賃、運航等）と団体旅行の特性を考えると、学校教育旅行での利用の可能性が高い。

わが国でもビジット・ジャパン・キャンペーン等で韓国からの訪日教育旅行促進に取り組んでいるが、韓国の旅行会社の現地ヒアリング調査結果においても、以下のような訪日教育旅行のプラス面を評価しており、訪日教育旅行拡大の可能性は高い。

韓国人の日本への関心の高さ、また日本国内の安全度から、日本は教育旅行先として信頼されている。また、教育旅行においては一般的な観光メニューよりもホームステイや地元の人と交流する体験学習が評価されている。

教育旅行を中心とした交流により、韓国人若年層の日本に対する評価・関心が高まり、若年層が成人した後に、訪日リピーターともなる、就職後も親日性を保つ等、日本との交流促進に寄与することが期待される。

こうした、これからを担う若い世代の交流促進は、長い目で見た日韓交流に大いにプラスになると考えられる。

<課題>

訪日教育旅行拡大に向け日本各地の地域間競争にある中で、中国圏（特に山陰）ならではの特色が現状では打ち出せておらず、また、積極的な受入れ態勢も整っていない。

このため、訪日教育旅行先としての山陰圏・中国圏の特徴を打ち出して認知拡大を図るとともに、地域のもてなしと多様な交流を実現する受入れ態勢を整備する必要がある。

特に、自然、歴史、文化、産業等の多様なテーマ性を持った体験学習の充実が必要である。そして、ホームステイと学校間交流への要望が高いことから、その受入れの拡大を図る必要がある。

また、教育旅行がもたらす日韓交流へのプラス面に着目し、これからを担う若い世代をターゲットに、若者の関心を引く文化面等の教育旅行のコンテンツの充実を図る必要がある。

<取り組むべき方向性>

- 中国圏（特に山陰）の特徴を活かした魅力づくりと教育旅行商品の開発
- 訪日教育旅行の受入れ態勢の充実

②新国際フェリー利用観光客の需要開拓へ向けた対応

＜可能性（ポテンシャル）＞

東海市の旅行会社の現地ヒアリング調査結果によれば、東海港～境港の新国際フェリーは旅行商品売り込みのチャンスであり、教育旅行以外の観光客需要においても、釜山～下関経由の九州旅行と価格・内容で勝負できる旅行商品を企画中とのことであり、今後が新国際フェリーの旅行商品が開発される可能性が高い。

特に、東海市・江原道周辺の観光客をターゲットにすることができ、これは米子～ソウル航空便との役割分担を明確化する意味でも有効である。

＜課題＞

東海市・江原道周辺と山陰の対岸相互の行き来しやすい利便性を活かした観光需要の創出が課題である。

そのためには、山陰の観光魅力（豊かな自然、世界的な観光資源等）を引き出した新しい観光需要を開拓し、訪日観光地としての認知拡大を図る必要がある。

また、フェリーでの娯楽・アトラクションや快適性を売りにした船旅の魅力と付加価値をつけることや、将来的には企画的な運行や寄港等をメインとした豪華クルーズ船としての利用も視野に入れる必要がある。

＜取り組むべき方向性＞

- フェリー利用の東海市・江原道と山陰の近い観光交流の推進

(2) ロシアからの観光受入れの課題

①新国際フェリー利用客拡大へ向けた対応

＜可能性（ポテンシャル）＞

外国人観光客全体の中でロシア人観光客数は非常に少ないが、富裕層が中心で1人当たり消費額が高く、消費傾向は活発である。ウラジオストクの旅行会社の現地ヒアリング調査結果によれば、「最近は温泉、スキーだけでなく日本の歴史、伝統文化への関心が高まっているが、観光先は、東京、京都、北海道などが中心である。中国圏は知らない。また、山陰はじめ中国圏を対象とする観光旅行商品はロシアでは商品化されておらず、ロシア人観光客が中国圏まで足を延ばすことはまれである。」とのことであり、観光需要は少ない。

ウラジオストク～東海港～境港の新国際フェリーを活用した誘客は、東海港経由となるため、ウラジオストク～東海間のビジネス客に対して、韓国だけでなく日本も含めたビジネス利用を誘発する可能性がある。航空機に比べて旅行時間がかかるが運賃で対抗可能であり、さらにフェリー利用客のロコミが新たな観光を呼び込むきっかけとなることが期待できる。

＜課題＞

山陰圏、中国圏を訪れるロシア人観光客はまだ少なく、そもそもロシア人観光客に認

知されていない状況にある。ロシア人観光客相手の観光市場とするには至っておらず、山陰圏・中国圏の認知拡大を図ることが課題である。

また、新国際フェリーを活用した誘客を図る上で、韓国と連携した観光PRの取り組みや、韓国・日本の二国観光旅行の魅力を伝える取り組みなども必要である。

さらに、フェリー利用客をはじめとするロシア人観光客の受入れ態勢を整備する必要がある。

<取り組むべき方向性>

- ロシアへ中国圏（特に山陰）の観光魅力を伝えるための韓国と連携した取り組み

(3) 韓国・ロシアからの観光受入れの共通課題

<課題>

訪日旅行先としての山陰圏・中国圏の認知度が低く、他ブロックに比べ外国人旅行者数が少ない。

観光地としてのPR、観光入込客の拡大が課題である。

また、100人規模以上の団体客受入れの宿泊施設や食事施設が少なく、外国人観光客が快適に観光できるもてなし等の受入れ態勢が不十分である。

そして、若い世代が小・中・高校や大学での教育機会を通じて外国人と直に触れ合い、異文化への理解と関心を高め、国際交流の担い手として育っていくよう人材育成を図る必要がある。

さらに、外国人観光客の中国圏内における各県、各市町村の統計情報の収集・蓄積が不十分で、利用しやすい一元的なデータ管理ができておらず、質・量とも充実する必要がある。

<取り組むべき方向性>

- 訪日旅行先としての中国圏（特に山陰）の認知度の向上、積極的誘客
- 受入れ地の態勢づくり
- 大学等を活用した人材の育成
- 中国圏における観光情報データの調査収集と整備活用
- 地域の文化を活かした交流の推進

(4) 山陰からの訪韓教育旅行推進の課題

<課題>

山陰の高等学校における海外研修旅行の実施率は高く、韓国への海外研修旅行も活発に行われている。

しかし、学校間交流やホームステイでの取り組みが不十分である。

また、東海港～境港の新国際フェリー利用への期待や関心が低く、学校関係者への理解と協力を広げる必要がある。

<取り組むべき方向性>

- フェリー利用の訪韓教育旅行の推進